

令和6年度

工事名：津軽森林管理署相馬・岩木合同森林事務所新築工事

設 計 図 書

東北森林管理局 経理課

相馬・岩木合同森林事務所新築工事

設計図

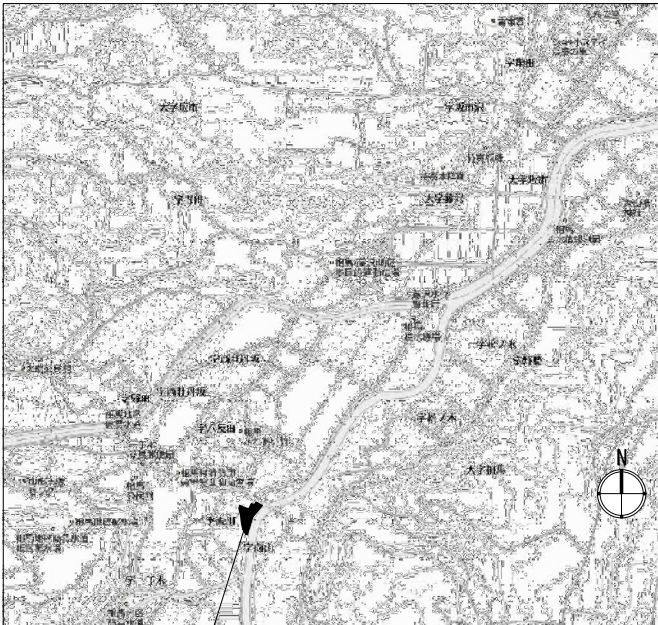
図 面 リ ス ト							
新 築				解 体			
意 匠 図 構 造 図		電 気 設 備 図 機 械 設 備 図		意 匠 図 構 造 図		電 気 設 備 図 機 械 設 備 図	
A ー 0 1	特記仕様書 (1)	E ー 0 1	電気設備特記仕様書 (1)	K A ー 0 1	取りこわし特記仕様書	K E ー 0 1	(解体) 電気設備特記仕様書
ー 0 2	特記仕様書 (2)	ー 0 2	電気設備特記仕様書 (2)	ー 0 2	(解体) 案内図・建築概要・配置図	ー 0 2	(解体) 事務所電気設備撤去図
ー 0 3	特記仕様書 (3)	ー 0 3	案内図・構内配電線路・構内通信線路図	ー 0 3	(解体) 事務所 仕上表・求積図・平面図	ー 0 3	(解体) 住宅電気設備撤去図
ー 0 4	特記仕様書 (4)	ー 0 4	事務室電気設備図	ー 0 4	(解体) 事務所 立面図・矩計図	ー 0 4	(解体) 電気設備特記仕様書
ー 0 5	案内図・建築概要・配置図	ー 0 5	倉庫電気設備図	ー 0 5	(解体) 事務所 建具表	ー 0 5	(解体) 電気設備撤去図
ー 0 6	【事務所】仕上表・面積表	ー 0 6	車庫電気設備図	ー 0 6	(解体) 事務所 構造図		
ー 0 7	【事務所】平面図・断面図・立面図	ー 0 7	電灯分電盤・引込開閉器結線図・装柱図	ー 0 7	(解体) 倉庫 仕上表・求積図・平面図・立面図	K M ー 0 1	(解体) 特記仕様書 (1)
ー 0 8	【事務所】平面詳細図・展開図			ー 0 8	(解体) 倉庫 建具符号図・矩計図・建具表	ー 0 2	(解体) 配置図
ー 0 9	【事務所】矩計図・天井伏せ図・建具表	M ー 0 1	機械設備新営工事特記仕様書 (1)	ー 0 9	(解体) 倉庫 構造図	ー 0 3	(解体) 平面図 (空調・換気・給油設備)
ー 1 0	【車庫・倉庫】平面図・断面図・立面図	ー 0 2	機械設備新営工事特記仕様書 (2)	ー 1 0	(解体) 物置①、② 平面図・立面図・建具表	ー 0 4	(解体) 平面図 (給排水設備)
ー 1 1	【車庫・倉庫】仕上表・面積表・矩計図	ー 0 3	機械設備新営工事特記仕様書 (3)	ー 1 1	(解体) 物置③、④、⑤ 平面図・立面図・建具表	ー 0 5	(解体) 特記仕様書 (1)
ー 1 2	【車庫・倉庫】平面詳細図・建具表	ー 0 4	案内図・配置図	ー 1 2	(解体) 車庫 (既製品) 詳細図	ー 0 6	(解体) 平面図 (空調・換気・給油設備)
ー 1 3	外構計画・詳細図	ー 0 5	平面図・機器表 (空調・換気設備)	ー 1 3	(解体) 事務所 仕上表・求積図・平面図	ー 0 7	(解体) 平面図 (給排水設備)
		ー 0 6	平面図・衛生器具表・樹表 (給排水設備)	ー 1 4	(解体) 事務所 立面図・断面詳細図		
S ー 0 1	【事務室】構造図			ー 1 5	(解体) 事務所 建具表		
ー 0 2	【車庫】構造図			ー 1 6	(解体) 物置・車庫・外部廻り 詳細図		
ー 0 3	【倉庫】構造図			ー 1 7	(解体) 事務所 構造図		
ー 0 4	地盤調査結果						

津 軽 森 林 管 理 署



株 式 会 社 八 洲 建 築 設 計 事 務 所

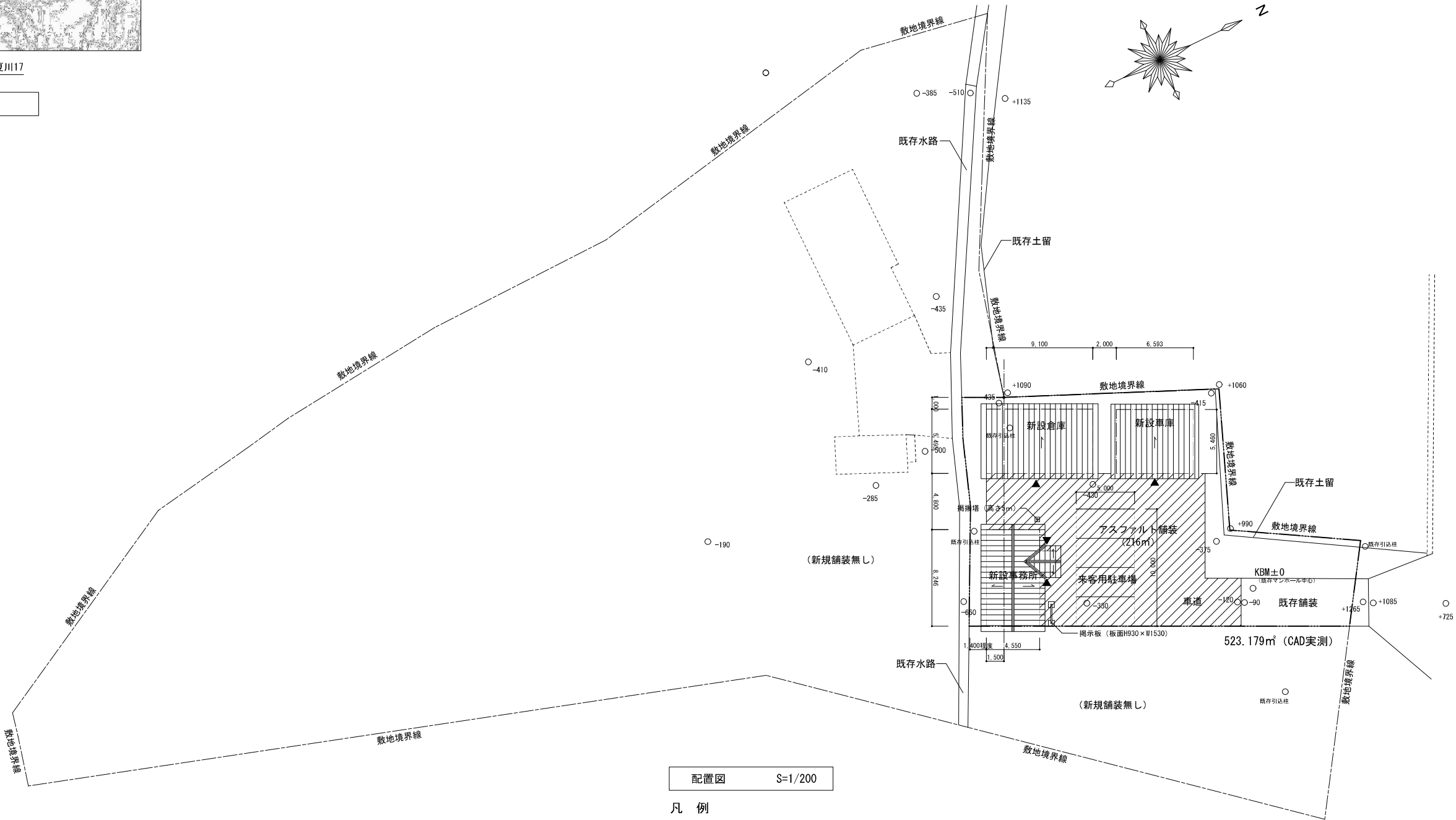
木造建築工事特記仕書			特記事項			項目			特記事項							
Ⅰ	工事概要		Ⅰ	一般共通事項	Ⅰ	コンクリート・鉄筋工事		Ⅰ	一般共通事項	Ⅰ	2. 電子物品は「青森県建築事業に係る電子物品選用法ガイドライン」による。					
	1 工事場所	青森県弘前市大字館高字夏川17、19-4				ブロック建築					3. 提出図書等は、イメージキャビネット材料外周付き（ES0-10N・M045H200×450 同等品）に納めて納入すること。また、特記工事番号及び工事名を記入すること。					
	2 用途地域・その他規制区域等	都市計画区域外				防水施工					4. 再生資源利用計画書（実施書）、再生資源利用促進計画書（実施書） 工事完了後「建設リサイクルデータベース統合システム」（CORASシステム）により、入力したデータを提出する。なお、データの提出が困難な場合は、監督職員の承諾を得た上で、補による提出とする。					
	3 敷地面積	3,886.19㎡				石工事					5. 採りされたO・Dデータは本工事における施工図及び竣工図の作成のため以外には使用しないこと。					
	4 工事内容					土工事					⑤ 設置工事との取り合い					
						タイل工事					⑤ 設計④					
						木工事										
						屋根及びとい工事										
						金属工事										
						左官工事										
						建具工事										
						カーデショール工事										
						塗装工事										
						内装工事										
						防水工事										
						舗装工事										
						舗装工事										
						舗装工事										
						舗装工事										
						舗装工事										
						舗装工事										
						舗装工事										
						舗装工事										
						舗装工事										
						舗装工事										
						舗装工事										



青森県弘前市大字相馬字夏川17

案内図

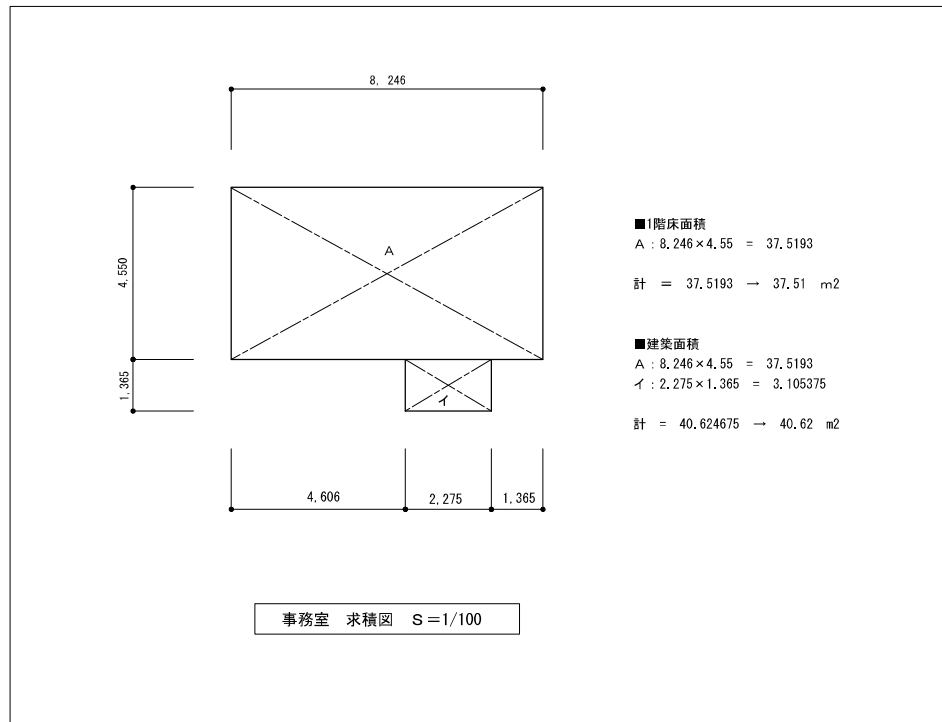
建 築 概 要				
事 業 名	相馬・岩木合同森林事務所新築工事			
計 画 地	青森県弘前市大字相馬字夏川17、19-4			
都市計画区域	都市計画区域外			
防火地域 その他地域	無し			
敷 地 面 積	3,886.19 ㎡（登記簿による）			
	計画建物1	計画建物2	計画建物3	合 計
建 物 用 途	事務所	車庫	倉庫	
建 築 面 積	40.62 ㎡	35.99 ㎡	50.00 ㎡	126.61 ㎡
延 床 面 積	37.51 ㎡	35.99 ㎡	50.00 ㎡	123.50 ㎡
最 高 高 さ	4.25 m	4.12 m	4.1235 m	
最 高 軒 高	3.450 m	3.450 m	3.450 m	
構 造 規 模	木造平屋建て	木造平屋建て	木造平屋建て	

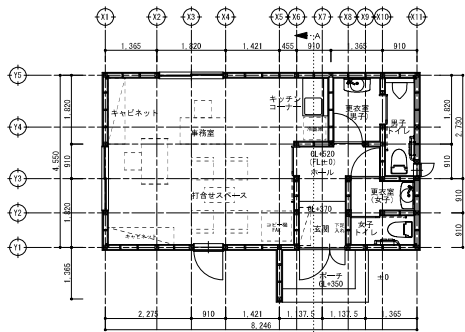


配置図 S=1/200

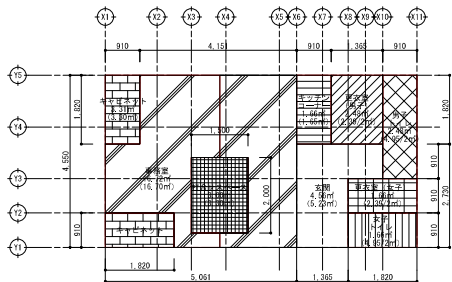
凡 例
○+○○○ : KBMからの高低差を示す (mm)

外 部 仕 上 表		特 記 事 項		防火、耐久 認定番号		凡 例		その他	
屋 根	長尺ガルバリウムカラー鋼板t=0.35立平葺 アスファルトルーフィング 940下地 野地板：構造用合板 t=12	【断熱材】 ・天井面：住宅用プラスチック系防湿フィルムt=0.2、住宅用グラスウール断熱材t=200（16kg/m3） ・外壁面：住宅用プラスチック系防湿フィルムt=0.2、住宅用グラスウール断熱材t=100（16kg/m3） ・基礎（外壁面）：押出発泡ポリスチレンフォーム（3種b）（防蟻剤入）t=50打込み ・土間コン下：押出発泡ポリスチレンフォーム（3種b）（防蟻剤入）t=50敷込み ・土間コン基礎面：押出発泡ポリスチレンフォーム（3種b）（防蟻剤入）t=50打込み		・石膏ボードt=9.5 QM-9828 ・石膏ボードt=12.5 NM-8619 ・防水石膏ボードt=9.5 NM9826 ・防水石膏ボードt=12.5 NM9826 ・化粧石膏ボードt=9.5 QM-9824 ・不燃下地+無機質クロス NM-9891 ・準不燃下地+ビニルクロス QM-9504 ・無石綿珪酸カルシウム板 NM-8578 ・化粧珪酸カルシウム板 NM-8579 ・ロックウール吸音板 NM-8599 ・キッチンパネル NM-0261 ・塗装基材同等 NM-8585、QM-9816		【塗装】 S O P : 合成樹脂調合ペイント塗 C L : クリアラッカー塗 N A D : アクリル樹脂系非水分散型塗料塗 D P : 耐候性塗料塗 E P-G : つや有合成樹脂エマルションペイント塗 E P : 合成樹脂エマルションペイント塗 E P-T : 合成樹脂エマルション模様塗料 U C : ウレタン樹脂ワニス塗 L E : ラッカーエナメル塗 O S : オイルステイン塗 W P : 木材保護塗料塗 【建具】 A D : アルミ製ドア A W : アルミ製窓 P D : 樹脂製ドア P W : 樹脂製窓 W D : 木製戸 【ガラス】 F L : 透明ガラス F : 型板ガラス A : 空気層		【室名札】 ○ : 平付250×60 ⊖ : ピクト200×200 Ⓐ : シート切文字H30	
外 壁	窯業系サイディングt=16.0（塗装品、通気金具止め工法） 木製通気胴縁 18×45、@455下地 透湿性防水シート t=0.16（JIS A6930同等品）								
軒 天 井	ケイ酸カルシウム板 t=6.0 突付張 NAD塗（一部：有孔板）	【特記事項】 ※J.石膏ボードは継目処理とする。 ※建築材料：断熱・下地・仕上・塗装等の材料は全てF☆☆☆☆とする。 ※クロロピリホスの使用禁止 ※カーテン、じゅうたん等を使用する場合は防炎品とする。 ※ステンレスは特記なき限りSUS304とする。							
開 口 部	外部建具：アルミ+樹脂複合断熱サッシ（H-5） 内部建具：木目調化粧合板仕上（木製既製品建具）								
根 廻 り	断熱材直塗り仕上材t=3.0 一部：コンクリート打放し仕上（B種）	【使用材料】 ・間柱：105×36@455 サッシ顔縁：既製品枠 ・窓台：105×45 木製建具枠：既製品枠 ・まぐさ：105×45 天井廻り縁：塩ビ製 ・天井野縁：45×45@455 ・天井吊木：45×45@910 ・胴縁：45×18@455							
ボ ー デ	床：磁器質100角タイル、 壁：外壁仕上参照、 天井：軒天井仕上参照								

[illegible]



事務室平面図 A1 : 1/100



事務室単線図 A1 : 1/100

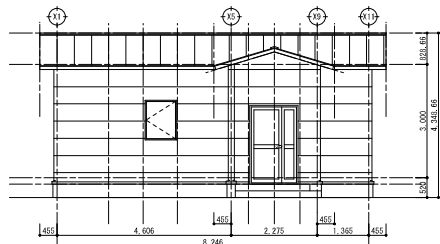
区分	内訳書面積	プラン面積
事務室	16.70㎡	16.72㎡
打合せスペース	3.30㎡	3.00㎡
給湯室	1.65㎡	1.66㎡
便所・洗面所（男）		2.48㎡
便所・洗面所（女）	4.95㎡	1.66㎡
更衣室（男）		2.48㎡
更衣室（女）	2.39㎡	1.66㎡
書籍スペース	3.30㎡	3.31㎡
玄関・廊下	5.23㎡	4.56㎡
小計	37.52 (38.00) ㎡	37.53 (38.00) ㎡
車庫	36.00㎡	36.00㎡
倉庫	50.00㎡	50.00㎡
計	124.00㎡	124.00㎡

面積算定表

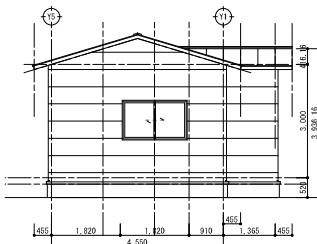
事務所 仕上

屋根：長尺ガルバリウムカラー鋼板t=0.35 立平葺

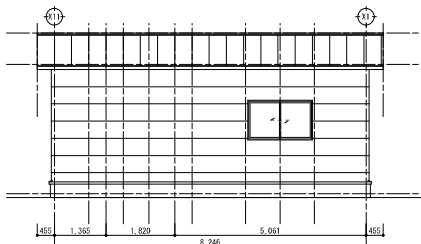
外壁：窯業系サイディングt=16.0 (通気金具工法)



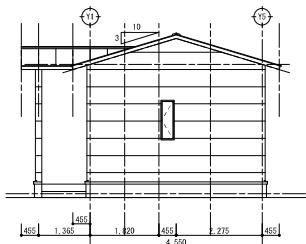
北側立面 A1 : 1/100



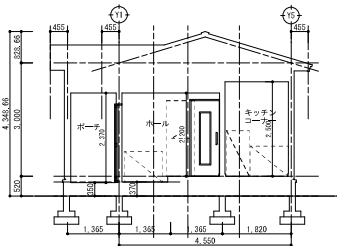
東側立面 A1 : 1/100



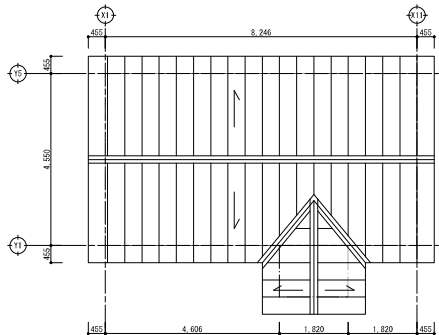
南側立面 A1 : 1/100



西側立面 A1 : 1/100

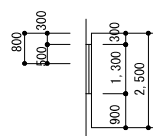


A-A' 断面図 A1 : 1/100

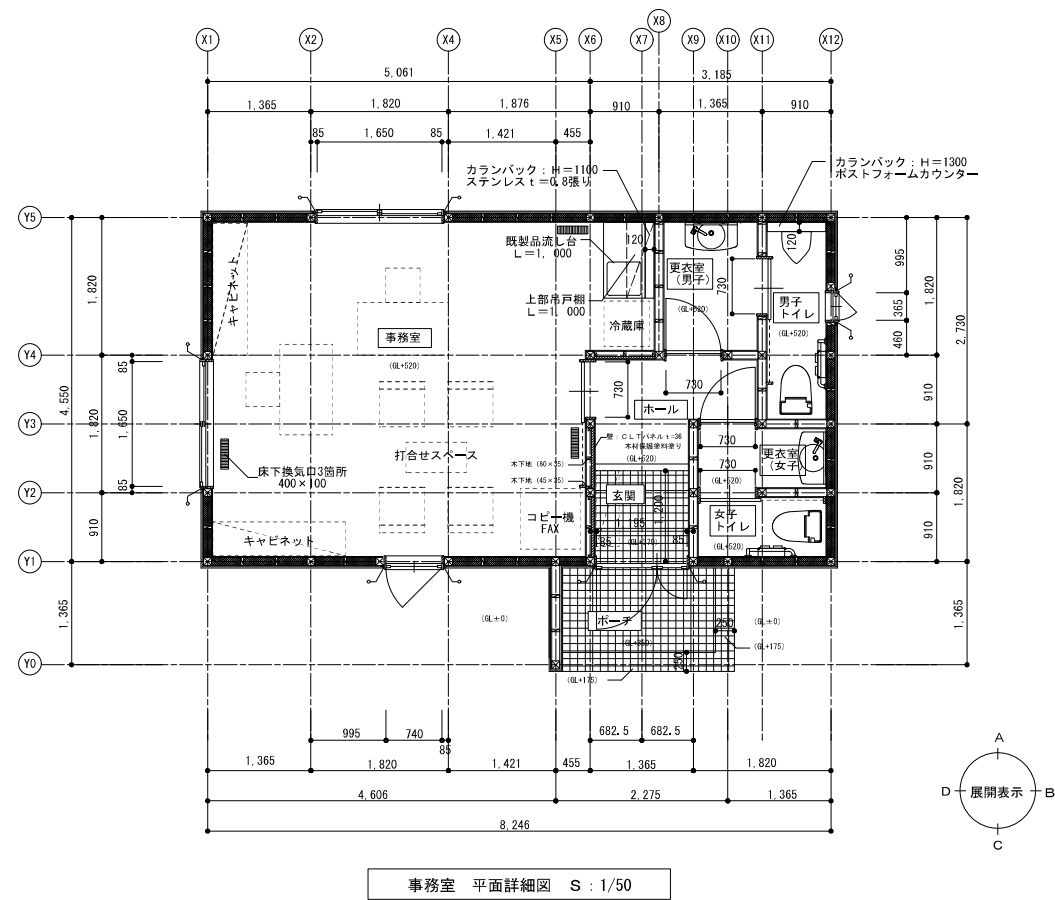
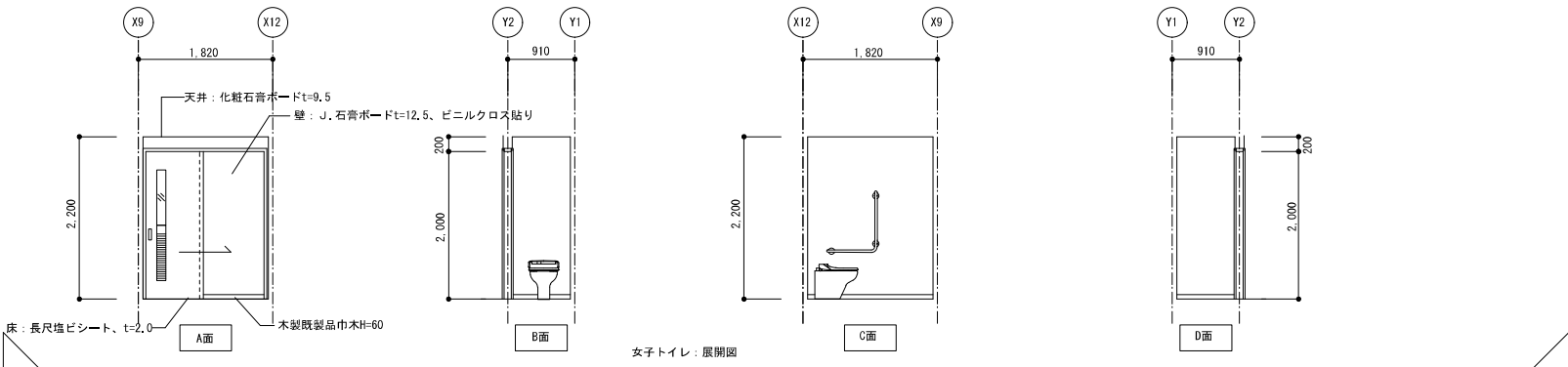
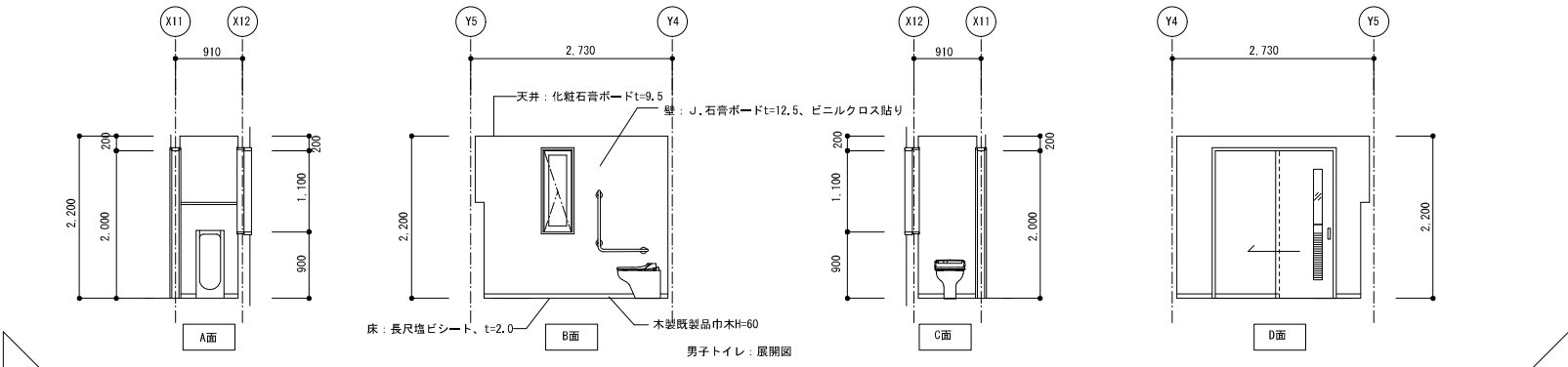
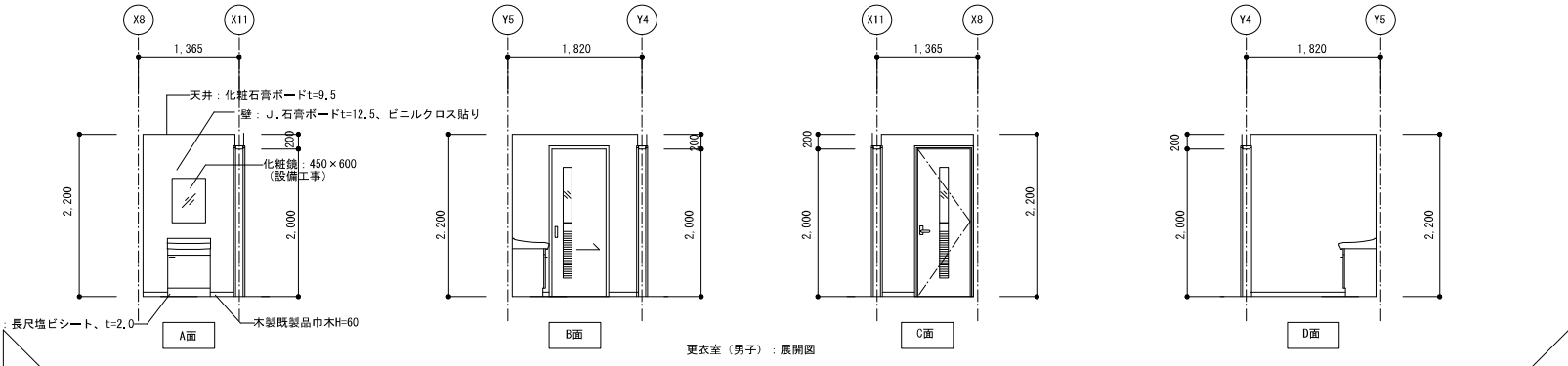
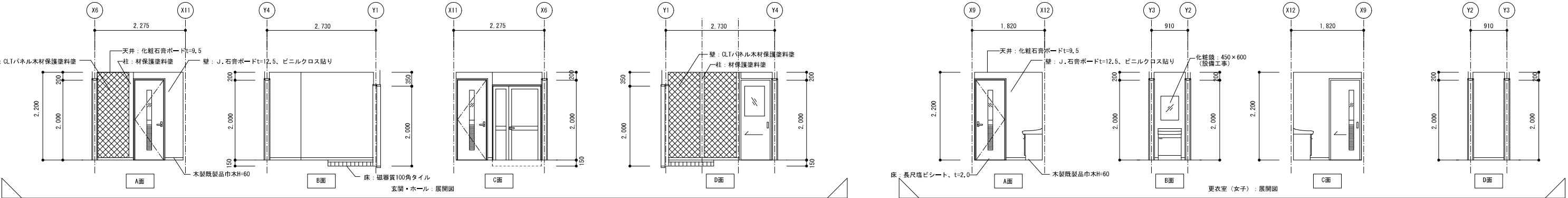
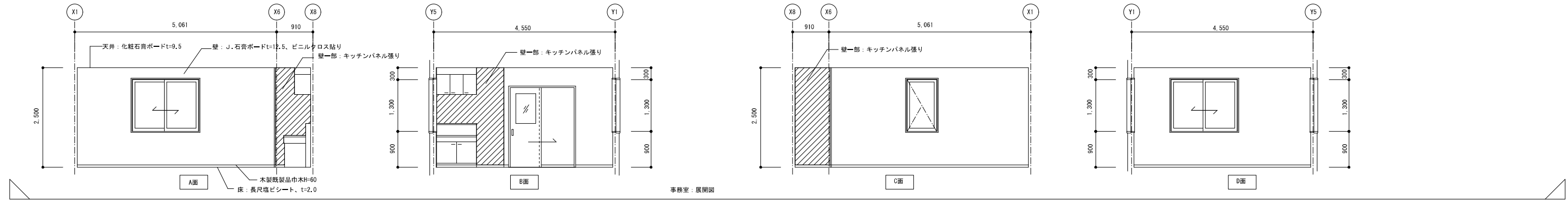


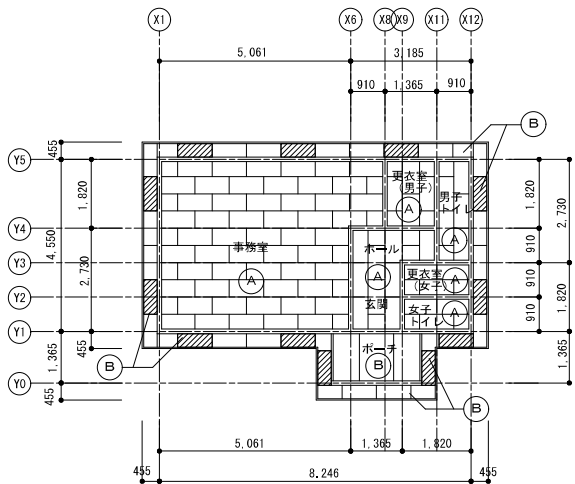
屋根伏図 A1 : 1/100

消 防 法 無 窓 階 の 検 討					
1階床面積 37.51 m2		必要開口部面積 37.51×1/30 = 1.26	有効開口部面積 合計 5.406 m2	算定結果 (普)・無	
建具記号	床面からの 高さ(m)	幅(m)×高さ(m)×所在ヶ所	開口部面積 小計(m2)	開口部種別	備 考
A D-1	0	1.195 × 2.0 × 1	2.39	親子開き戸	
AW-1	0.9	0.79 × 1.3 × 2	2.054	引き違い窓	
AW-2	0.9	0.74 × 1.3 × 1	0.962	縦にり出し窓	
合 計			5.406		

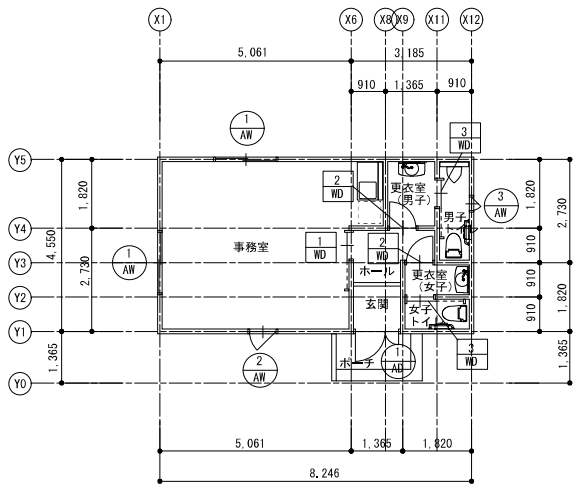
居室開口部の検討 (採光・換気・排煙)		
室 名	事務室 (CH=2,500)	
床面積	(5.061 × 4.55) + (0.91 × 1.82) = 24.68375 m2	 【AW-1・AW-2断面】
採光必要面積	24.69 × 1/20 = 1.24	
有効採光面積	AW-1: 1.65 × 1.3 × 2カ所 = 4.29 AW-2: 0.74 × 1.3 × 1カ所 = 0.96 計 5.25 ∴ OK	
換気必要面積	24.69 × 1/20 = 1.24	
有効換気面積	AW-1: 0.79 × 1.3 × 2カ所 = 2.05 AW-2: 0.74 × 1.3 × 1カ所 = 0.96 計 3.01 ∴ OK	
排煙必要面積	24.69 × 1/50 = 0.494	
有効排煙面積	AW-1: 0.79 × 0.5 × 2カ所 = 0.79 AW-2: 0.74 × 0.5 × 1カ所 = 0.37 計 1.16 ∴ OK	





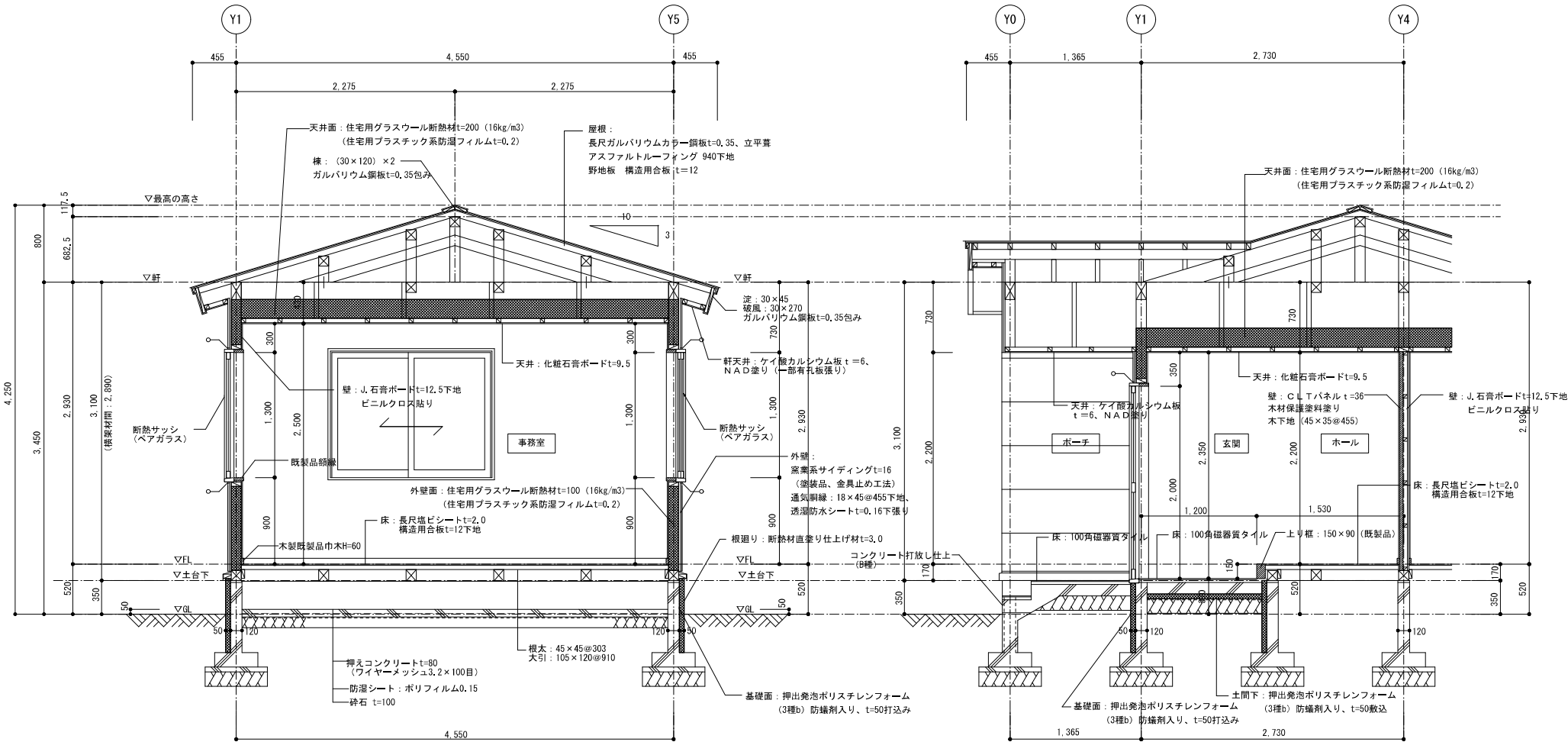


事務室 天井伏図 S=1/100



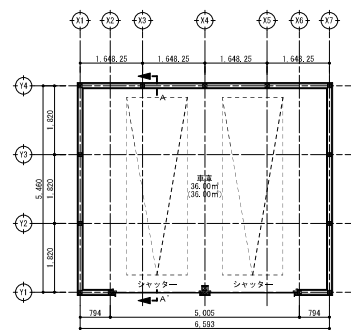
事務室 建具符号図 S=1/100

記号	天井 仕上	廻り縁
(A)	化粧石膏ボードt=9.5	塩ビ製
(B)	ケイ酸カルシウム板t=6.0突付張り、NAD塗	アルミ製
	有孔ケイ酸カルシウム板t=6.0突付張り、NAD塗	アルミ製
	アルミ製天井点検口：450×450（断熱）	



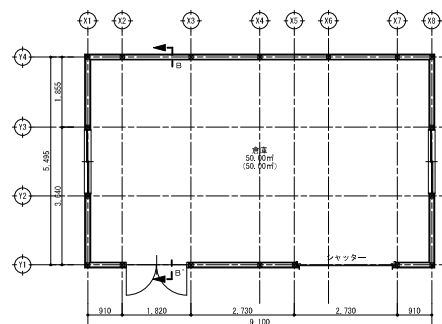
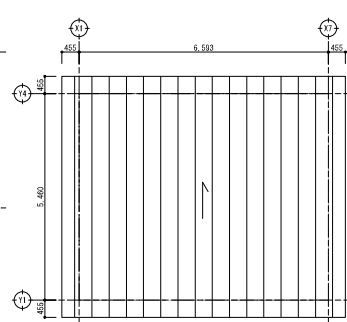
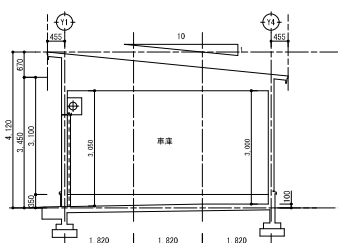
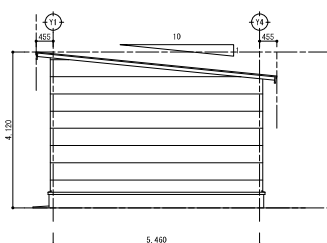
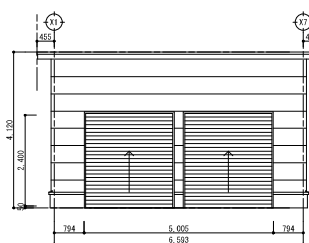
事務室 矩計図 S=1/30

符号・個数・場所	(1/AD) ×1 玄関	(1/AN) ×2 事務室
姿 図		
呼 称	アルミ製 親子開き戸	アルミ製引違い窓（断熱サッシ）
仕上材	アルミ製サッシ（框戸）	アルミ+樹脂複合建具
ガラス	上部：FL3+G12+Low-E3、下部：断熱パネル	FL5+A12+FL5
金 物	レバーハンドル、フランス落し、シリンダー錠 他付属金物一式	クレセント、既製品顔縁、網戸、他付属金物一式
備 考	断熱仕様（H-4）	
符号・個数・場所	(2/AN) ×1 事務室	(3/AN) ×1 男子トイレ
姿 図		
呼 称	アルミ製縦にり出し窓（断熱サッシ）	アルミ製縦にり出し窓（断熱サッシ）
仕上材	アルミ+樹脂複合建具	アルミ+樹脂複合建具
ガラス	FL-3+A12+FL-3	FL-3+A12+FL-4
金 物	グレモンハンドル、既製品顔縁、網戸 開閉金物、他付属金物一式	グレモンハンドル、既製品顔縁、網戸 開閉金物、他付属金物一式
備 考		
符号・個数・場所	(4/AN) ×1 ポーチ	(1/WD) ×1 事務室
姿 図		
呼 称	アルミ製ハーフ錠し窓	木製片引き戸（既製品枠共）
仕上材	アルミ製建具	両面：木目調化粧合板
ガラス	FL-3	FL-5
金 物	付属金物一式	引手、フラットレール、戸車 他付属金物一式
備 考	見込 36	見込 36
符号・個数・場所	(2/WD) ×2 男女更衣室	(3/WD) ×2 男女トイレ
姿 図		
呼 称	木製片開きドア（既製品枠共）	木製片引き戸（既製品枠共）
仕上材	両面：木目調化粧合板	両面：木目調化粧合板
ガラス	F-4	F-4
金 物	レバーハンドル、丁番、ドアクローザー、ガラリ、 他付属金物一式	引手、フラットレール、戸車、ガラリ 他付属金物一式
備 考	見込 35	見込 36



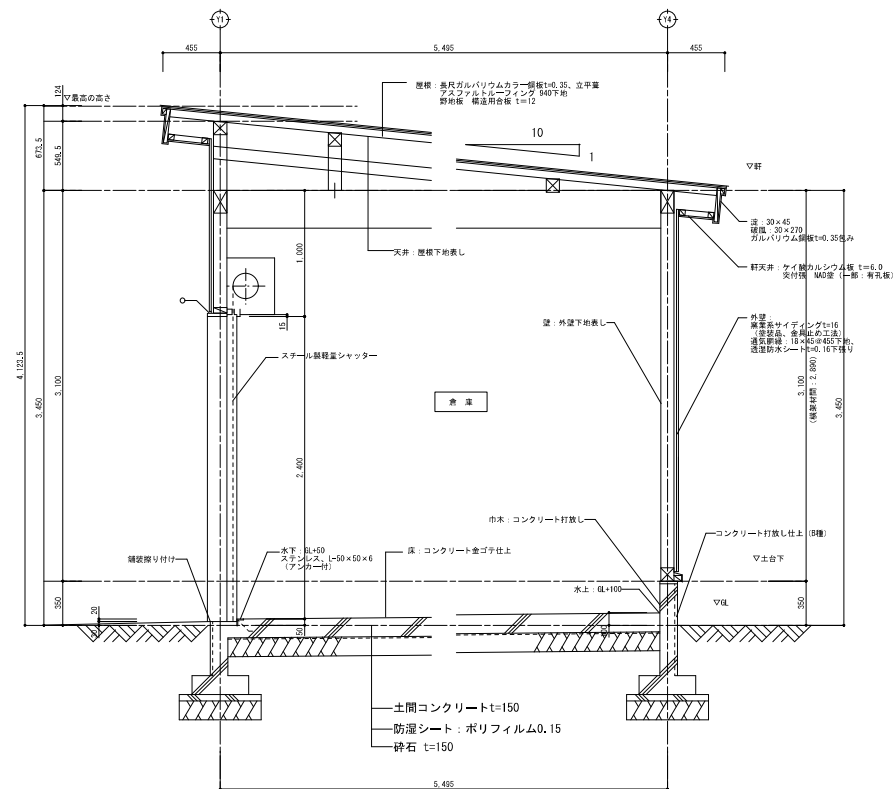
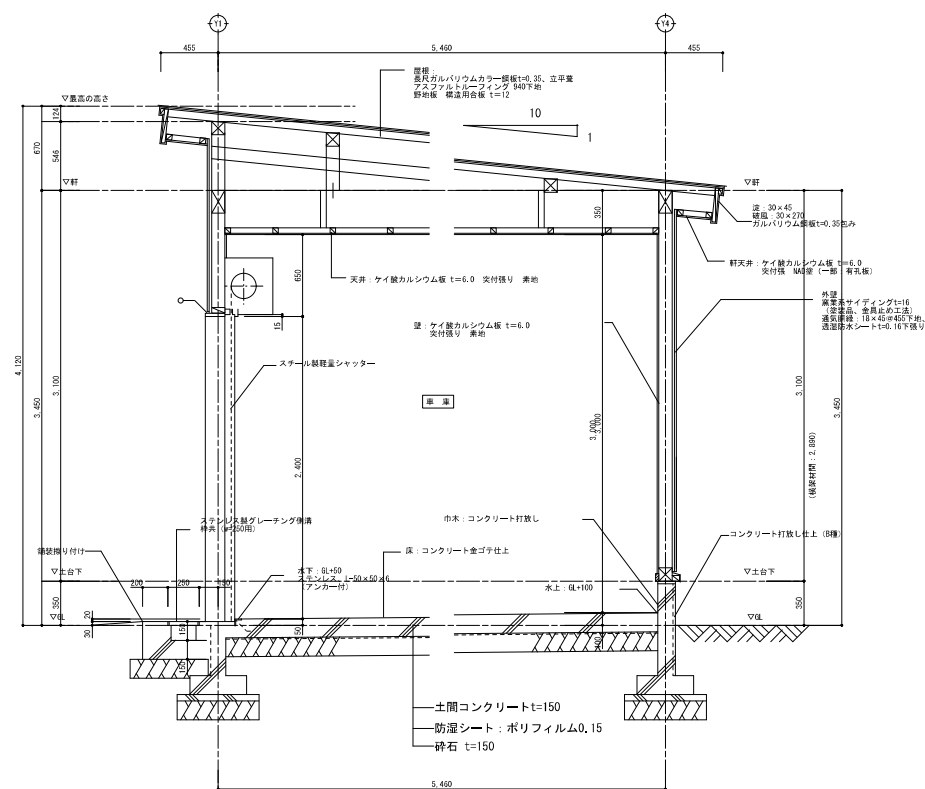
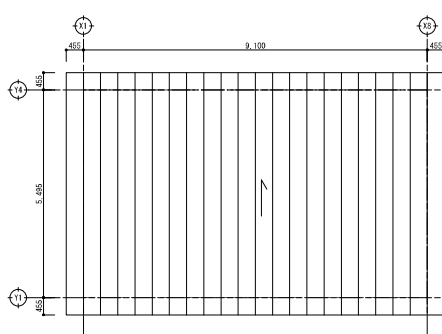
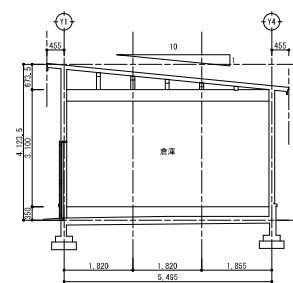
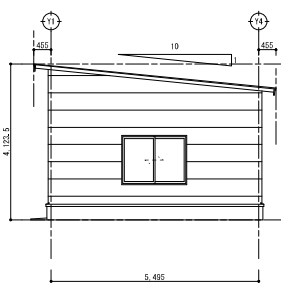
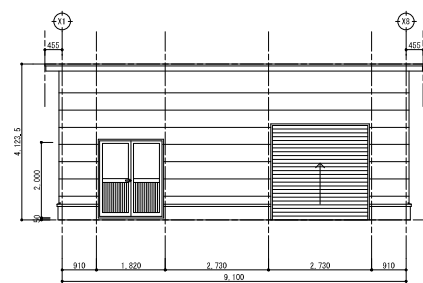
車庫 仕上
屋根：長尺ガルバリウムカラー鋼板 $t=0.35$ 立平葺
外壁：窯業系サイディング $t=16.0$ （通気金具工法）

面積表	
床面積：6.593 × 5.46 = 35.99778	計：35.99m ²
建築面積：6.593 × 5.46 = 35.99778	計：35.99m ²



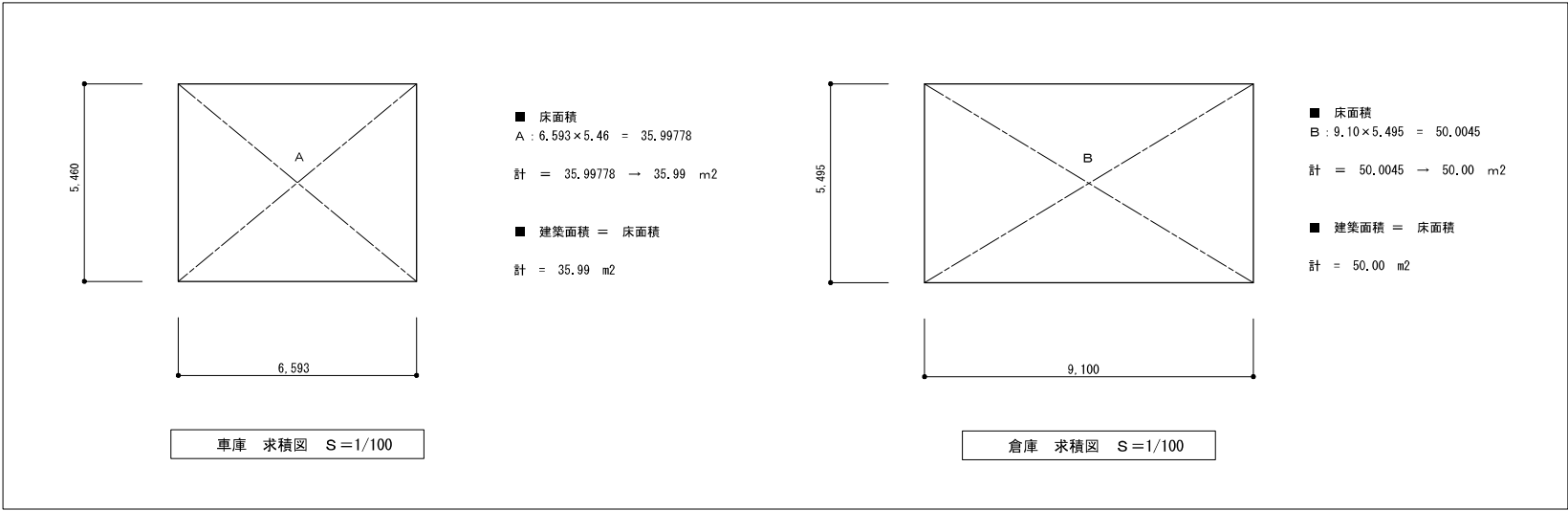
倉庫 仕上
屋根：長尺ガルバリウムカラー鋼板t=0.35 立平葺
外壁：窯業系サイディングt=16.0（通気金具工法）

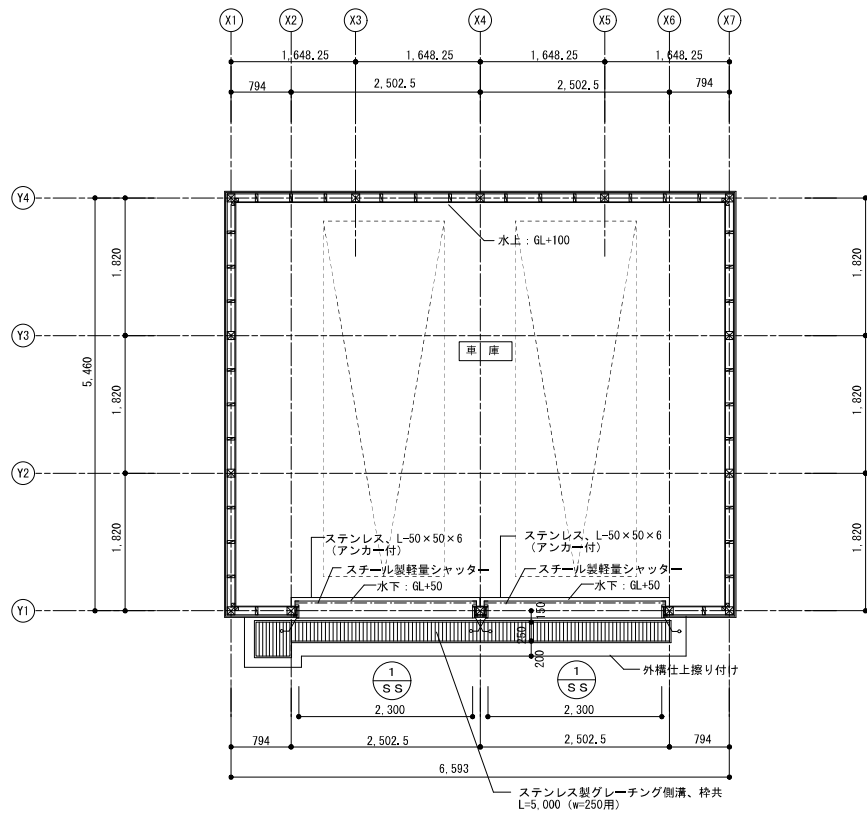
面積表	
床面積：9.10×5.495=50.0045	計：50.00m ²
建築面積：9.10×5.495=50.0045	計：50.00m ²



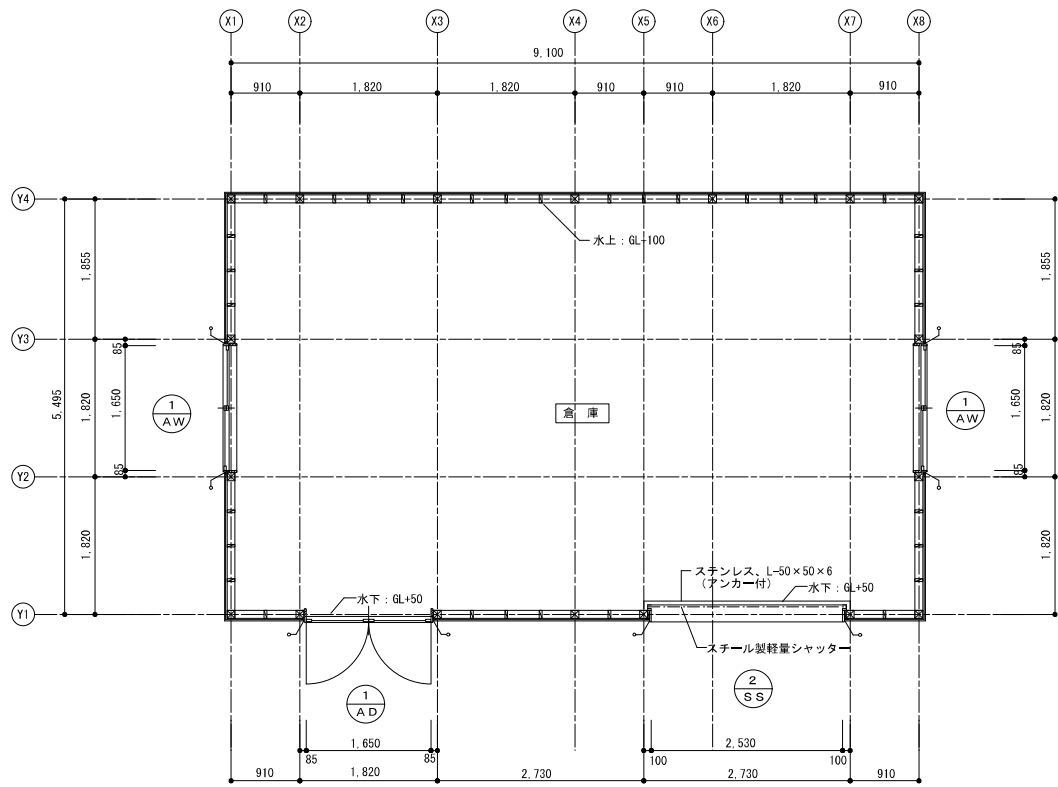
外 部 仕 上 表		特 記 事 項	防火、耐火 認定番号		凡 例	
屋 根	長尺ガルバリウムカラー鋼板t=0.35立平葺 アスファルトルーフィング 940下地 野地板：構造用合板 t=12	【使用材料】 ・間柱：105×36@455 ・窓台：105×45 ・まぐさ：105×45 ・天井野縁：45×45@455 ・天井吊木：45×45@910 ・胴縁：45×18@455	・石膏ボードt=9.5	QM-9828	【塗装】 S O P：合成樹脂調合ペイント塗 C L：クリアラッカー塗 N A D：アクリル樹脂系非水分散型塗料塗 D P：耐候性塗料塗 E P-G：つや有合成樹脂エマルションペイント塗 E P：合成樹脂エマルションペイント塗 E P-T：合成樹脂エマルション模様塗料 U C：ウレタン樹脂ワニス塗 L E：ラッカーエナメル塗 O S：オイルステイン塗 W P：木材保護塗料塗	【建具】 A D：アルミ製ドア A W：アルミ製窓 P D：樹脂製ドア P W：樹脂製窓 W D：木製戸 【ガラス】 F L：透明ガラス F：型板ガラス A：空気層
外 壁	窯業系サイディングt=16.0（塗装品、通気金具止め工法） 木製通気胴縁 18×45、@455下地 透湿性防水シート t=0.16（JIS A6930同等品）		・石膏ボードt=12.5	NM-9619		
軒 天 井	ケイ酸カルシウム板 t=6.0 突付張 NAD塗（一部：有孔板）		・防水石膏ボードt=9.5	NM9826		
開 口 部	外部建具：アルミ製サッシ、 スチール製シャッター		・防水石膏ボードt=12.5	NM9826		
根 廻 り	コンクリート打放し仕上（B種）		・化粧石膏ボードt=9.5	QM-9824		
			・不燃下地・無機質クロス	NM-9891		
			・準不燃下地・ビニルクロス	QM-9504		
			・無石綿珪酸カルシウム板	NM-9578		
			・化粧珪酸カルシウム板	NM-9579		
			・ロックウール吸音板	NM-9599		
			・キッチンパネル	NM-Q261		
			・塗装基材同等	NM-9585、QM-9816		

内 部 仕 上 表										
階	室 名	床		巾 木		壁	天 井	天井高	廻り縁	備 考
1階	車 庫	コンクリート金ゴテ仕上	GL+50～+100	コンクリート打放し	H=250	ケイ酸カルシウム板 t=6.0 突付張り 素地	ケイ酸カルシウム板 t=6.0 突付張り 素地	3,000～ 3,050	塩ビ製	
	倉 庫	コンクリート金ゴテ仕上	GL+50～+100	コンクリート打放し	H=250	外壁下地 表し	屋根下地 表し			



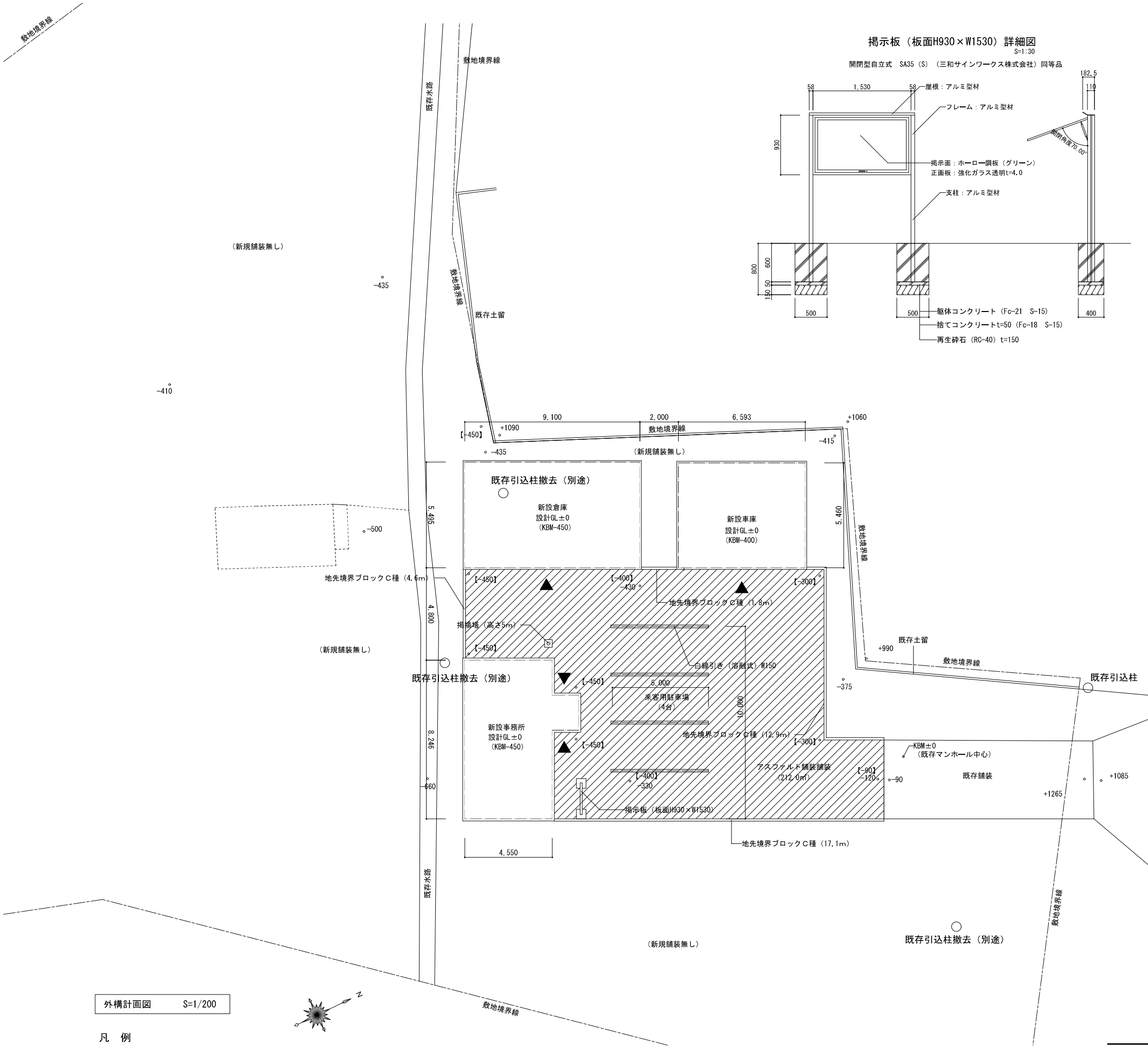


車庫 平面詳細図 S : 1/50



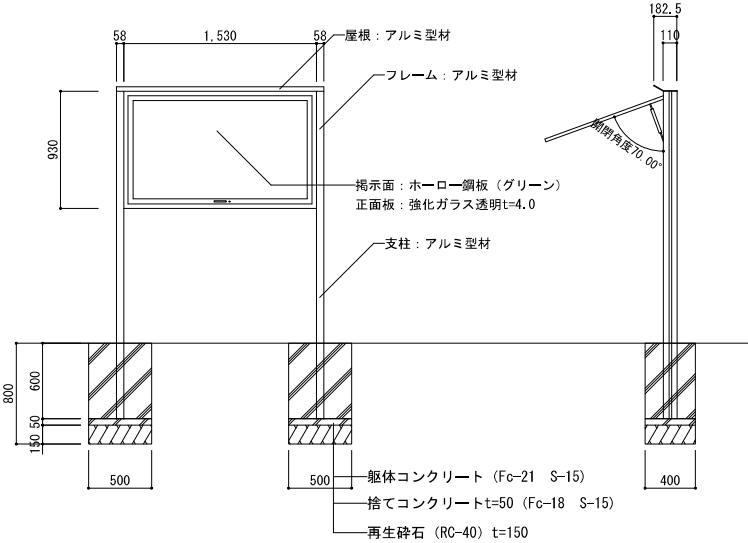
倉庫 平面詳細図 S : 1/50

符号・個数・場所	$\frac{1}{AD} \times 1$ 倉庫	
姿 図		
呼 称	アルミ製 両開き戸	
仕上材	アルミ製サッシ (框戸)	
ガラス	上部：F-4、下部：アルミパネル	
金 物	レバーハンドル、フランス落し、シリンダー錠 他付属金物一式	
備 考		
符号・個数・場所	$\frac{1}{AW} \times 2$ 倉庫	
姿 図		
呼 称	アルミ製引違い窓	
仕上材	アルミ製	
ガラス	F-4	
金 物	クレセント、他付属金物一式	
備 考		
符号・個数・場所	$\frac{1}{SS} \times 2$ 車庫	
姿 図		
呼 称	スチール製 軽量シャッター (手動バランス式)	
仕上材	スラット：カラー鋼板t=0.8、 レール：カラー鋼板	
ガラス		
金 物	ケース、レール、カラー鋼板外縁縁、他付属金物一式	
備 考		
符号・個数・場所	$\frac{2}{SS} \times 1$ 倉庫	
姿 図		
呼 称	スチール製 軽量シャッター (手動バランス式)	
仕上材	スラット：カラー鋼板t=0.8、 レール：カラー鋼板	
ガラス		
金 物	ケース、レール、カラー鋼板外縁縁、他付属金物一式	
備 考		



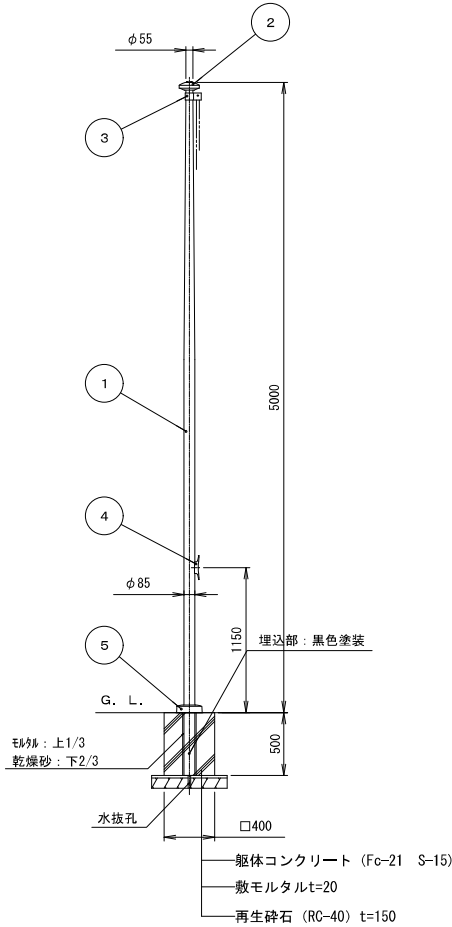
掲示板（板面H930×W1530）詳細図

S=1:30
開閉型自立式 SA35 (S) (三和サインワークス株式会社) 同等品



掲揚塔（高さ5m）詳細図

S=1:30

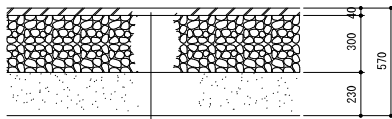


番号	品名	数量	材質	備考
5	グランドセット	1	アルミ合金ダイカスト	塗装仕上げ
4	クリート	1	アルミ合金ダイカスト	バフ研磨後クリアー焼付塗装
3	滑車ホルダー	1	アルミ合金	焼付塗装
2	キャップ	1	アルミ合金/ポリプロピレン	アルマイト処理
1	ポール	1	アルミ合金継目無管 φ85×t2.0	H. L. 後アルマイト処理クリアー電着塗装

旗ポール: ローブ式FP-5U (株式会社サンポール) 同等品

As舗装標準断面図

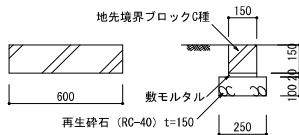
S=1:20



表層工: 再生密粒度As13F
路盤工: 再生砕石RC-40
凍上抑制層: 砂

地先境界ブロックC種

S=1:20

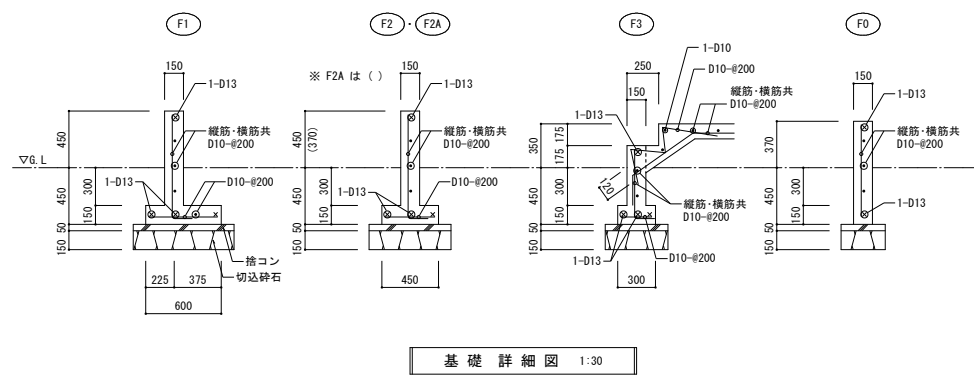
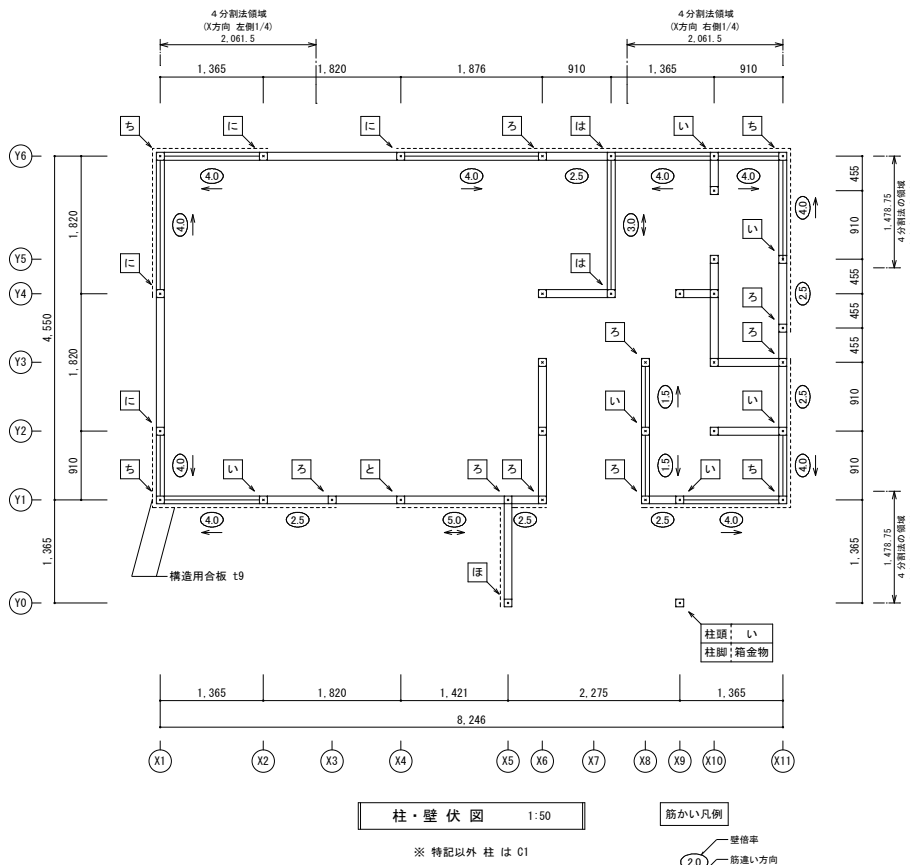
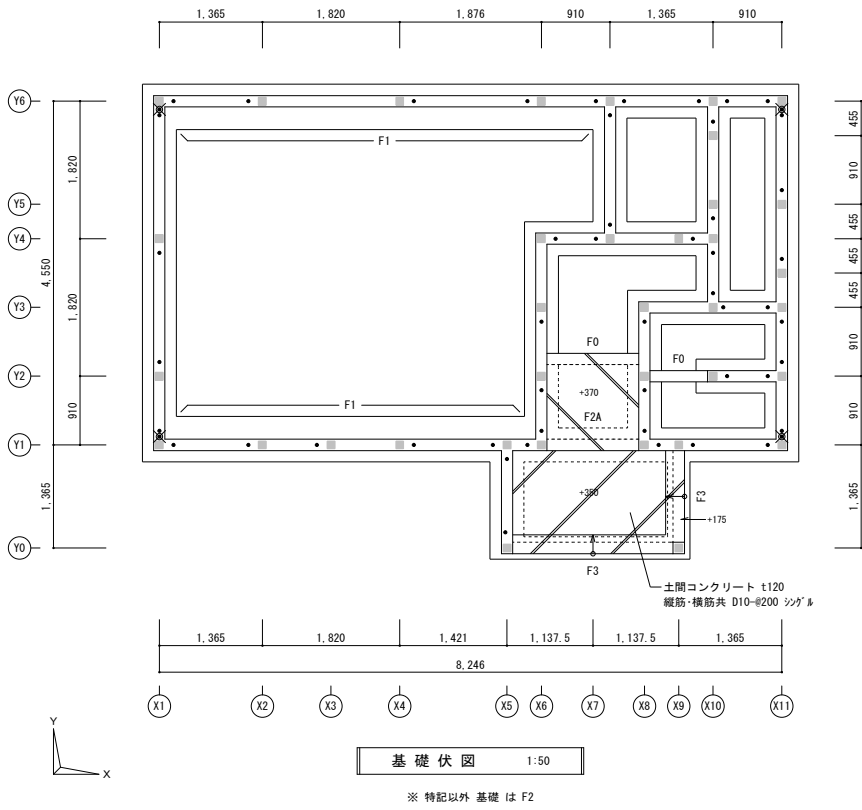
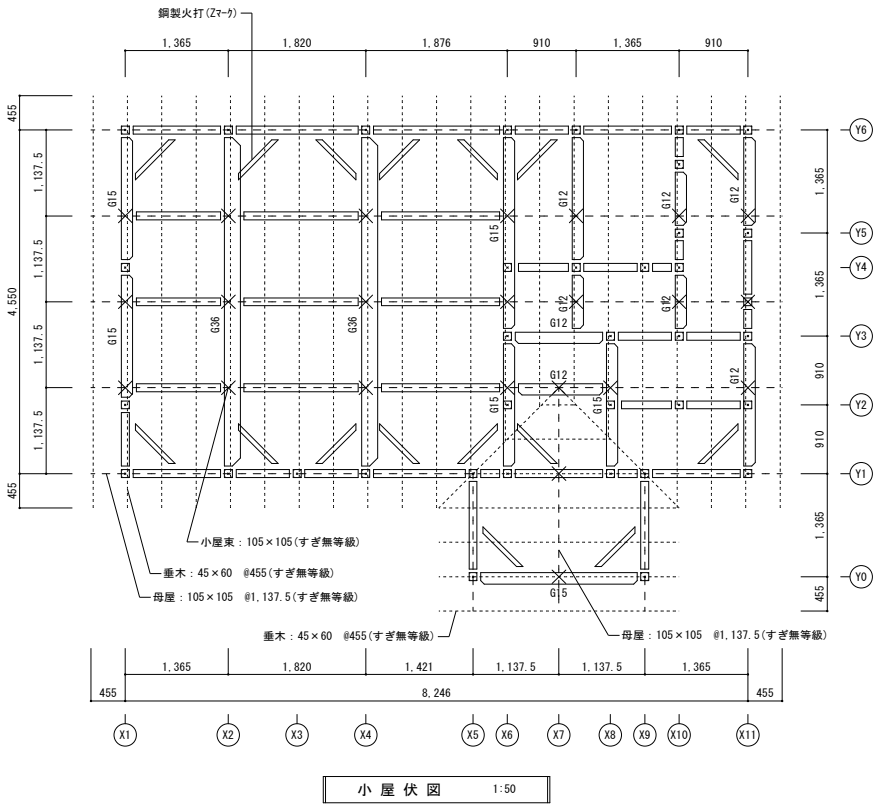
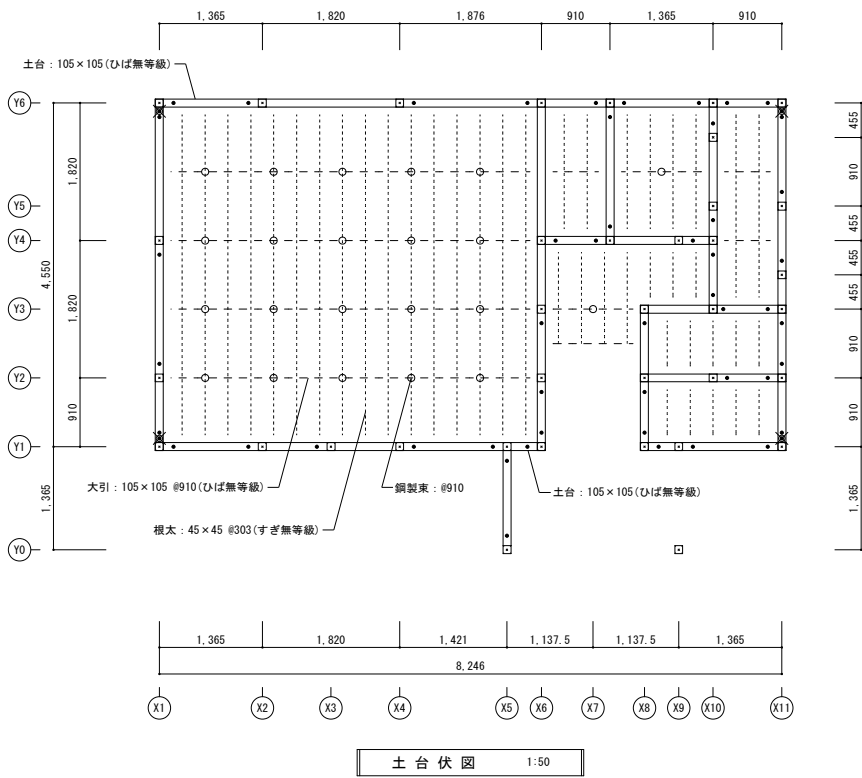


外構計画図

S=1/200

凡例

- +○○○ : KBMからの既存レベルを示す (mm)
【+○○○】 : KBMからの計画レベルを示す (mm)



部 材 リ ス ト			
部位	記号	断 面	材 種
柱	C1	105 × 105	べいまつ 無等級
梁	G36	105 × 360	べいまつ 無等級
	G15	105 × 150	べいまつ 無等級
	G12	105 × 120	べいまつ 無等級
	特記以外	105 × 105	べいまつ 無等級
母 屋	—	105 × 105	すぎ 無等級
垂 木	—	45 × 60 @455	すぎ 無等級
小屋束	—	105 × 105	すぎ 無等級
火打梁	—	鋼製火打梁	Zマ-ウ
土 台	—	105 × 105	ひば 無等級

記号	仕 様	倍率
⑤0	構造用合板 t9 (面材張り大壁)	2.5
⑤0	30×90 ダブル (すぎ無等級)	3.0
⑤0	構造用合板 t9 (面材張り大壁)	2.5
⑤0	30×90 シングル (すぎ無等級)	1.5
⑤0	30×90 ダブル (すぎ無等級)	3.0
⑤0	構造用合板 t9 (面材張り大壁)	2.5

※ 筋違い仕様とする構造用合板の釘はN50とし、間隔は外周@75mm、その他は@150で施工する。

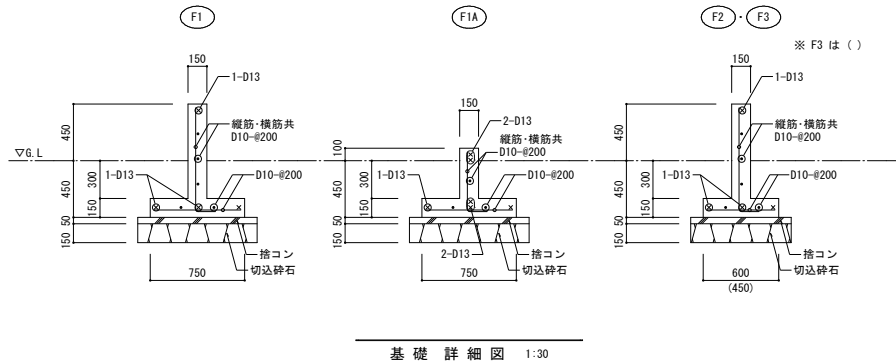
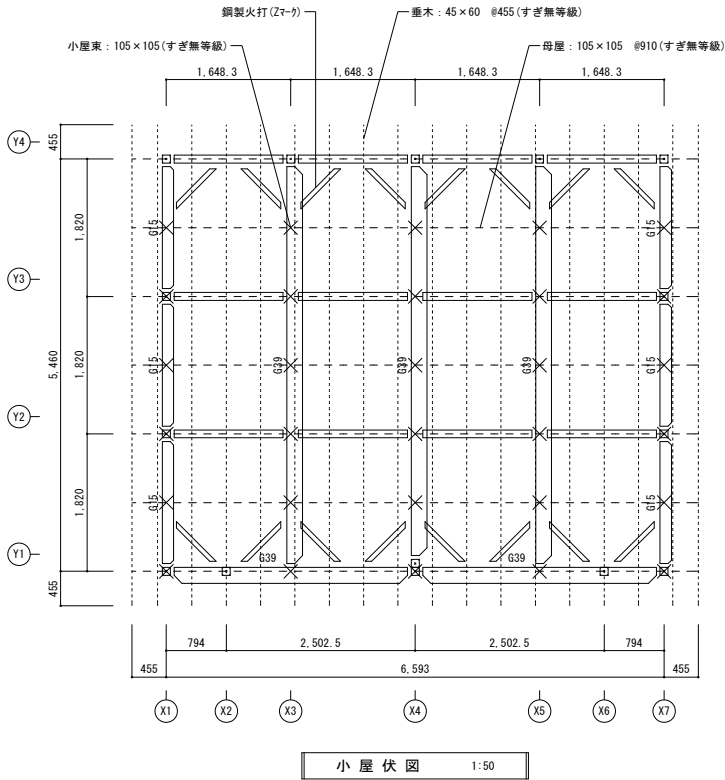
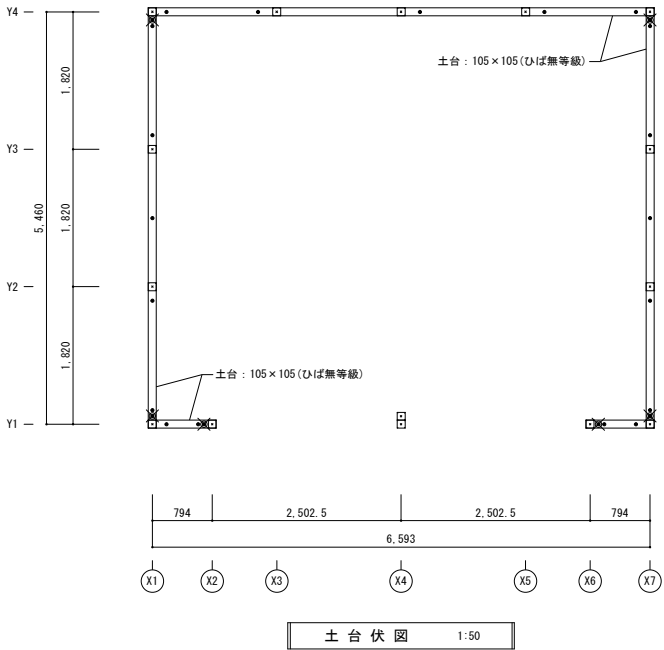
記号	仕 様
い	短ぼぞ差し+かすがい打
ろ	CP-L または 長ぼぞ差し込み栓打
は	CP-T または 山形プレート
に	羽子板+または 短冊金物
ほ	羽子板+または 短冊金物
と	15kN 引き寄せ金物
ち	20kN 引き寄せ金物

※ 特記以外 筋違い取付柱は、[は]山形プレート及び 同等認定品使用。
※ 特記以外 接合金物は柱脚・柱頭とも同じ金物で施工する。

一 般 事 項	
○ コンクリート 基礎コンクリート 設計基準 $F_c=24\text{N/mm}^2$ S-15 捨てコンクリート 設計基準 $F_c=18\text{N/mm}^2$ S-15	○ 設計地耐力 $q_a = 30 \text{ kN/m}^2$ (表 籍) ※ 静的貫入試験により地耐力を確認すること。
○ 鉄 筋 SD295A (D16以下)	○ 防蟻防虫措置 ・ 地面から1m以内の部分は防蟻防虫措置を施す。 ・ 防蟻防虫剤は、JIS1570に適合するクレオソート油類精品 又は、(社)日本木材保存協会認定の防蟻防虫剤とする。 ・ 壁等範囲は、外壁部の柱、間柱、筋違い、胴縁の全て。 (柱、間柱の木口、ほぞまで行い、室内側の見え掛りは行わない)
○ 地 盤 ⑦50 捨てコン ⑦150 切込砕石	

令46条の壁のつりあい良い配置の確認 (4分割法)							
方向	階	ゾーン	存在壁量 (cm)	床 面 積 (㎡)	床面積に占める 係数 (cm/㎡)	耐震必要壁量 (cm)	判定
X	1	上側1/4	2433.90	12.19	11.00	134.13	OK
		中 央	0.00	24.39	—	—	
		下側1/4	2257.50	4.04	11.00	44.48	
		合 計	4691.40	40.62	—	178.61	
		左側1/4	1092.00	9.38	11.00	103.18	
Y	1	中 央	887.25	20.91	—	—	OK
		右側1/4	1638.00	10.33	11.00	113.64	
		合 計	3617.25	40.62	—	216.81	
		左側1/4	1092.00	9.38	11.00	103.18	
		右側1/4	1638.00	10.33	11.00	113.64	

凡 例
✕ : HD用アンカーボルト M16 埋込み長さ L=400以上
・ : アンカーボルト M12 埋込み長さ L=250以上
※ 特記位置の地、土台継ぎに合わせて設ける。



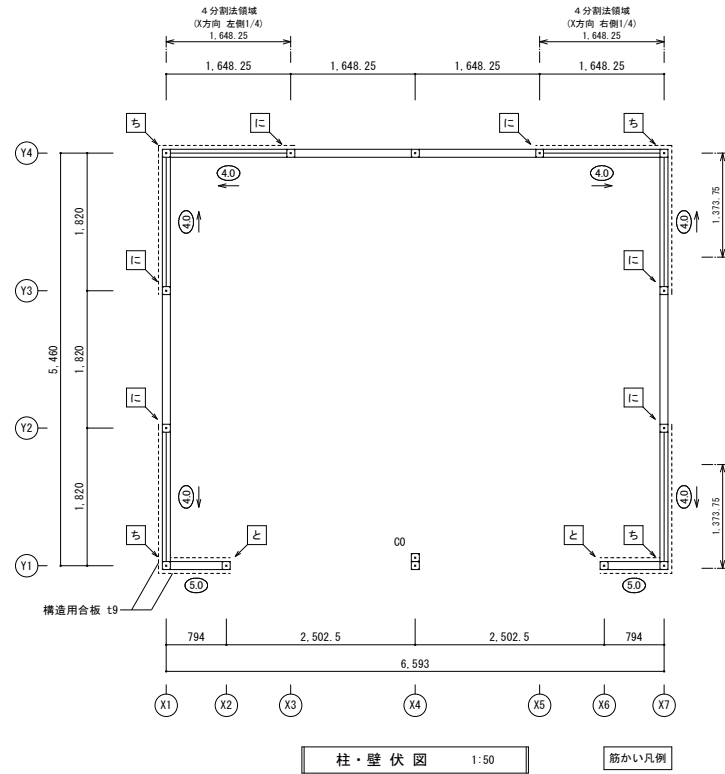
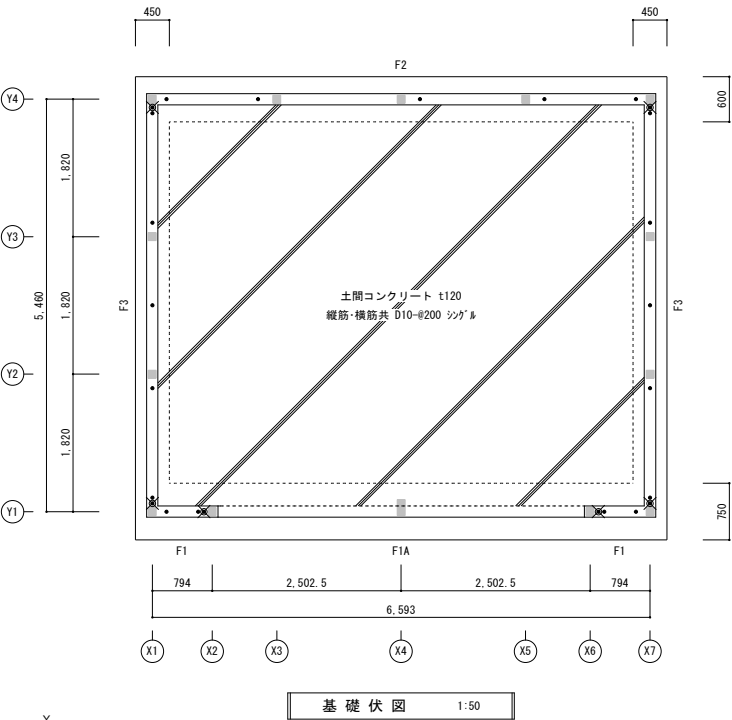
部 材 リ ス ト			
部位	記号	断 面	材 種
柱	C0	2 - 105 x 105	べいまつ 無等級
	C1	105 x 105	べいまつ 無等級
梁	G39	105 x 390	べいまつ 無等級
	G15	105 x 150	べいまつ 無等級
	特記以外	105 x 105	べいまつ 無等級
母 屋	—	105 x 105	すぎ 無等級
垂 木	—	45 x 60 @455	すぎ 無等級
小屋束	—	105 x 105	すぎ 無等級
火打梁	—	鋼製火打梁	Zn-9
土 台	—	105 x 105	ひば 無等級

筋かい仕様 一覧		
記号	仕 様	倍率
50	構造用合板 t9 (面材張り大壁)	2.5
	構造用合板 t9 (面材張り大壁)	2.5
40	構造用合板 t9 (面材張り大壁)	2.5
	30 x 90 シングル (すぎ無等級)	1.5

※ 筋遣い仕様とする構造用合板の釘はN50とし、間隔は外周@75mm、その他は@150で施工する。

柱頭・柱脚 接合部 一覧		
記号	仕 様	
い	短ぼぞ差し+かすがい打	
ろ	GP-L または 長ぼぞ差し込み栓打	
は	GP-T または 山形プレート	
に	羽子板または 短冊金物	
と	15kN 引き寄せ金物	
ち	20kN 引き寄せ金物	

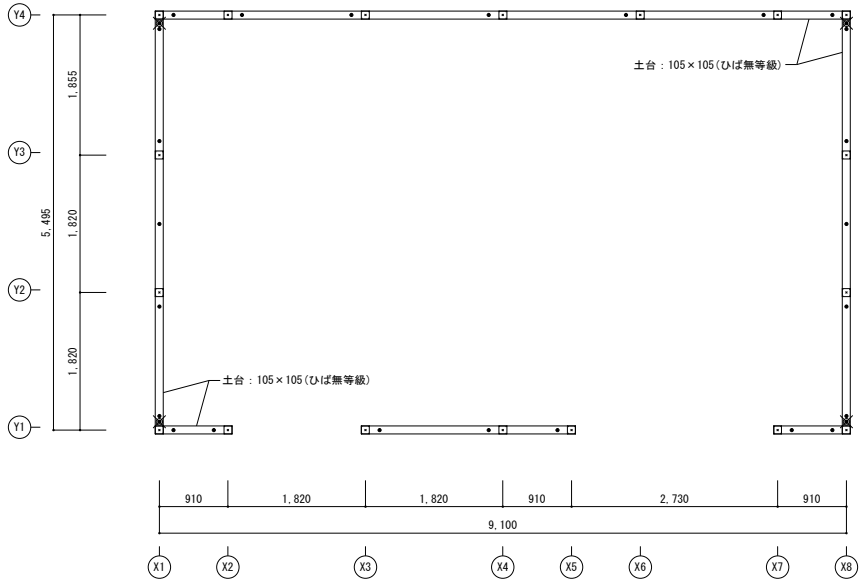
※ 特記以外 筋遣い取付柱は、[は]山形プレート及び 同等認定品使用。
※ 接合金物は柱頭・柱頭と同じ金物で施工する。



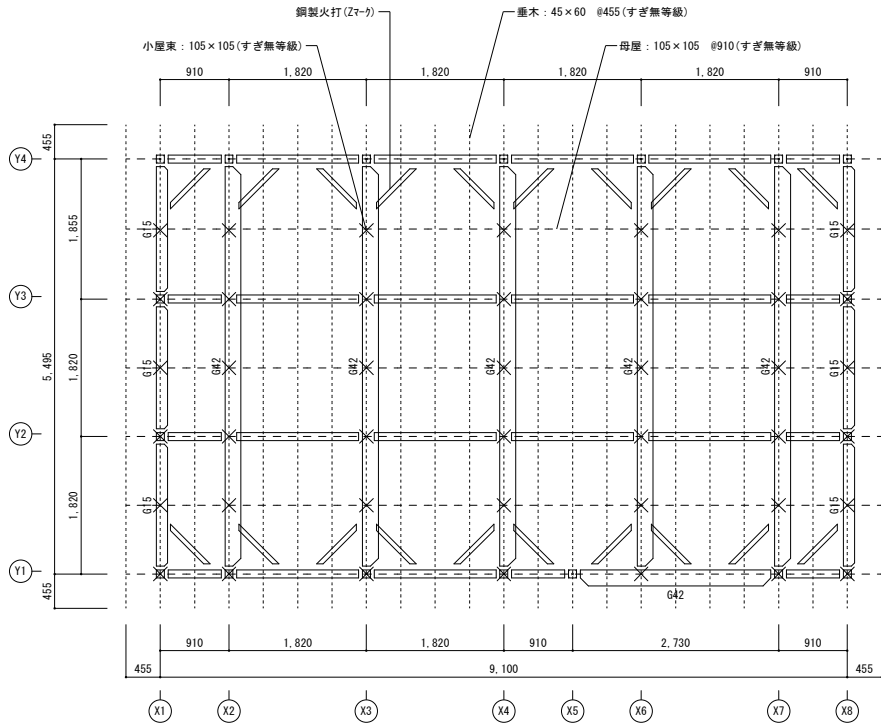
一 般 事 項	
○ コンクリート 基礎コンクリート 設計基準 Fc=24N/mm ² S-15 排テコンクリート 設計基準 Fc=18N/mm ² S-15	○ 設計地耐力 qa = 30 kN/m ² (表 籍) ※ 静的貫入試験により地耐力を確認すること。
○ 鉄 筋 SD295A (D16以下)	○ 防蟻防虫措置 ・ 地面から1m以内の部分は防蟻防虫措置を施す。 ・ 防蟻防虫剤は、JIS1570に適合するクレスート油膜精品 又は、(社)日本木材保存協会認定の防蟻防虫剤とする。 ・ 塗る範囲は、外壁部の柱、間柱、筋遣い、胴縁の全て。 (柱、間柱の口、ぼぞまで行い、室内側の見え掛りは行わない)
○ 地 盤 ⑦50 捨コン ⑦150 切込砕石	

令46条の壁のつりあい良い配置の確認 (4分割法)							
方向	階	ゾーン	存在壁量 (cm)	床 面 積 (m ²)	床面積に乗ずる係数 (cm/m ²)	耐震必要壁量 (cm)	壁充率 (%)
X	1	上側1/4	1318.60	9.00	11.00	98.99	13.32
		中 央	0.00	18.00	—	—	—
		下側1/4	794.00	9.00	11.00	98.99	8.02
		合 計	2112.60	36.00	—	197.99	—
Y	1	左側1/4	1456.00	9.00	11.00	98.99	14.71
		中 央	0.00	16.00	—	—	—
		右側1/4	1456.11	9.00	11.00	98.99	14.71
		合 計	2912.00	36.00	—	197.99	—

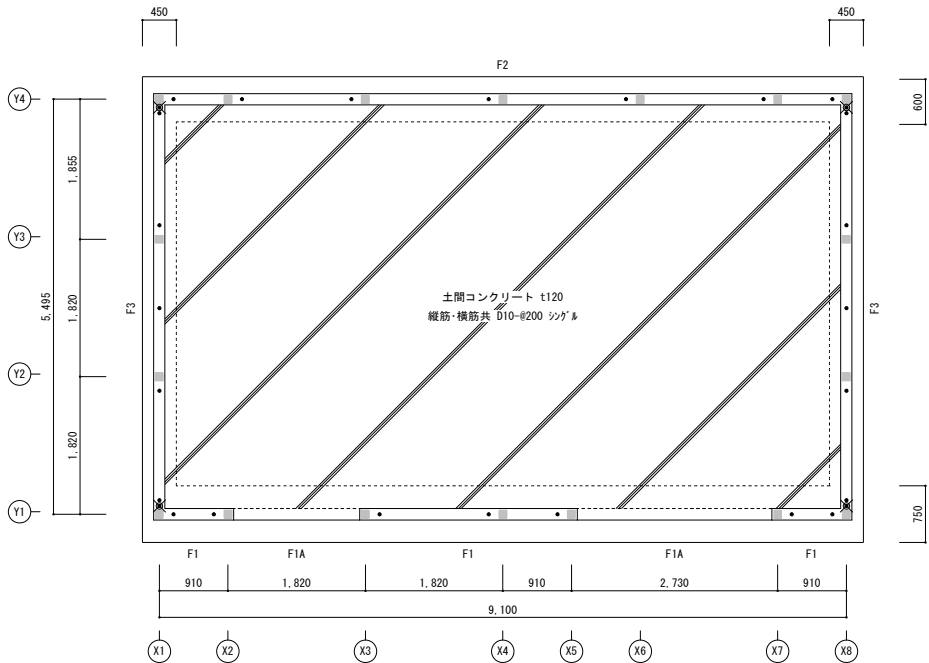
構造設計者：一級建築士 第153885号, 構造設計一級建築士 第46号 内山 直隆



土台伏図 1:50

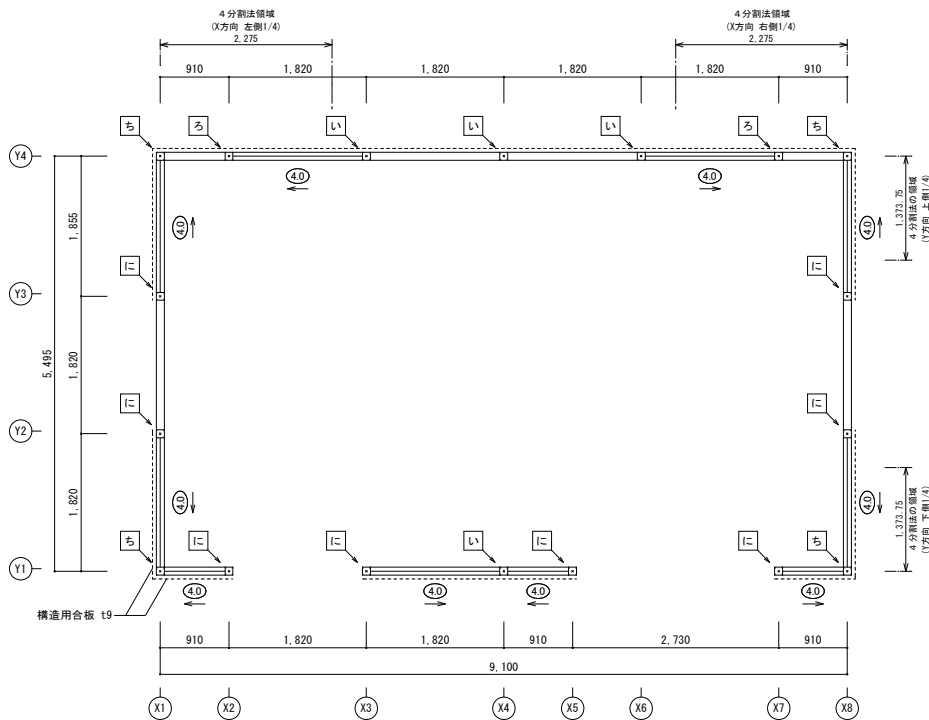


小屋伏図 1:50



基礎伏図 1:50

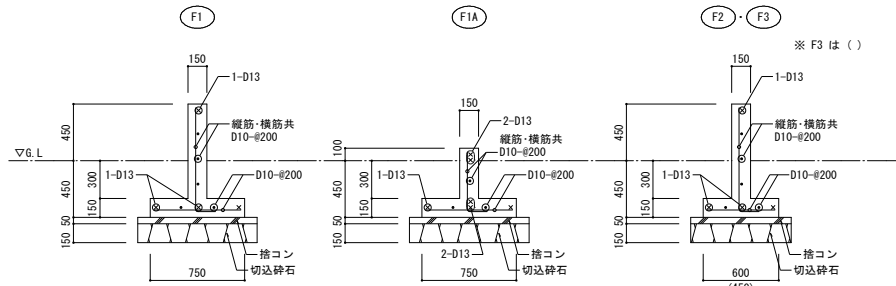
- 凡 例
- ✕ : HD用アンカーボルト M16 埋込み長さ L=400以上
 - ・ : アンカーボルト M12 埋込み長さ L=250以上
- ※ 特記位置の地、土台継手に合わせて設ける。



柱・壁伏図 1:50

※ 特記以外 柱 は C1

- 筋かい凡例
- 壁接合
 - 筋通いの方向
- 上 下



基礎詳細図 1:30

部 材 リ ス ト			
部位	記号	断 面	材 種
柱	C1	105 × 105	べいまつ 無等級
梁	G42	105 × 420	べいまつ 無等級
	G15	105 × 150	べいまつ 無等級
	特記以外	105 × 105	べいまつ 無等級
母 屋	—	105 × 105	すぎ 無等級
重 木	—	45 × 60 @455	すぎ 無等級
小屋束	—	105 × 105	すぎ 無等級
火打梁	—	鋼製火打梁	Zπ-9
土 台	—	105 × 105	ひば 無等級

- [接合仕様]
- ・野地板 : 鉄丸釘N50を用いて、150mm以下の間隔で重木に対して打ち付け
 - ・重 木 : 軒桁・母屋・棟木の上面に設けられた傾斜面（重木道）に重木を乗せ、重木の側面から軒桁・母屋・棟木の上面に対してN75釘2本を斜め打ち

筋かい仕様一覧		
記号	仕 様	倍率
④0	構造用合板 t9 (面材張り大壁)	2.5
	30×90 シングル (すぎ無等級)	1.5

※ 筋違い仕様とする構造用合板の釘はN50とし、間隔は外周φ75mm、その他はφ150で施工する。

柱頭・柱脚 接合部 一覧	
記号	仕 様
い	短ぼぞ差しかすがい打
ろ	CP-L または 長ぼぞ差し込み栓打
は	CP-T または 山形プレート
に	羽子板または 短冊金物
と	15kN 引き寄せ金物
ち	20kN 引き寄せ金物

※ 特記以外 筋違い取付柱は、[は]山形プレート及び [と]同等認定品使用。
※ 接合金物は柱頭・柱頭と同じ金物で施工する。

一 般 事 項	
○ コンクリート 基礎コンクリート 設計基準 F _c =24N/mm ² S-15 捨てコンクリート 設計基準 F _c =18N/mm ² S-15	○ 設計地耐力 qa = 30 kN/m ² (長期) ※ 静的貫入試験により地耐力を確認すること。
○ 鉄 筋 SD295A (D16以下)	○ 防蟻防虫措置 ・ 地面から1mm以内の部分は防蟻防虫措置を施す。 ・ 防蟻防虫剤は、JIS1570に適合するクレスソート油膜精品 又は、(社)日本木材保存協会認定の防蟻防虫剤とする。 ・ 壁の範囲は、外壁部の柱、間柱、筋違い、雨樋の全て。 (柱、間柱の木口、ほぞまで行い、室内側の見え掛りは行わない)
○ 地 盤 φ50 捨コン	○ 切込砕石 φ150 切込砕石

令46条の壁のつりあい良い配置の確認 (4分制法)							
方向	階	ゾーン	存在壁量 (cm)	床 面 積 (㎡)	床面積に乗ずる 係数 (cm/㎡)	耐震必要壁量 (cm)	判定
X	1	上側1/4	2821.00	12.50	11.00	137.51	OK
		中 央	0.00	25.00	—	—	
		下側1/4	1820.00	12.50	11.00	137.51	
		合 計	4641.00	50.00	—	275.02	
	1	左側1/4	1470.00	12.50	11.00	137.51	OK
Y		中 央	0.00	25.00	—	—	
		右側1/4	1470.00	12.50	11.00	137.51	
		合 計	2940.00	50.00	—	275.02	

構造設計者：一級建築士 第153885号、構造設計一級建築士 第46号 内山 直隆

スウェーデン式サウンディング試験結果表

P-1

業務名相馬・岩木合同森林事務所新築工事設計業務(地質調査)										
業務場所青森県弘前市大字相馬字夏川17地内										
測点番号S-1		調査年月日	R03/11/08	最終貫入深度			1.90m	地盤高		GH=-0.37m
N0	荷重 Wsw (kN)	半回転数 Na (回)	貫入深度 h (m)	貫入量 L (m)	測定Nsw 1m当りの 半回転数 (回/m)	採用Nsw 1m当りの 半回転数 (回/m)	推定土質	換算N値 Nc	一軸圧縮 強度 qu (kN/m ²)	長期許容 支持力度 (地耐力) qa (kN/m ²)
1	1.00	56	0.25	0.25	224	150	硬質土	12.0	-	120
2	1.00	44	0.50	0.25	176	150	硬質土	12.0	-	120
3	1.00	78	0.75	0.25	312	150	硬質土	12.0	-	120
4	1.00	106	1.00	0.25	424	150	硬質土	12.0	-	120
5	1.00	103	1.25	0.25	412	150	硬質土	12.0	-	120
6	1.00	119	1.50	0.25	476	150	硬質土	12.0	-	120
7	1.00	129	1.75	0.25	516	150	硬質土	12.0	-	120
8	1.00	325	1.90	0.15	2167	150	硬質土	12.0	-	120
9	貫入不能									
10										
11										
12										
13										
14										
15										

備考: ①換算N値は、下記の稲田式により算定する。
稲田式・・・・・・・・・換算N値=3Wsw+0.050Nsw (粘土・粘性土)
・・・・・・・・・換算N値=2Wsw+0.067Nsw (礫・砂・砂質土)
②一軸圧縮強度qu (kN/m²) は、下記の稲田式により算定する。
稲田式・・・・・・・・・一軸圧縮強度qu=45Wsw+0.75Nsw (kN/m²) (粘土・粘性土)
③長期許容支持力度(地耐力) (kN/m²) は、下記の国土交通省告示式により算定する。
国土交通省告示第1113号・・・・長期許容支持力度 qa=30+0.6Nsw (kN/m²)
なお、荷重1 (kN) 未満で自沈した場合の長期許容支持力度(地耐力) (kN/m²) は、下記式により算定する。
長期許容支持力度 qa=30Wsw (kN/m²)
ここに、Wsw: 荷重の大きさ (kN)
Nsw: 回転により貫入させたときの貫入量1(m)当たりの半回転数で、上限を150(回/m)とする。

スウェーデン式サウンディング試験結果表

P-2

業務名		相馬・岩木合同森林事務所新築工事設計業務(地質調査)										
業務場所		青森県弘前市大字相馬字夏川17地内										
測点番号		S-2	調査年月日		R03/11/08		最終貫入深度		1.90m	地盤高		GH=-0.19m
N0	荷重 Wsw (kN)	半回転数 Na (回)	貫入深度 h (m)	貫入量 L (m)	測定Nsw 1m当りの 半回転数 (回/m)	採用Nsw 1m当りの 半回転数 (回/m)	推定土質	換算N値 Nc	一軸圧縮 強度 qu (kN/m ²)	長期許容 支持力度 (地耐力) qa (kN/m ²)		
1	1.00	16	0.25	0.25	64	64	硬質土	6.2	-	63		
2	1.00	38	0.50	0.25	152	150	硬質土	12.0	-	120		
3	1.00	75	0.75	0.25	300	150	硬質土	12.0	-	120		
4	1.00	127	1.00	0.25	508	150	硬質土	12.0	-	120		
5	1.00	105	1.25	0.25	420	150	硬質土	12.0	-	120		
6	1.00	172	1.50	0.25	688	150	硬質土	12.0	-	120		
7	1.00	185	1.75	0.25	740	150	硬質土	12.0	-	120		
8	1.00	284	1.90	0.15	1893	150	硬質土	12.0	-	120		
9	貫入不能											
10												
11												
12												
13												
14												
15												

備考: ①換算N値は、下記の稲田式により算定する。
稲田式・・・・・・・・・換算N値=3Wsw+0.050Nsw (粘土・粘性土)
・・・・・・・・・換算N値=2Wsw+0.067Nsw (礫・砂・砂質土)
②一軸圧縮強度qu (kN/m²) は、下記の稲田式により算定する。
稲田式・・・・・・・・・一軸圧縮強度qu=45Wsw+0.75Nsw (kN/m²) (粘土・粘性土)
③長期許容支持力度(地耐力) (kN/m²) は、下記の国土交通省告示式により算定する。
国土交通省告示第1113号・・・長期許容支持力度 qa=30+0.6Nsw (kN/m²)
なお、荷重1 (kN) 未滿で自沈した場合の長期許容支持力度(地耐力) (kN/m²) は、下記式により算定する。
長期許容支持力度 qa=30Wsw (kN/m²)
ここに、Wsw: 荷重の大きさ (kN)
Nsw: 回転により貫入させたときの貫入量1 (m) 当たりの半回転数で、上限を150 (回/m) とする。

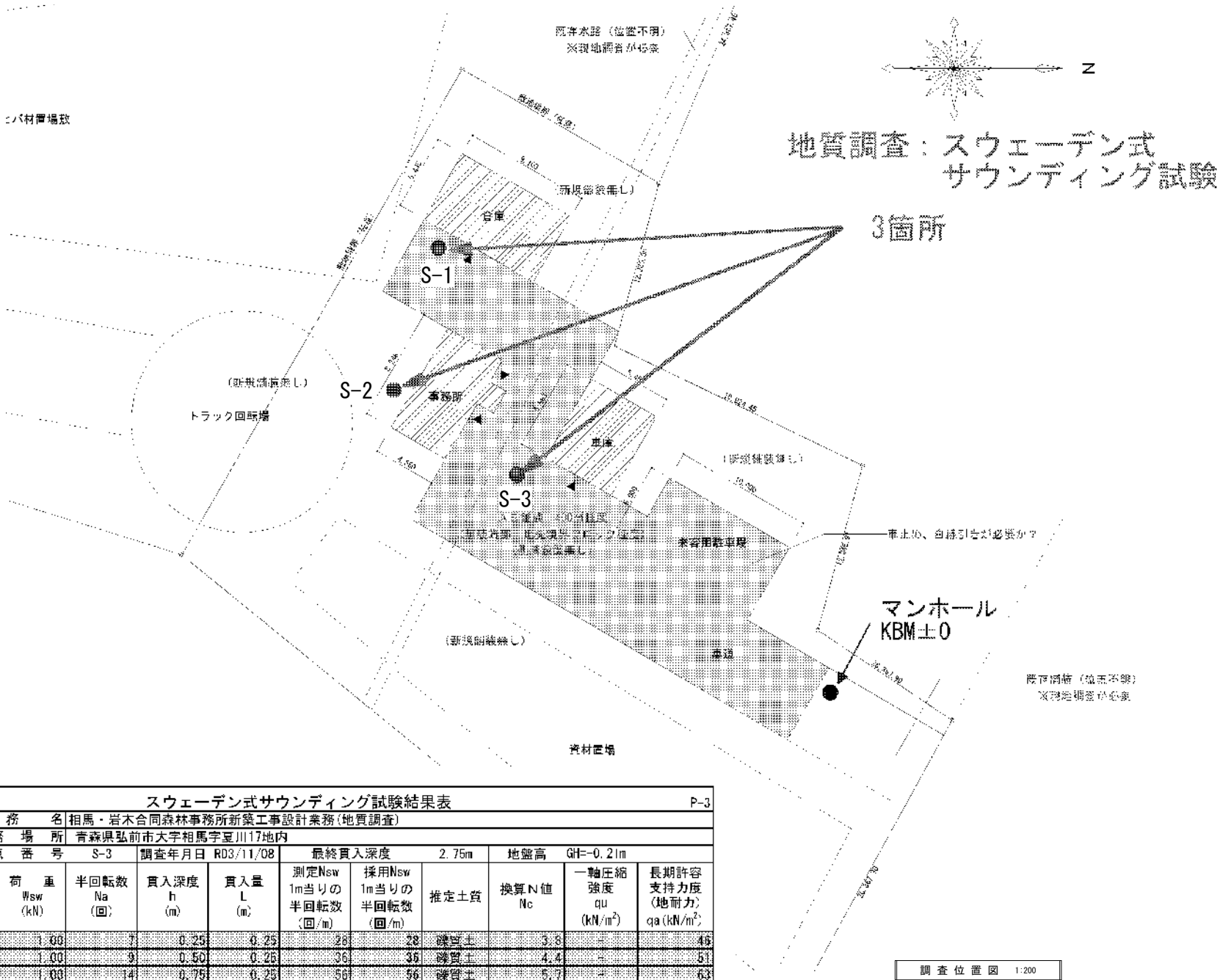
スウェーデン式サウンディング試験結果表

P-3

業務名		相馬・岩木合同森林事務所新築工事設計業務(地質調査)								
業務場所		青森県弘前市大字相馬字夏川17地内								
測点番号		S-3	調査年月日	R03/11/08		最終貫入深度		2.75m	地盤高	GH=-0.21m
NO	荷重 Wsw (kN)	半回転数 Na (回)	貫入深度 h (m)	貫入量 L (m)	測定Nsw 1m当りの 半回転数 (回/m)	採用Nsw 1m当りの 半回転数 (回/m)	推定土質	換算N値 Nc	一軸圧縮 強度 qu (kN/m ²)	長期許容 支持力度 (地耐力) qa (kN/m ²)
1	1.00	7	0.25	0.25	28	28	硬質土	3.8	-	45
2	1.00	9	0.50	0.25	36	36	硬質土	4.4	-	51
3	1.00	14	0.75	0.25	56	56	硬質土	5.7	-	63
4	1.00	50	1.00	0.25	200	150	硬質土	12.0	-	120
5	1.00	5	1.25	0.25	20	20	硬質土	3.3	-	42
6	1.00	2	1.50	0.25	8	8	硬質土	2.5	-	34
7	1.00	14	1.75	0.25	56	56	硬質土	5.7	-	63
8	1.00	33	2.00	0.25	132	132	硬質土	10.8	-	109
9	1.00	35	2.25	0.25	140	140	硬質土	11.3	-	114
10	1.00	4	2.50	0.25	16	16	硬質土	3.0	-	39
11	1.00	264	2.75	0.25	1056	150	硬質土	12.0	-	120
12			貫入不能							
13										
14										
15										

備考: ①換算N値は、下記の稲田式により算定する。
稲田式・・・・・・・・・換算N値=3Wsw+0.050Nsw (粘土・粘性土)
・・・・・・・・・換算N値=2Wsw+0.067Nsw (礫・砂・砂質土)
②一軸圧縮強度qu (kN/m²) は、下記の稲田式により算定する。
稲田式・・・・・・・・・一軸圧縮強度qu=45Wsw+0.75Nsw (kN/m²) (粘土・粘性土)
③長期許容支持力度(地耐力) (kN/m²) は、下記の国土交通省告示式により算定する。
国土交通省告示第1113号・・・・長期許容支持力度 qa=30+0.6Nsw (kN/m²)
なお、荷重1 (kN) 未満で自沈した場合の長期許容支持力度(地耐力) (kN/m²) は、下記式により算定する。
長期許容支持力度 qa=30Wsw (kN/m²)
ここに、Wsw: 荷重の大きさ(kN)
Nsw: 回転により貫入させたときの貫入量1(m)当たりの半回転数で、上限を150(回/m)とする。

木材置場敷



構造設計者: 一級建築士 第153885号, 構造設計一級建築士 第46号 内山 直隆

相馬・岩木合同森林事務所 電気設備特記仕様書

I. 工事概要

1. 工事場所

青森県弘前市大字相馬字夏川17

2. 建物概要

建物名称	構造	階数	建築基準法上の延面積 (㎡)	消防法施行令別表第1の区分	備考
事務所	木造	1階	37.53	15項	新築1棟
倉庫	木造	1階	50.00	14項	新築1棟
車庫	木造	1階	36.00	13項イ	新築1棟

3. 工事種目

●印の付いたものを適用する。

	工事種目				備考
	事務所	倉庫	車庫	屋外	
●電灯設備	新設一式	新設一式	新設一式		
○動力設備					
○電気自動車用充電設備					
○電熱設備					
○雷保護設備					
○受変電設備					
○電力貯蔵設備					
○発電設備					
○構内情報通信網設備					
●構内交換設備	新設一式				
○情報表示設備					
○映像・音響設備					
○拡声設備					
○誘導支援設備					
●テレビ共同受信設備	新設一式				
○監視カメラ設備					
○駐車場管制設備					
○防犯・入退室管理設備					
○火災報知設備					
○中央監視制御設備					
○					
●構内配電線路				新設一式	
●構内通信線路				新設一式	
○					
○					

4. 指定部分

●なし

○あり

範囲:

工期: 令和 年 月 日

II. 工事仕様

1. 共通仕様

(1) 図面及び本特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の下記仕様書等のうち、●印が付いたものを適用する。

●公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）（平成31年版）（以下「標準仕様書」という。）

●公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）（平成31年版）（以下「改修標準仕様書」という。）

●公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）（平成31年版）（以下「標準図」という。）

(2) 機械設備工事を本工事に含む場合は、機械設備工事は機械設備の部の特記仕様書を適用する。
なお、機械設備の部の特記仕様書は（ / ）図による。

2. 特記仕様

項目及び特記事項は、●印の付いたものを適用する。

章	項	目	特記事項
一般	O適用区分	建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 O風圧力 風速（V ₀ = ） 地表面粗度区分（ ） O積雪荷重 建設省告示第1455号における区域別表（ ）	
		O電気工作物保安規程 O電気工事士	
	●機材の品質等	(1) 本工事に使用する機材等は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。 (2) 下表に機材名が記載された製造業者等は、次の①から⑥すべての事項を満たす証明となる資料を提出して監督職員の承諾を受ける。 ただし、次の①から⑥すべての事項を評価された事を示す外部機関が発行する書面を提出し監督職員の承諾を受けた場合は証明となる資料等の提出を省略することができる。 ① 品質及び性能に関する試験データを整備していること。 ② 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。 ③ 安定的な供給が可能であること。 ④ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。 ⑤ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 ⑥ 販売、保守等の営業体制を整えていること。	

●環境への配慮

●他工事との取合い

O耐震措置

機材名	製造業者等名
LED照明器具（一般屋内用に限る。）	
照明制御装置	
可変速運転用インバータ装置	
分電盤	
制御盤	
キュービクル式配電盤	
高圧スイッチギア（C形）	
高圧スイッチギア（P形）	
高圧交流遮断器	
高圧変圧器（特定機器）	
高圧連相コンデンサ	
高圧限流ヒューズ	
高圧負荷開閉器	
交流無停電電源装置	
太陽光発電装置（パワーコンディショナ及び系統連系保護装置）	
監視カメラ装置	
中央監視制御（監視制御装置）	

(1) 本工事中において、国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成12年法律第100号）に基づく、「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（令和2年2月閣議決定）」に定める特定調達品目「公共工事」の品目を調達する場合は、判断の基準等を満たすものとする。

(2) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。

① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しない又は発生が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。

② 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。

③ 接着剤は、可塑剤（フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。

④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類等は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発生が極めて少ない材料を使用したものとする。

(3) 設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次の①又は②に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の③又は④に該当する材料を指す。

① 建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料

② 建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料

③ 建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料

④ 建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料

施工範囲 図面に特記なき場合は、「工事区分表」による。

(1) 施設の耐震安全性の分類

O特定の施設

O一般の施設

(2) 設備機器の固定は、施設の耐震安全性の分類に応じて次による他、「建築設備耐震設計・施工指針・2014年版」（独立行政法人建築研究所監修）による。

①設計用水平地震力
機器の重量〔kN〕に、設計用標準水平震度を乗じたものとする。
なお、特記なき場合は設計用標準水平震度は次による。
設計用標準水平震度

	機器種別	特定の施設		一般の施設	
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階	機器	2.0	1.5	1.5	1.0
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
屋上及び塔屋	水槽類	2.0	1.5	1.5	1.0
	機器	1.5	1.0	1.0	0.6
中間階	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6
	機器	1.0	0.6	0.6	0.4
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6
地階・1階	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6

・上層階とは2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階とする。
・中間階とは地階、1階を除く各階で上層階に該当しない階とする。
・水槽類には燃料小出槽を含む。
・重要機器は次のものを示す。
O配電盤 O発電装置（防災用） O直流電源装置
O交流無停電電源装置 O交換機 O自動火災報知受信機
O中央監視装置 O

②設計用鉛直地震力
設計用水平地震力の1／2とし、水平地震力と同時に働くものとする。

(3) 横引き配管等の耐震支持は、施設の耐震安全性の分類に応じたものとする。

●仮設工事

●電源周波数

●支持金物・固定金具

●電線・ケーブル

O厚鋼電線管

●合成樹脂製可とう管

●電線本数、管路など

Oインサート

●フラッシュプレート

●フロアプレート

●接地極の種別及び位置表示

O塗装

●機器取付高さ

●タンブラースイッチ

OOAフロアー用配線器具の垂

Oハーフジョイント用OAタップ

O人感センサー用プレート

各

Oターミナルユニット付リモコンリレー

●LED照明器具

●照度測定

O照度測定（非常用の照明装置）

●分電盤

O制御盤

O（○○○○の部）特記仕様書による。

●足場その他

- 別契約の関係受注者が定置したものは無償で使用できる。
- O本工事で設置する。
「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。
- O内部足場 種別 O 脚立、足場板等 O
- O外部足場 種別 O A種 O B種 O C種 O D種 O E種
防護シート O 設置する。 O 設置しない。

50H Z

イ) 屋外機器及び屋外の配管に使用する支持金物（ボルト類）はステンレス製（SUS304）とし、屋外機器のアンカーボルトのナットにはナットキャップ（樹脂製）を取り付ける。

ロ) 振動を伴う機器の支持金物のナットはダブルナットとする。

新設する電線類は、図面に「EM-○○」の記載がなくとも、EM電線、EMケーブルを使用する。

屋外、及び地下ピットで使用する厚鋼電線管のうち特記のないものは「内外面溶融亜鉛めっき（めっき付着量300g/㎡以上）」仕上げとする。

合成樹脂製可とう管はP F管（一重管）とし、温度による分類はタイプ-25とする。

分電盤、制御盤、端子盤などの2次側以降の配線経路、電線太さ、電線本数、管径などは、監督職員の承諾を受けて、変更してもさしつかえない。

床版で断熱材打込み部分は、断熱材用インサートとする。

O金属製（ステンレス、新金属も含む）

●樹脂製

●アルミ製

O銅合金製

水平調整付プレート（空転防止リング付）とする。

図面に特記なき場合は、表1「接地極一覧表」による。

O居室に設置する分電盤は指定色塗装を施す。

O下記部位に使用する、外面めっき電線管の露出配管には塗装を施す。
（ O 居 室 O O O ）

●図面に特記なき場合は、表2「機器取付高さ」による。

ネーム付きとする。

Oアルミ製

O樹脂製

特記の無いハーフジョイント用OAタップは次の仕様とする。
2P15A（接地極付抜止形）×4コード3m（リフト付）通電表示灯付

照明の人感センサー制御を行う部屋には、下記の注意プレートを設置する。
材質：アクリル 文字：印刷文字 寸法：W=180mm程度、H=50mm程度
参考文例：「人の動きを検知して点灯します。一定時間動きがなければ消灯しますので、その際は再度身体を動かしてください。」
注意プレート設置室： O 便 所（計 枚） O （計 枚）

天井内に取付けるターミナルユニット付リモコンリレーの設置場所は、原則として点滅系統内の第1照明器具近傍とする。
ただし、これによりがたい場合は監督職員と協議する。

LED照明器具の制御装置記号が特記されていないものは「一般形（L N）」とする。

一般照明の照度測定箇所は、下記によるものとし監督職員に報告する。
O明るさセンサが設置される部屋は、センサ1個につき1箇所以上
O明るさセンサが設置されない部屋は、工事全体で計 箇所以上

非常用の照明装置の照度測定箇所は、工事全体で計 箇所以上とし、監督職員に報告する。

O分電盤の分岐回路に使用する配線用遮断器及び漏電遮断器は、JIS協約形の1Pサイズ（100V2P1E、200V2P2E）とする。

O埋込形分電盤からの立上り予備配管は、予備の配線用遮断器4個以下の場合（P F 2 2）を1本、5個以上の場合（P F 2 2）を2本、天井まで立上げる。

配管バンドとなる負荷には接地端子を設けなくともよい。

表1「接地極一覧表」
接地極の種別は下記を標準としEBの長さは1,500mmとする。ただし、D=10は1,000mm、W=30は1,200mmとする。又、装柱機器及び屋外灯用接地極の埋設極は不要とする。

	接地の種別	記号	接地抵抗値	接地極の規格、数量
O	雷保護用接地	E _{LA}	O以下	E P x 2
O	雷保護用接地	E _{LA}	O以下	E B（D=14又はW=40）x 3 連一組
O	共同接地	E _A E _D E _H	1.0 O以下	E B（D=14又はW=40）x 3 連一組
O	共同接地	E _A E _C E _D	1.0 O以下	E B（D=14又はW=40）x 3 連一組
O	A種接地	E _A	1.0 O以下	E B（D=14又はW=40）x 3 連一組
O	B種接地	E _B	O以下	E B（D=14又はW=40）x 2
O	C種接地	E _C	1.0 O以下	E B（D=14又はW=40）x 3 連一組
●	D種接地	E _D	1.0 O以下	E B（D=14又はW=40）x 1
O	漏電遮断器回路	E _{FL}	5.0 O以下	E B（D=14又はW=40）x 1
O	構内交換機（標準用）	E _{tl}	1.0 O以下	E B（D=14又はW=40）x 3 連一組
O	本記線路の保安装置	E _{AL}	1.0 O以下	E B（D=14又はW=40）x 3 連一組
O	電話引込口の保安装置	E _{LI}	1.0 O以下	E B（D=14又はW=40）x 1
O	アンテナ保安装置	E _{LI}	1.0 O以下	E B（D=14又はW=40）x 1
O	拡声増幅器	E _{LI}	1.0 O以下	E B（D=14又はW=40）x 1
O	防犯装置用	E _S	O以下	E B（D=14又はW=40）x 3 連一組
O				
O	測定用補助接地極	E _Q	—	E B（D=10又はW=30）x 1
O	避雷器用（低圧用）	E _{LI}	1.0 O以下	E B（D=14又はW=40）x 3 連一組
O	避雷器用（高圧用）	E _{LI}	1.0 O以下	E B（D=14又はW=40）x 3 連一組
O	避雷器用（モデム用）	E _{MD}	1.0 O以下	E B（D=14又はW=40）x 1

機 器	測 点	取付高 (mm)	機 器	測 点	取付高 (mm)	
共通	積算用計器	地上～窓中心	1,800～2,000	集合保安装置	天井～上端	200
	引込開閉器	床～中心	1,800～2,200	端子盤（廊下、室内）	床～上端	300
	分電盤	床～中心	1,500（上限1,900以下）	端子盤（EPSなど）	床～中心	1,500
	スイッチ（一般）	床～中心	1,300	壁付電話機	床～中心	1,300
	スイッチ（自動ドア）	床～中心	1,300	壁付アクト（一般）	床～中心	300
	スイッチ（和室）	床～中心	1,200	壁付アクト（和室）	床～中心	150
	コンセント（一般）	床～中心	300			
	コンセント（和室）	床～中心	150	壁掛形時計	床～中心	1,500（上限1,900以下）
	コンセント（台所）	台～中心	150～200	壁付時計	床～中心	天井高×0.9
	コンセント（厨房）	床～中心	800～1,000	壁付形スイッチ	床～中心	天井高×0.9
電 灯	コンセント（車庫）	床～中心	1,300	壁付スイッチ	床～中心	1,300
	コンセント（機械室）	床～中心	500～1,000	情報表示盤	床～中心	天井高×0.9
	コンセント（屋外）	地上～中心	1,000～1,300	壁付発信機	床～中心	1,300
	ブラケット（一般）	床～中心	2,100～2,300	ヘルプ・サーチ・チャイルド	床～中心	2,300
	ブラケット（鎮痛）	床～中心	2,000～2,500	壁付押ボタン（一般）	床～中心	1,300
	ブラケット（鏡上）	鏡上端～中心	150	テレビ・ビデオ（親機）	床～中心	1,400
	壁掛形制御盤	床～中心	1,500（上限1,900以下）	テレビ・ビデオ（子機）	床～中心	約1,350
	開閉器箱	床～中心	1,500	壁付ビデオ（一般）	床～中心	1,300
	制御用スイッチ	床～中心	1,300	壁付アクト（一般）	床～中心	1,300
	試験用接地端子箱	床～下端	800	機器収容箱	天井～上端	200
雷保護				機器収容箱（EPS）	床～中心	1,500
	接地端子箱	床～中心	500	テレビ・端子（一般）	床～中心	300
				テレビ・端子（和室）	床～中心	150
				受信機	床～操作部	800～1,500
				計受信機	床～操作部	800～1,500
				機器収容箱	床～操作部	800～1,500
				発信機	床～操作部	800～1,500
				表示灯	床～中心	2,100
				警報ベル	床～中心	2,300
				液化石油ガス用	床～上端	300
誘導支援等	呼出しボタン（多機能利用用）	床～中心	900、400（各1個）	都市ガス用（終賃）	天井～上端	150
	壁付ビデオ（親機）	床～中心	1,300	都市ガス用（重賃）	床～上端	300
	壁付ビデオ（子機）	床～中心	1,100			
	廊下表示灯（復旧タイプ付）	床～中心	1,300			
	スイッチ（車椅子用）	床～中心	1,100			
	コンセント（車椅子用）	床～中心	900			

注）天井高3,000mm以上の場合及び上記取付高さにおいて機器の使用に支障が生じる場合は、監督職員と協議する。

株式会社 八洲建築設計事務所

YASHIMA ARCHITECTS & ENGINEERS

一級建築士284561号 鈴木雄二

相馬・岩木合同森林事務所新築工事

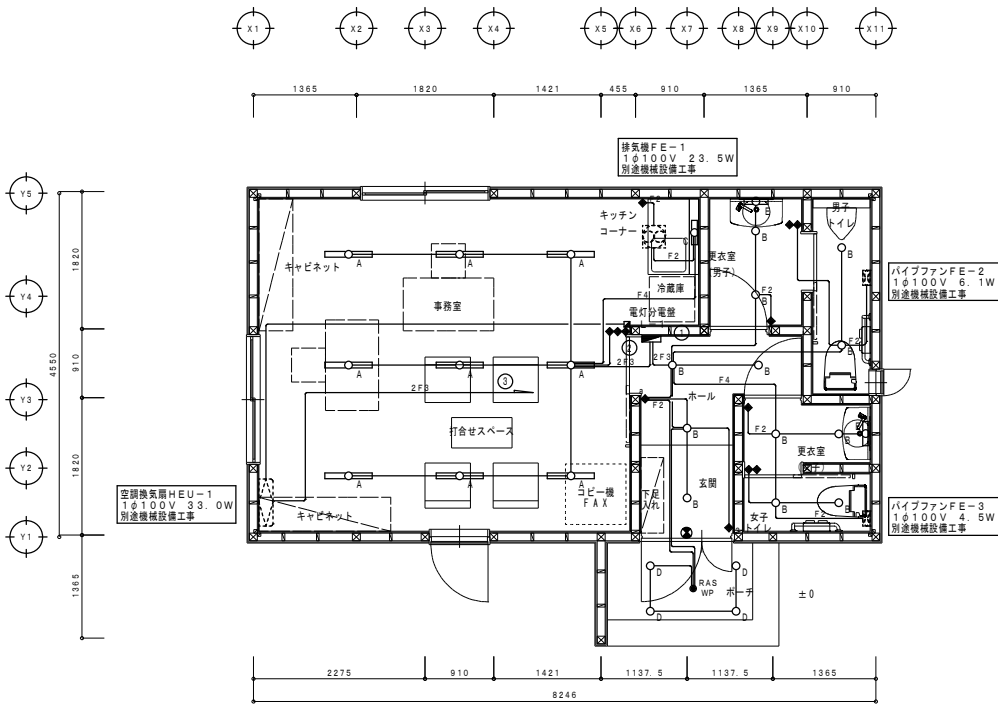
電気設備特記仕様書（1）

SCALE A1 : - A3 : -

DATE 2021.12

E — 01

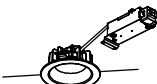
章		項 目		特 記 事 項											
一般共通事項	●本受電後の基本料金	○ 計上する（想定契約電力 kW、想定期間 ヶ月間） ● 計上しない													
	○耐震措置	地域係数 ○ 1.0 ○ 0.9													
	●保温、結露防止	外部に面する壁、天井で建築工事でFP版（スタイロフォーム等）打込み箇所に取り付ける位置ボックスなどは保温、結露防止処理を行う。													
	○呼び線	長さ1m以上の入線しない管路には、1.2mm以上のEM-IE電線を挿入する。													
	○再使用機材・養生	○ 指定機材（ ） ○ 特別清掃（ ）													
	○環境に配慮した電線	LAN用ツイストペアケーブルは、下記による。 <table><tr><th>記 号</th><th>仕 様</th></tr><tr><td>EM-UTPケーブル</td><td>JCS5503 耐燃性ｶﾞﾘﾌｫｲﾝｼｰｽ LAN用ﾀｲｽﾄﾊﾟｰﾌﾞﾙ</td></tr><tr><td>(EM-UTP5E)</td><td>耐燃性ｶﾞﾘﾌｫｲﾝｼｰｽ ｶﾅｺﾞ'95e UTPケーブル(ECO-UTP-CAT5E/F)</td></tr><tr><td>(EM-UTP6)</td><td>耐燃性ｶﾞﾘﾌｫｲﾝｼｰｽ ｶﾅｺﾞ'96 UTPケーブル(ECO-UTP-CAT6/F)</td></tr><tr><td>(EM-UTP6A)</td><td>耐燃性ｶﾞﾘﾌｫｲﾝｼｰｽ ｶﾅｺﾞ'96A UTPケーブル(ECO-UTP-CAT6A/F)</td></tr><tr><td>(EM-F/UTP6A)</td><td>耐燃性ｶﾞﾘﾌｫｲﾝｼｰｽ ｶﾅｺﾞ'96A F/UTPケーブル(ECO-F/UTP-CAT6A/F)</td></tr></table>		記 号	仕 様	EM-UTPケーブル	JCS5503 耐燃性ｶﾞﾘﾌｫｲﾝｼｰｽ LAN用ﾀｲｽﾄﾊﾟｰﾌﾞﾙ	(EM-UTP5E)	耐燃性ｶﾞﾘﾌｫｲﾝｼｰｽ ｶﾅｺﾞ'95e UTPケーブル(ECO-UTP-CAT5E/F)	(EM-UTP6)	耐燃性ｶﾞﾘﾌｫｲﾝｼｰｽ ｶﾅｺﾞ'96 UTPケーブル(ECO-UTP-CAT6/F)	(EM-UTP6A)	耐燃性ｶﾞﾘﾌｫｲﾝｼｰｽ ｶﾅｺﾞ'96A UTPケーブル(ECO-UTP-CAT6A/F)	(EM-F/UTP6A)	耐燃性ｶﾞﾘﾌｫｲﾝｼｰｽ ｶﾅｺﾞ'96A F/UTPケーブル(ECO-F/UTP-CAT6A/F)
	記 号	仕 様													
	EM-UTPケーブル	JCS5503 耐燃性ｶﾞﾘﾌｫｲﾝｼｰｽ LAN用ﾀｲｽﾄﾊﾟｰﾌﾞﾙ													
	(EM-UTP5E)	耐燃性ｶﾞﾘﾌｫｲﾝｼｰｽ ｶﾅｺﾞ'95e UTPケーブル(ECO-UTP-CAT5E/F)													
	(EM-UTP6)	耐燃性ｶﾞﾘﾌｫｲﾝｼｰｽ ｶﾅｺﾞ'96 UTPケーブル(ECO-UTP-CAT6/F)													
(EM-UTP6A)	耐燃性ｶﾞﾘﾌｫｲﾝｼｰｽ ｶﾅｺﾞ'96A UTPケーブル(ECO-UTP-CAT6A/F)														
(EM-F/UTP6A)	耐燃性ｶﾞﾘﾌｫｲﾝｼｰｽ ｶﾅｺﾞ'96A F/UTPケーブル(ECO-F/UTP-CAT6A/F)														
○はつり	既存コンクリートの床・壁の配管貫通部等の穴開けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。														
●キュービクル、分電盤、制御盤等	キャビネットの仕上げ： ● 製造者の標準色仕上げとする。 ○ 下記部位に取り付けるものは、指定色仕上げとし、それ以外は製造者の標準色仕上げとする。 ○ 屋外 ○ 居室（ ）														
●屋外部の支持金具等	屋外に設置する機器付属金物・ボルトナット類及び外壁等への取付用配管支持金具は、溶融亜鉛めっき製またはステンレス製とする。														
電灯設備	●電気方式	幹線：単相 3 線式 200／100 V 分岐：単相 2 線式 200 V 分岐：単相 2 線式 100 V													
	○連続調光形LEDとする室名等	室名（ ）													
	○誘導灯	○ 電池内蔵形 ○ 電池別置形													
	○非常用照明器具	○ 電池内蔵形 ○ 電池別置形													
	○ハイトンションアウトレット	● 飛び出し形 ○ 外部固定形 ● 銅合金形 ○ アルミ製													
	○電気方式	幹線：三相 3線式 200V 分岐：三相 3線式 200V													
	○警報盤	○ 壁掛式（電源装置 ○ 内蔵 ○ 別置）													
	○電磁開閉器用押釦	○ 埋込連用形配線器具 ○													
	○機器への接続	電動機等への接続は本工事とする。													
	○電動機等の接地	図示以外は金属管接地とする。													
○総合動作試験	○ 無 ○ 有（ ）														
電力設備	○電気方式	幹線： 相 線式 V 分岐： 相 線式 V													
	○発熱線	○ 第2種 ○ 第4種													
	○施工場所及び面積	○ 表玄関ポーチ 約 m ² ○ 約 m ² ○ 約 m ²													
	○保護レベル	○ I ○ II ○ III ○ IV													
	○受雷部	○ 突針 ○ 水平導体 ○ メッシュ導体 ○ 構造物利用（ ）													
	○避雷導線	○ 建築構造体利用 ○ 引下げ導線													
	○接地極	○ 建築構造体利用 ○ 接地極埋設													
	○電気方式	高圧：三相 3線式 6kV 低圧：三相 3線式 200V 低圧：単相 3線式 100V/200V													
	○配電盤	○ 屋内用 ○ 屋外用（材質（○ 鋼板 ○ ステンレス）） ○ キュービクル式配電盤 ○ 高圧スイッチギア													
	○主遮断装置	○ 限流ヒューズ及び高圧負荷開閉器（PF-S） ○ 高圧交流遮断器（CB） 定格遮断電流 kA以上													
変電設備	○設備容量	変圧器総容量： kVA													
	○変圧器	○ 油入（○ 屋外キュービクル ○ ） ○ モールド（○ ）													
	○進相用コンデンサ	○ 高圧 ○ 低圧													
	○自動力率制御装置	○ 無効電力検出方式 ○ 力率検出方式													
	○直流電源装置	○ 非常照明器具電源・受変電設備制御電源共用 ○ 非常照明器具専用 ○ 受変電設備専用													
	○蓄電池	○ 鉛蓄電池（○ HS ○ MSE ○ ） ○ アルカリ蓄電池（○ AH ○ AMH ○ AHH ○ ） ○ リチウムイオン電池（○ ）													
	○交流無停電電源装置（UPS）	給電方式：○ 常時インバータ給電方式 ○ ラインインタラクティブ方式 ○ 常時商用給電方式 方式： ○ 単相2線 ○ 単相3線 ○ 三相3線 電圧： ○ 100V ○ 200/100V ○ 200V 容量： kVA 補償時間： 分以上 電解液処理： 盤類据付方法：													
	○形式	○ 簡易形 ○ キュービクル式 ○ オープン形													
	○発電機	電気方式：三相3線式 50Hz 電圧： V 定格出力： kVA													
	○原動機	形式： ○ ディーゼル ○ ガスタービン ○ マイクロガスタービン ○ ガスエンジン 定格出力： kW(PS)以上 定格出力： kVA 方式等： 始動方式 ○ 電気方式 ○ 空気式 冷却方式 ○ ラジエータ式 ○ 水冷循環式 冷却水 ○ 不凍液を混合した水道水 ○ 水道水													
発電設備	○排気系統配管	断熱材：○ ロックウール ○ 厚さ等：○ 75mm ○													
	○燃料	種類：○ 軽油 ○ 灯油 ○ A重油 ○ 燃料ガス（○ 燃料小出槽 リットル） 主貯油槽（地下）：○ なし ○ あり（○ 別途 ○ 本工事）													
	○太陽光発電装置	太陽電池アレィ公称電力： kW パワーコンディショナ 電気方式： 相 線式 交流出力電圧： V 定格出力： kW													
	○電話交換機	形式： ○ 電子交換 ○ ボタン電話装置 PBX ○ VoIPシステム 回線数：○ 内線 / 外線 局線 / 外線 専用データ（ 回線） ○ 主装置等の撤去（支障時の取り扱い： ）													
	●電話機	○ 本工事 ● 別途工事 ○ ボタン電話機 ○ 多機能電話機 ○ 内線電話機 ○ デジタルコードレス電話機													
	○電話機への配線	電話機1台につき、次のものを見込む。 ○ EM-TIEF0.65-2C（○ 20m ○ m） ○ EM-BTIEE0.4-2P（○ 20m ○ m）													
	○ローテーションアウトレット	○ 一般電話用 個（○ 納入する ○ 取付けける） ○ 銅合金製 ○ アルミ製													
	●保安器用接地	○ 本工事 ● 別途工事													
	○構内情報通信網設備	○ イーサネット（方式： ） ○ 無線LAN（方式： ） ○													
	○拡声設備	○ 増幅器： W ○ 卓上形 ○ キャビネットラック形 ○ 一般用 ○ 非常用 ○ 併用													
情報表示・拡声その他通信設備	○映像・音響設備	○ 増幅器： W ○ レコーダー： ○ 8時間以上録画又は録音のできる記憶容量 時間以上 ○ プロジェクタ：○ 前面投写式 ○ 背面投写式 ○ スクリーンサイズ： インチ													
	○情報表示設備	○ 出退表示盤： ○ 多線直接式 ○ パルス伝送式 ○ 親時計： 回線 ○ 時刻補正： ○ 標準電波方式 ○ FMｼﾞｵ方式 ○ GPS方式 ○ ○ ○ ○ 壁掛け ○ 自立形 ○ 電子式チャイム組込み ○ プログラムタイマー組込み													
	●誘導支援設備	○ 庁舎内連絡用 ○ 身体障害者用 ○ 夜間受付用 ○ エレベーター用 ● インターホン用 ● テレビアンテナ：○ AU-20素子 ○ CSBSA- ○ CSA- ● 地上波アンテナマスト：● 壁面取付形 ○ 自立形 ○ BS・CS用アンテナマスト：● 壁面取付形 ○ 自立形 ● 工事着手前アンテナの設置予定位置における電界強度等の調査測定をし、受像の可否を判定した報告書を提出する。													
	○監視カメラ設備	○ 白黒方式 ○ カラー方式 ○ ネットワーク接続方式 ○ 専用回線方式													
	○駐車場管制設備	○ 検知器： ○ 光線式 ○ ループコイル式													
	○防犯・入室管理設備	接地工事： ○ 本工事 ○ 別途工事 ○ 時刻補正： ○ 親時計 ○ 時刻補正装置 ○													
	○自動火災報知装置	○ 受信機： 型 級 回線 ○ 壁掛形 ○ 自立形 ○ 単独 ○ 複合盤（自火報 回線、自動閉鎖 回線、ガス漏れ警報 回線） ○ 副受信機： 回線 ○ 機器収容箱： ○ 専用形（○ 埋込形 ○ 露出形） ○ 屋内消火栓箱に組込み													
	○非常警報装置	○ 埋込形 ○ 露出形 緊急地震放送： ○ 行わない ○ 行う													
	○自動閉鎖装置	○ 運動制御器 回線（遠方復帰機構： 回線） ○ 単独（○ 壁掛形 ○ 自立形）○ 自火報受信機等との複合盤 ○ 自動閉鎖機構 ○ 防火戸用（本工事、電磁式又はラッチ式、DC24V、0.6A以下） ○ 防煙ダンパ用（別途工事、瞬時通電式又は電動式、DC24V、0.6A以下、遠方復帰機構（電動式）、DC24V、0.7A以下） ○ 防火シャッター用（別途工事、DC24V、0.6A以下） ○ 自動開放機構 ○ 排煙ダンパ（別途工事、排煙機運転用運動機構付）													
	○ガス漏れ警報装置	○ 受信機： 型 回線（○ 都市ガス用 ○ 液化石油ガス用） ○ 単独（○ 壁掛型 ○ 自立形）○ 自火報受信機等との複合盤													
中央監視制御設備	○監視制御対象設備	○ 動力設備 ○ 受変電設備 ○ 自家発電設備 ○ 火災報知設備													
	○監視操作装置	○ 空調 ○ 衛生													
	○監視制御装置	○ I型 ○ II型 ○ III型 ○ 壁掛式○ 自立形 組込み機器： ○ グラフィックパネル ○ 表示装置 ○ キーボード 構成機器： ○ グラフィックパネル ○ モザイクパネル ○ 合成樹脂パネル ○ ディスプレイ： ○ 内照式液晶方式 ○ タッチパネル式の内照式液晶方式 ○ 17型 ○ 19型 ○ 21型 ○ 信号処理装置 ○ 記録装置 ○ 補助盤 ○ 電源装置													



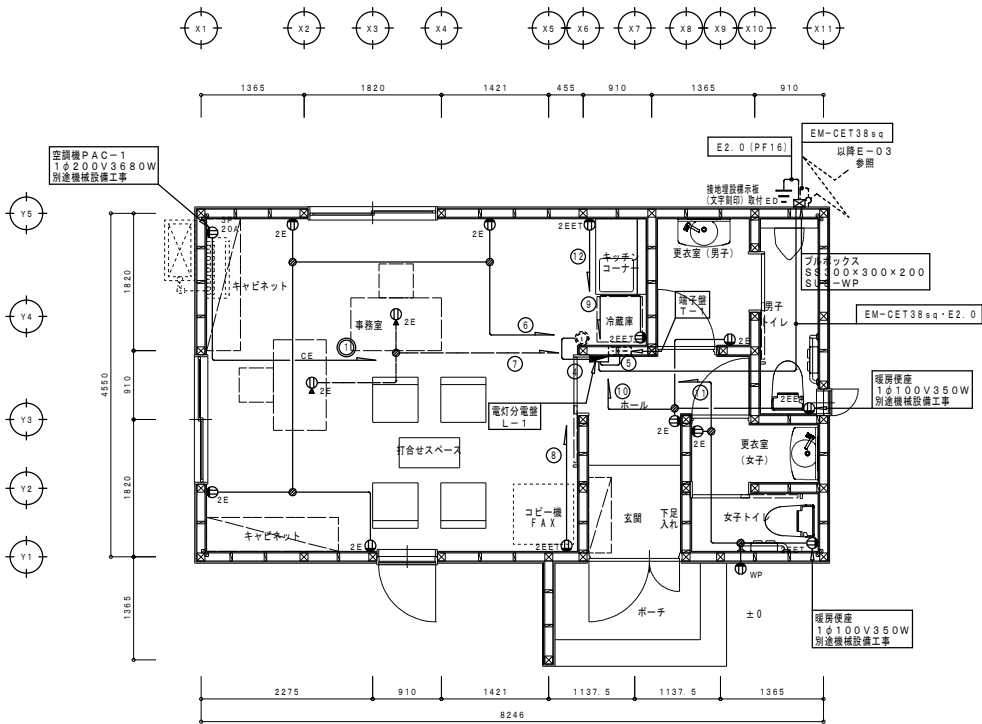
事務所電灯分岐設備図 S=1:50

図記号	名 称	定 格
◆	ON/OFF表示灯付 ワイドスイッチ	1P4A×1
◆	ON/OFF表示灯付 ワイドスイッチ	3W4A×1
◆	複合スイッチ	詳細図参照
●	誘導標識板 (避難口用) 片面	番光型
■	別途機械設備工事 支給スイッチ	取付本工事

注 記	
1. 特記無き配線配管は、下記による。	
防火上主要な開仕切り・小部屋隔壁の貫通箇所は防火処理を施すこと。	
防火上主要な開仕切りのケーブルの立上り引下げは、ねじ無し電線管にて保護すること。	
— ZES —	EM-EFF 2.0~3C
— F2 —	EM-EFF 1.6~2C
— — —	EM-EFF 1.6~3C
— F4 —	EM-EFF 1.6~2C × 2
2. 防火上主要な開仕切りに取り付けする位置ボックスは金属製とすること。	
3. 天井間及び換気間隔は別途機械設備工事とする。	

A	LED 直付型器具 (昼白色・一般形) (グレアセーフタイプ)	35.3W 32VA	C	LEDシーリングライト 20形直管型蛍光灯相当	12W 15VA	E	LEDミラーライト W620	19.2W 21VA	●RAS WP	軒下天井取付 熱線センサ付自動スイッチ (義務・昼白昼用・お出迎え点灯形)													
 コンフォートタイプ、省エネタイプ、6900lmタイプ 消費電力36.9W、定格出力型、電圧100～242V 本体：亜鉛鋼板 反射板：鋼板（高反射白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 光源寿命40000時間（光束維持率85%） 昼白色（5000K）、Ra83、電源装置はライトバー側に内蔵			 スイッチ付、拡散タイプ Ra85、昼白色（5000K） 器具光束865lm、消費電力15W、電圧100V カバー：プラスチック（乳白） 光源寿命40000時間（光束維持率70%）			 標準タイプ、5000K、高演色Ra95、寒白色タイプ 器具光束1325lm、消費電力19.2W、電圧100V カバー：プラスチック（乳白） サイドカバー：プラスチック（ホワイトつや消し） 壁面（縦肉付）取付専用 幅572・高さ87・出し110			  <table border="1"><tr><td>定 格</td><td>定格電圧 100V AC</td></tr></table>		定 格	定格電圧 100V AC											
定 格	定格電圧 100V AC																						
B	LED ダウンライト (昼白色・一般形) 200形電球1灯器具相当	埋穴125φ 15.3W 17VA	D	LED ダウンライト (昼白色・一般形) 100形電球1灯器具相当	埋穴100φ 7.3W 8VA																		
 昼白色（5000K）、Ra83 器具光束1504lm、消費電力15.3W、電圧100V 拡散タイプ、高演色Ra95、防湿型、防雨型 枠：アルミダイキャスト（ホワイトつや消し） 埋込穴φ125			 昼白色（5000K）、Ra83 器具光束795lm、消費電力7.3W、電圧100V 拡散タイプ、高演色Ra95、防湿型、防雨型 枠：アルミ（ホワイトつや消し） 埋込穴φ100			<table border="1"><tr><td rowspan="4">DML</td><td>LJ</td><td>初期照度補正型</td><td></td></tr><tr><td>LX</td><td>連続調光形</td><td>連続調光（35～100%）</td></tr><tr><td>LZ</td><td>連続調光形</td><td>連続調光（35～100%）</td></tr><tr><td>LN</td><td>一般形</td><td>定格出力</td></tr></table>					DML	LJ	初期照度補正型		LX	連続調光形	連続調光（35～100%）	LZ	連続調光形	連続調光（35～100%）	LN	一般形	定格出力
DML	LJ	初期照度補正型																					
	LX	連続調光形	連続調光（35～100%）																				
	LZ	連続調光形	連続調光（35～100%）																				
	LN	一般形	定格出力																				
						 <table border="1"><tr><td>名 称</td><td>定 格</td></tr><tr><td>ワイドスイッチ（ダブル） ON/OFF表示・ネーム付</td><td>1P4A</td></tr><tr><td>ワイドスイッチ（ダブル） ON/OFF表示・ネーム付</td><td>3W4A</td></tr><tr><td>ワイドスイッチ 熱線センサ付用 自動スイッチ付操作ユニット</td><td>15A 250V</td></tr></table>					名 称	定 格	ワイドスイッチ（ダブル） ON/OFF表示・ネーム付	1P4A	ワイドスイッチ（ダブル） ON/OFF表示・ネーム付	3W4A	ワイドスイッチ 熱線センサ付用 自動スイッチ付操作ユニット	15A 250V					
名 称	定 格																						
ワイドスイッチ（ダブル） ON/OFF表示・ネーム付	1P4A																						
ワイドスイッチ（ダブル） ON/OFF表示・ネーム付	3W4A																						
ワイドスイッチ 熱線センサ付用 自動スイッチ付操作ユニット	15A 250V																						

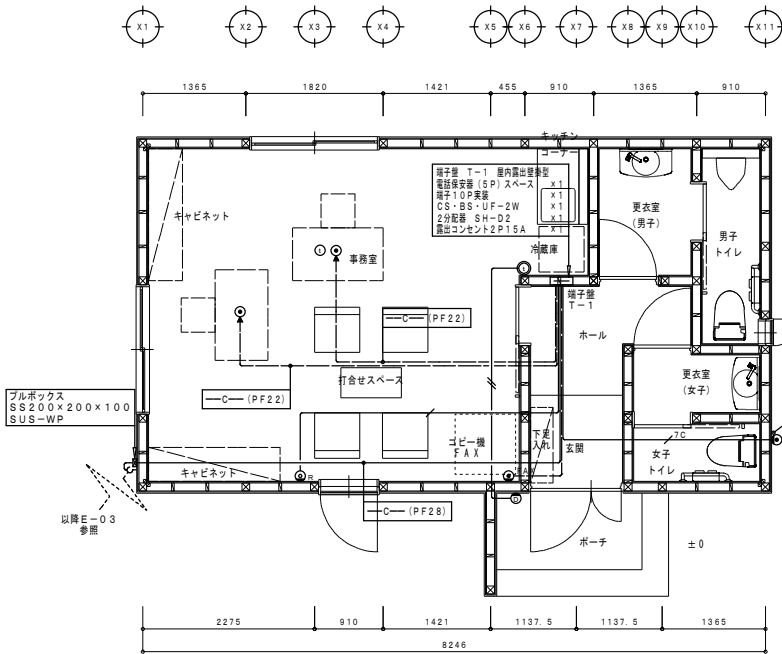
照明器具の消費電力とはJIS S 8105-3「照明器具-第3部：性能要求事項通則」で規定された方法により測定された値であることを基本とする。



図記号	名 称	定 格
① ^{SE}	壁付コンセント	2P15A×2 (接地極付)
② ^{SEET}	壁付コンセント 及び接地端子	2P15A×2 (接地極付) ET×1
③ ^{3P 20A}	壁付コンセント	3P20A×1 (引掛形) 1極は接地極付とする。
④ ^{WP}	壁付コンセント	2P15A×2・ET×1 (防雨形)
⑤ ^{SE}	床コンセント	2P15A×2 (接地極付)
●	ジャンクションボックス	

注 記	
1. 特記無き配線配管は、下記による。	
防火上主要な開仕切り・小部屋隔壁の貫通箇所は防火処理を施すこと。	
防火上主要な開仕切りのケーブルの立上り引下げは、ねじ無し電線管にて保護すること。	
— — —	EM-EFF 2.0~3C
— — —	EM-EFF 2.0~3C (地下)
— GE —	EM-CE 5.5sq-ZC・E2.0
2. 防火上主要な開仕切りに取り付けする位置ボックスは金属製とすること。	

事務所コンセント分岐・電灯幹線設備図 S=1:50

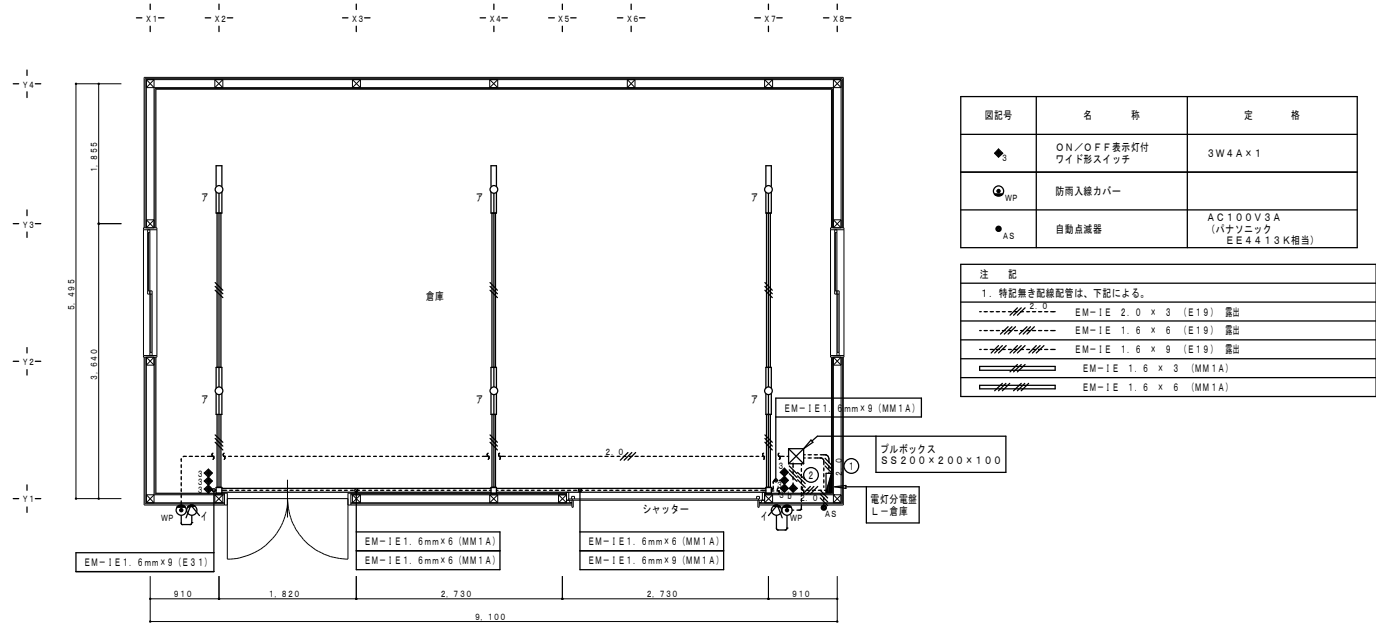


図記号	名 称	定 格
⑥ ^{FAX}	壁付電話機 (ノズル) プレート	
⑦	床電話機 (ノズル) プレート	
⑧ ^{WP}	防雨入線カバー	
⑨	モニター付観機	詳細図参照
⑩	カメラ付玄関機	詳細図参照
⑪	モニター付ワイヤレス子機	詳細図参照
⑫ ^R	テレビ端子	BL SH-7F

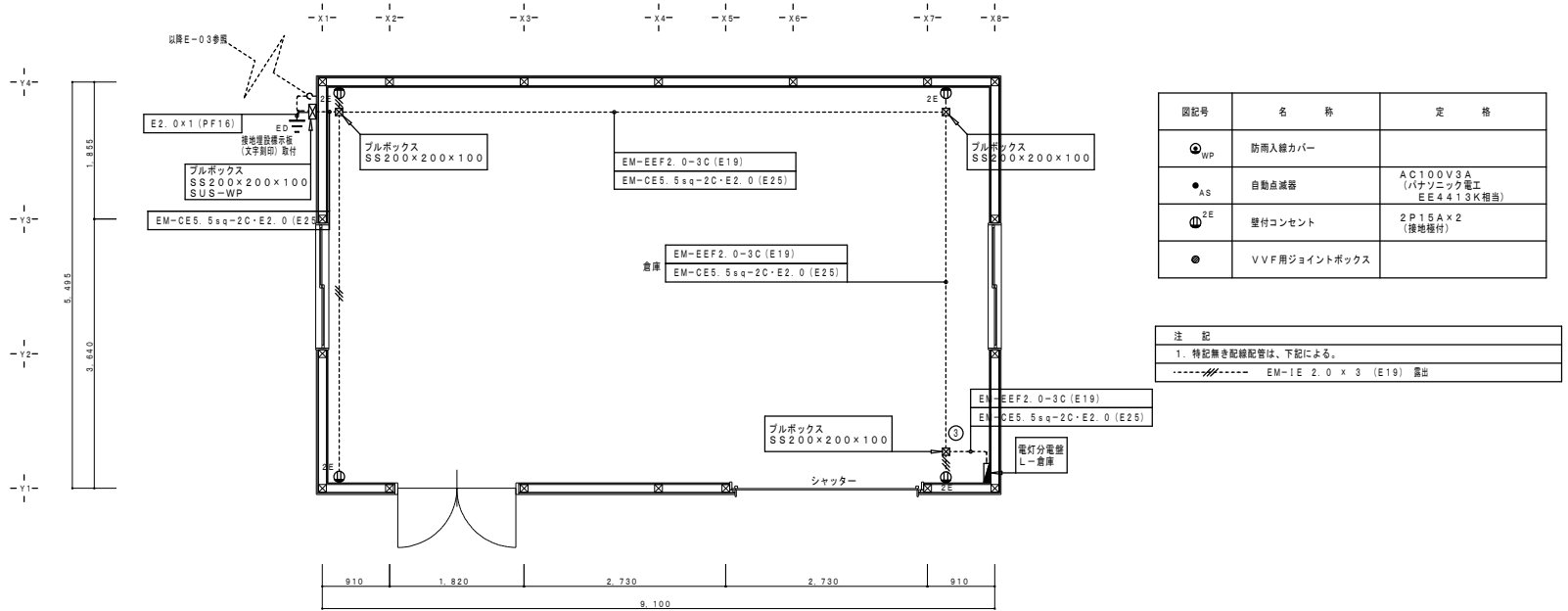
注 記	
1. 特記無き配線配管は、下記による。	
防火上主要な開仕切り・小部屋隔壁の貫通箇所は防火処理を施すこと。	
防火上主要な開仕切りのケーブルの立上り引下げは、ねじ無し電線管にて保護すること。	
— — —	EM-AE 0.9~2C
— — —	EM-S-5C-FB
— — —	EM-S-7C-FB
2. 防火上主要な開仕切りに取り付けする位置ボックスは金属製とすること。	

事務所構内交換・テレビ共同受信設備図 S=1:50

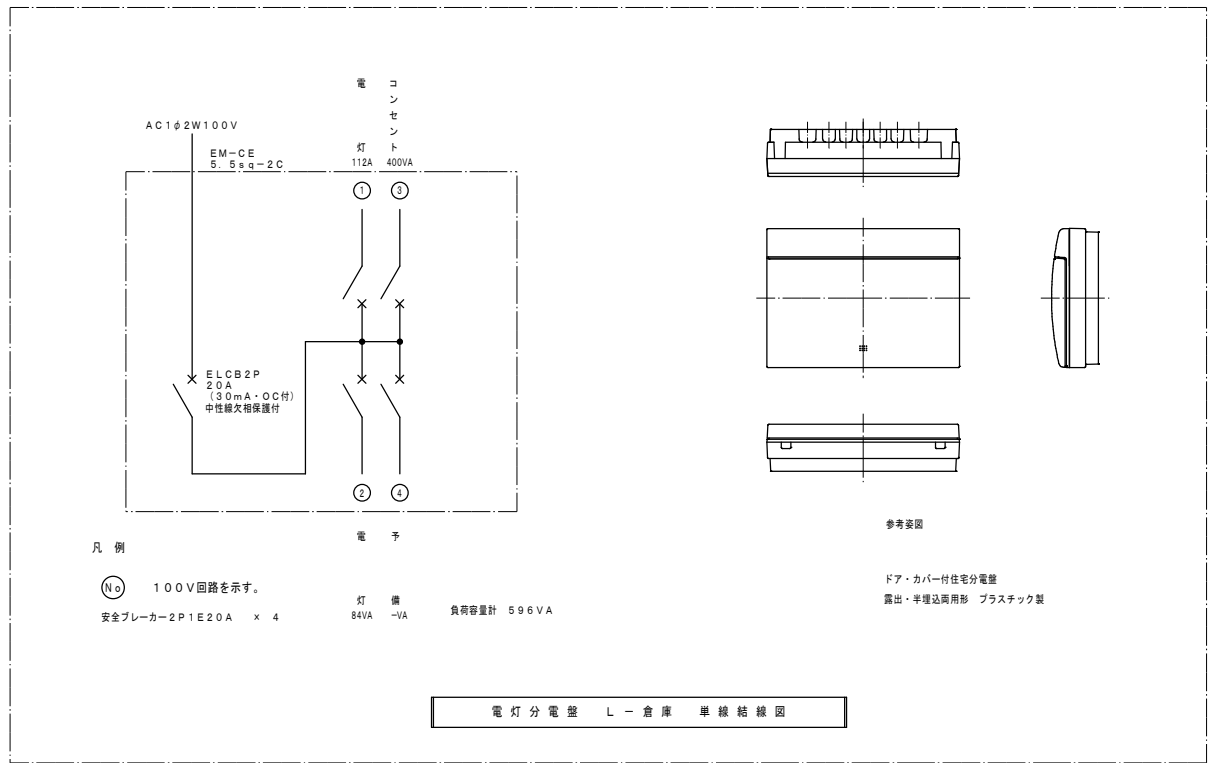
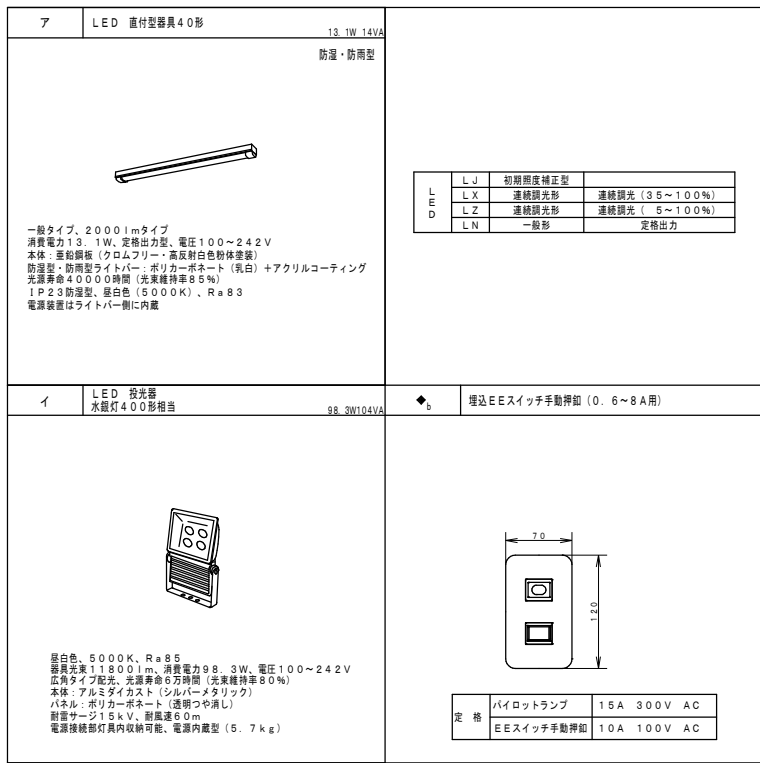
①	モニター付観機	②	カメラ付玄関機
電源電圧 AC100V 50/60Hz モニター 3.5型TFTカラー液晶 通信方式 1.9GHz TDM-A-WB (時分割多元接続方式) 通話方式 拡声自動交差通話/プレストーク通話 録画機能 自動・手動録画、再生、保存 形 状 壁取付型 (JIS1個用スイッチボックス) 材 質 本体：自己消火性樹脂、ハネル部：難燃性自己消火性樹脂		電源電圧 モニター付観機から供給 形 状 壁取付型 (JIS1個用スイッチボックス) 材 質 自己消火性樹脂 カメラ 1/4型カラーCMOS 通話方式 自動交差通話 備 考 防湿・防まつ形 (JIS C 0920 IP54 相当)	
③	モニター付ワイヤレス子機	モニター付ワイヤレス子機 電源電圧 DC2.4V/700mAh (専用ニッケル水素電池 WJW-BT) モニター 2.4型TFTカラー液晶 通話方式 拡声自動交差通話/プレストーク通話 充電時間 約10時間 通信方式 1.9GHz TDM-A-WB (時分割多元接続方式) 使用可能距離 約100m/見通し距離 材 質 自己消火性樹脂 充電台 電源電圧 AC100V 50/60Hz 形 状 据置・壁取付両用型	



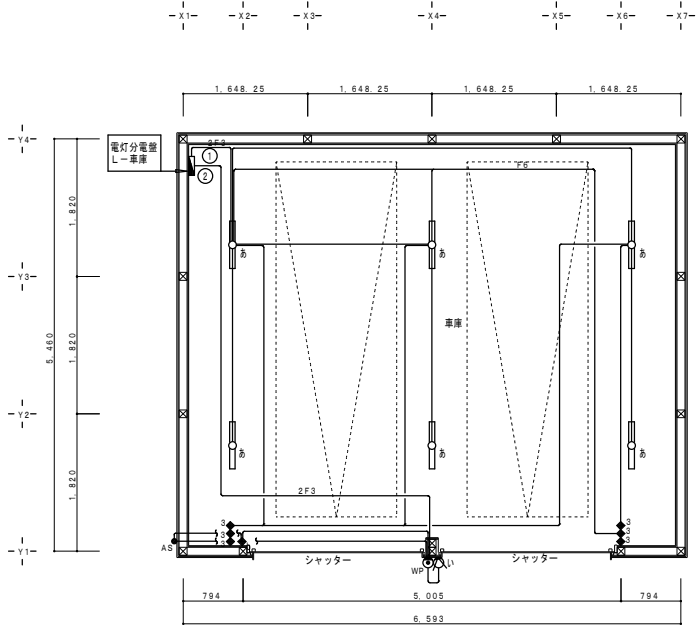
倉庫電灯分岐設備図 S=1:50



倉庫コンセント分岐設備図 S=1:50



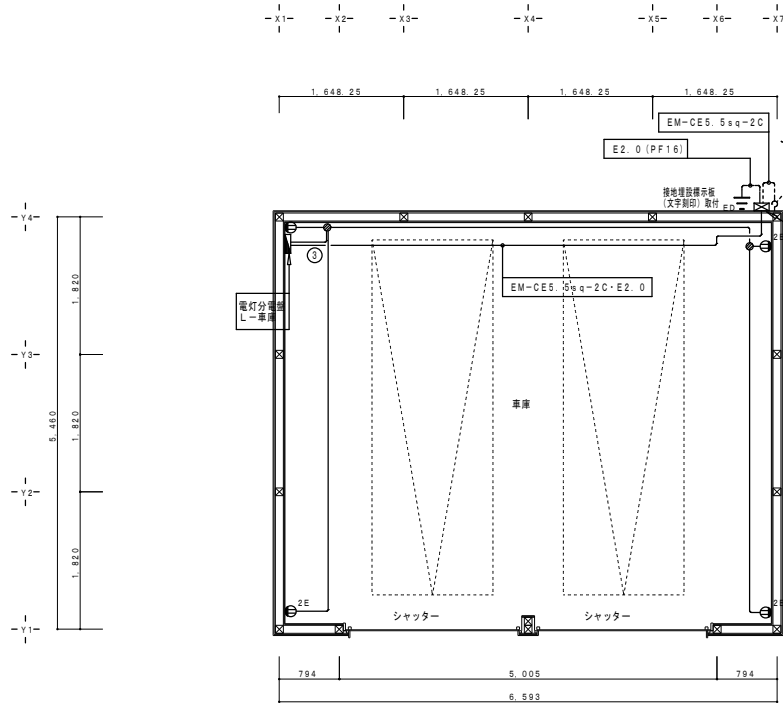
電灯分電盤 L-倉庫 単線結線図



図記号	名 称	定 格
	ON/OFF表示灯付 ワイド部スイッチ	3W4A×1
	自動点滅器	AC100V3A (ハサソニック EE4413K相当)
	防雨入線カバー	

注 記
1. 特記無き配線配管は、下記による。
2F3 EM-EFF 2.0-3C
F6 EM-EFF 1.6-3C
F6 EM-EFF 1.6-3C x 2

車庫電灯分岐設備図 S=1：50



図記号	名 称	定 格
	壁付コンセント	2P15A×2 (接地補付)
	VVF用ジョイントボックス	

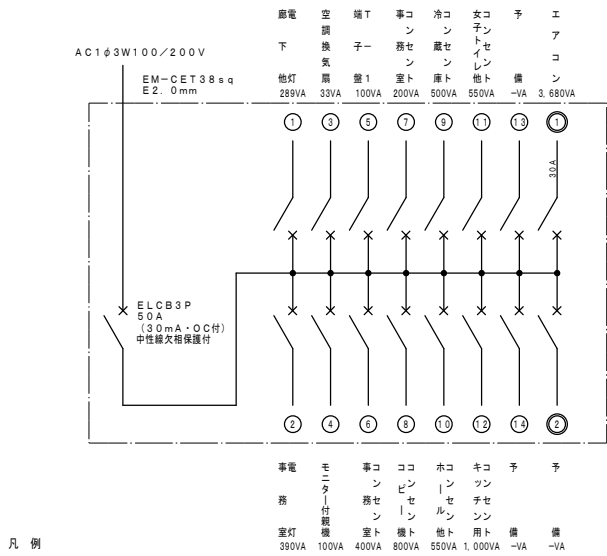
注 記
1. 特記無き配線配管は、下記による。
EM-EFF 2.0-3C

車庫コンセント分岐設備図 S=1：50

あ	LED 直付型器具40形 (昼白色・一般形) 33W 35VA 防湿・防雨型	適合ランプ：直付LEDランプ 電圧100～242V、防湿・防雨型 ランプ素材：ガラス管、Ra84 本体：ステンレス (クリア塗装) 反射板：ステンレス (クリア塗装) 光源寿命40000時間 (光束維持率85%)	<table><tr><td>初形照度補正型</td><td>連続視光 (35～100%)</td></tr><tr><td>連続視光形</td><td>連続視光 (35～100%)</td></tr><tr><td>連続視光形</td><td>連続視光 (35～100%)</td></tr><tr><td>一般形</td><td>定格出力</td></tr></table>	初形照度補正型	連続視光 (35～100%)	連続視光形	連続視光 (35～100%)	連続視光形	連続視光 (35～100%)	一般形	定格出力
初形照度補正型	連続視光 (35～100%)										
連続視光形	連続視光 (35～100%)										
連続視光形	連続視光 (35～100%)										
一般形	定格出力										
い	LED 投光器 水銀灯400形相当 98.3W104VA	昼白色、5000K、Ra85 光束光束11800lm、消費電力98.3W、電圧100～242V 広角タイプ配光、光束寿命6万時間 (光束維持率80%) 本体：アルミダイカスト (シルバーメタリック) パネル：ポリカーボネート (透明つや消し) 耐圧サージ15kV、耐電圧60V 電源接続部灯具内収納可能、電源内蔵型 (5.7kg)	70 120 <table><tr><td>パイロットランプ</td><td>15A 300V AC</td></tr><tr><td>EEスイッチ手動押印</td><td>10A 100V AC</td></tr></table>	パイロットランプ	15A 300V AC	EEスイッチ手動押印	10A 100V AC				
パイロットランプ	15A 300V AC										
EEスイッチ手動押印	10A 100V AC										

照明器具の消費電力とはJIS105-3「照明器具-第3部：性能要求事項通則」で規定された方法により測定された値であることを基本とする。

凡 例 100V回路を示す。 安全ブレーカー2P1E20A x 4 灯 備 280VA -VA 負荷容量計 784VA	参考図 ドア・カバー付住定電盤 露出・半埋込両用形 プラスチック製
電 灯 分 電 盤 L - 車 庫 単 線 結 線 図	



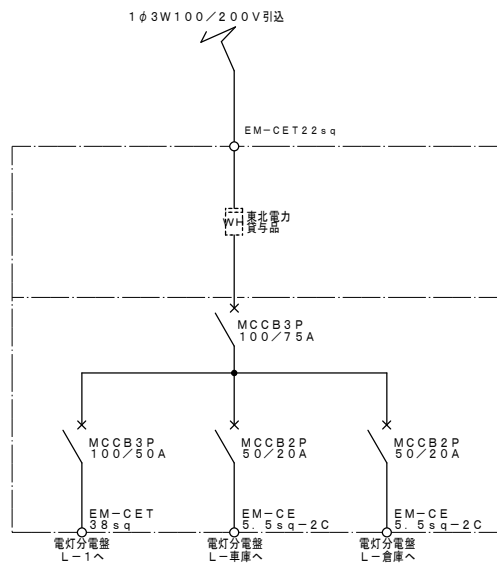
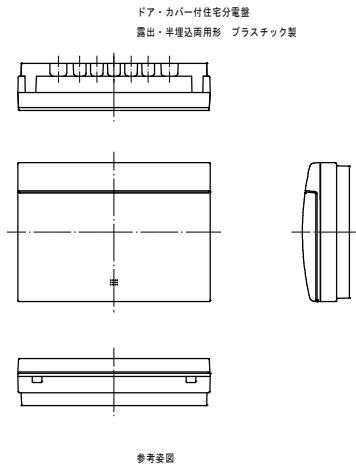
凡 例

- 100V回路を示す。
● 200V回路を示す。

安全ブレーカー-2P2E30A x 1
安全ブレーカー-2P2E20A x 1
安全ブレーカー-2P1E20A x 14

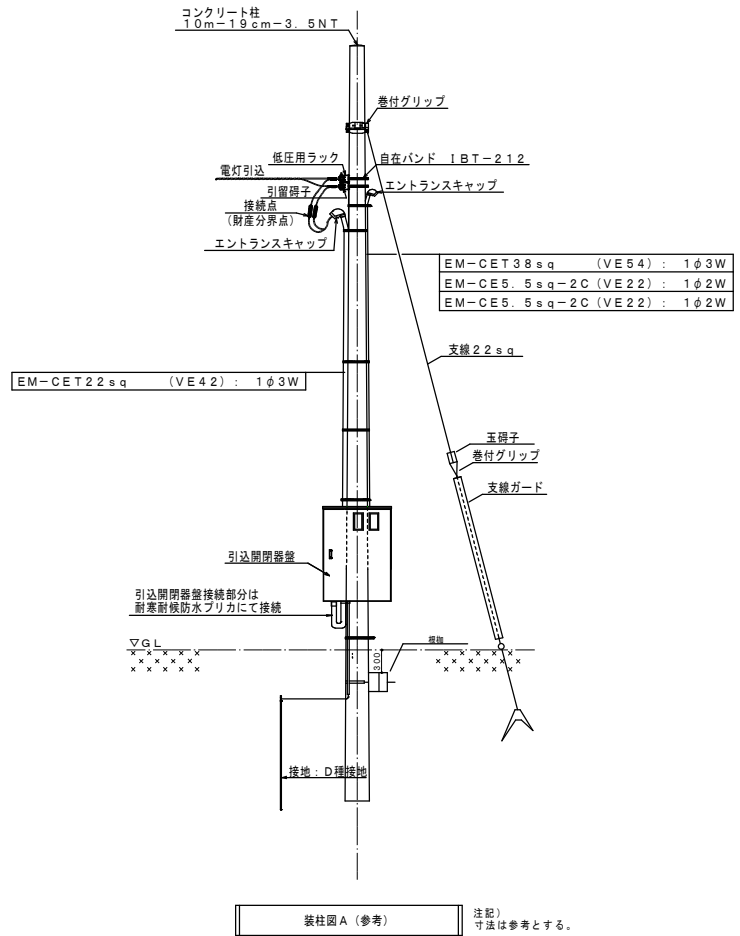
負荷容量計 8,592VA

電 灯 分 電 盤 L - 1 単 線 結 線 図



引込開閉器盤 結線図

ステンレス製・屋外防水露出型



株式会社 八洲建築設計事務所
YASHIMA ARCHITECTS & ENGINEERS

一級建築士284561号 鈴木雄二

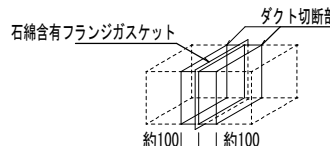
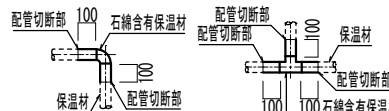
相馬・岩木合同森林事務所新築工事

電灯分電盤・引込開閉器盤結線図・装柱図

E 07

SCALE A1 : - A3 : -

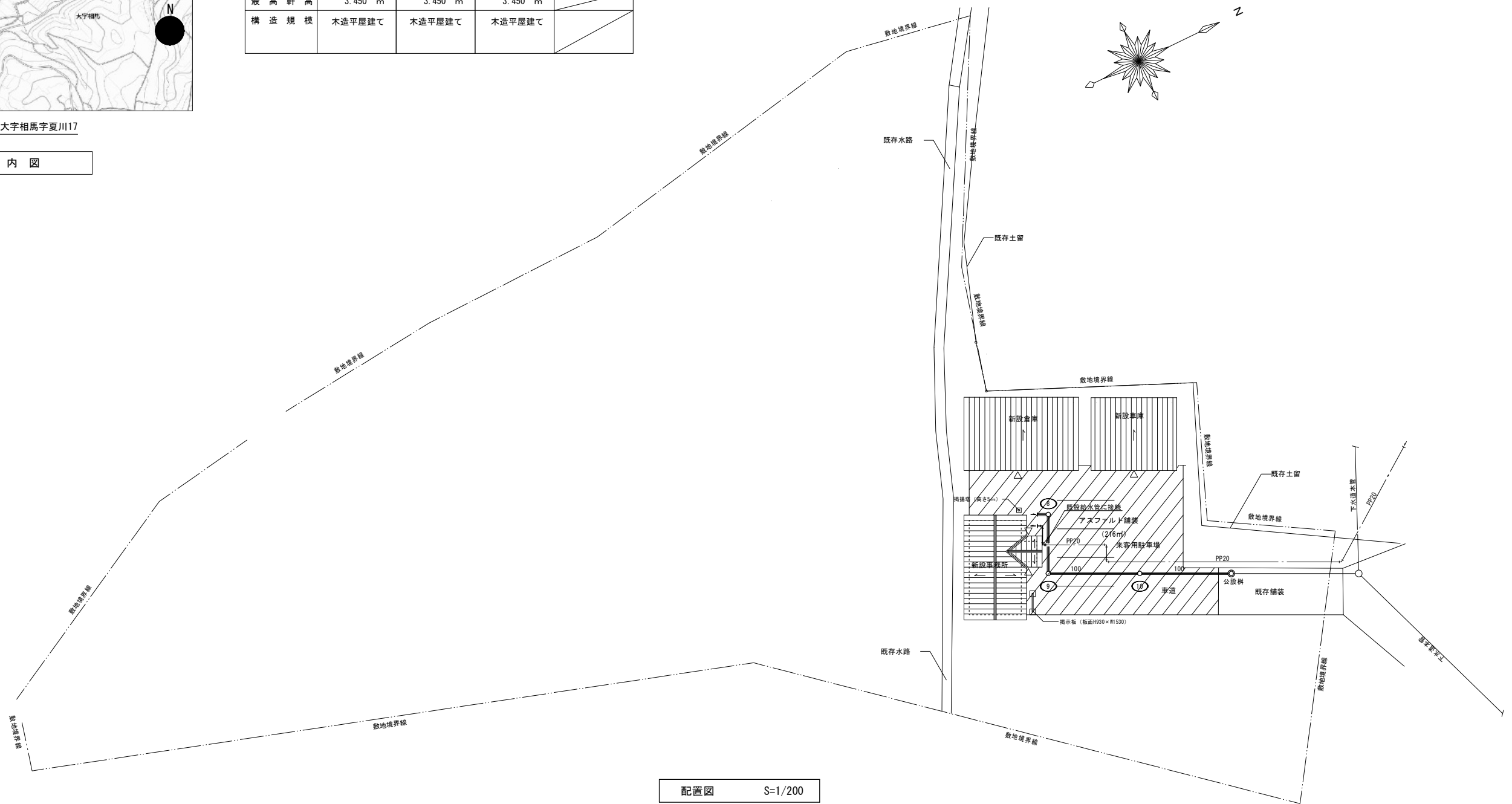
DATE 2021.12

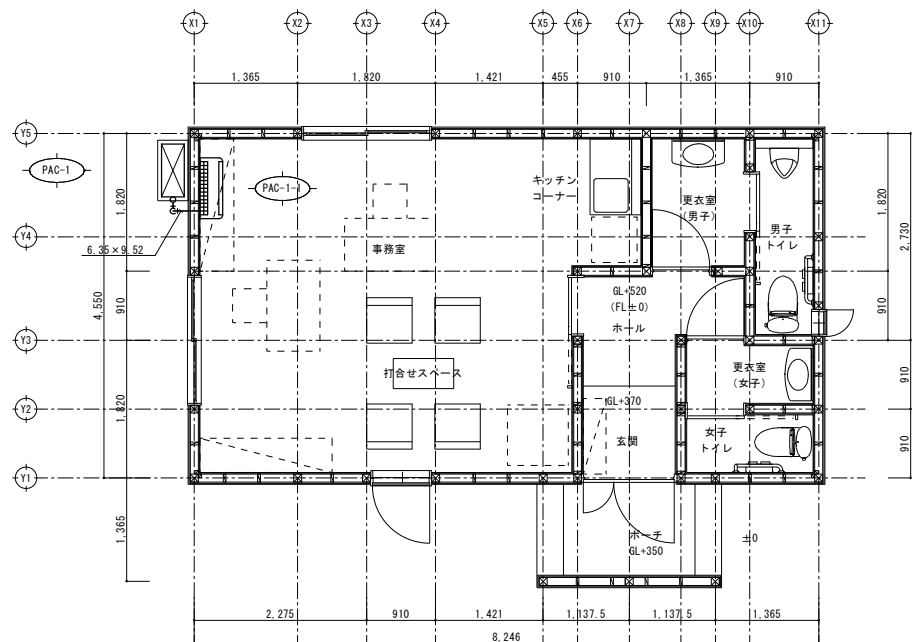
雨水利用設備	○システム構成その他 ○配管材料 ○量水器 ○弁 類	別図による。 イ) 一般配管 既設○ 改設○ ロ) 集水管 既設○ 改設○ ○直読式 ○パルス式 ○図面に特記なき場合は、JIS又はJVKとする。	施 工 要 領	○アスベスト含有製品処理	○ 本工事 ダクトフランジパッキン及び配管エルボ部保温材の処理方法は、以下による。 撤去する長方形ダクトのフランジ部、配管のエルボ・チーズ部に含まれる石綿を処分するためフランジ・エルボ・チーズの前後を切断し、他のダクト・配管とは別に廃棄を行う。 ※ 配管、ダクト以外の解体方法は、関連する官公署、石綿作業主任者などに確認し法令に従い適切に処理を行うこと。 アスベスト含有部材を撤去・取り外しを実施する場合の施工要領（参考） ダクトフランジ部撤去詳細図  石綿含有フランジガスケット ダクト切断部 約100 約100 - ダクトの切断に当たり飛散防止処置として、フランジ部を飛散抑制剤の塗布又はテープ貼を行う。 - フランジ部両側約100mmの箇所において慎重に切断する。 - ダクト片側の切断終了後、フランジ部内部を外面同様、飛散防止処置として飛散抑制剤の塗布又はテープ貼を行い、もう片側の切断を行う。 - 切断したフランジ付ダクトは、ビニール袋等に詰め、構外搬出適切処理とする。 配管エルボ・チーズ部撤去詳細図  - 配管の切断に当たり飛散防止処置として、保温材部を飛散抑制剤の塗布又はテープ貼を行う。 - 保温材部両側約100mmの箇所において慎重に切断する。 - 切断した保温付配管は、ビニール袋等に詰め、構外搬出適切処理とする。			
	厨房機器設備	○熱調理器の熱源 ○厨房機器類		既設 ○ガ ス ○電 気 改設 ○ガ ス ○電 気 イ) 仕様・性能等は図示による。機器の寸法は概略寸法とする。 ロ) 厨房機器据付け要領は、標準図施工74による。	浄化槽設備	○処理能力 ○流入負荷 ○処理方式 ○主要構造 ○総電気容量 ○ばっ気槽用送風機 ○流入側 ○放流側 ○排気管及び排気かさ ○ポンプ ○制御盤 ○マンホール ○装置耐荷重 ○土工事 ○消毒剤 ○水質表示等の提出 ○フローシート ○消泡装置	対象人員 人 BOD濃度 mg/L BOD除去率 %以上 汚水量 m3/日 BOD濃度 mg/L ○小規模合併処理（告示区分第1の処理方式及びその他同等の能力を有するもの又は建築基準法施行令第35条1項の大臣認定） ○合併処理（告示区分第2、第3、第6の処理方式） ○ユニット形（FRP製） ○現場施工形 設置スペース 約 L x W 相 x V x kW イ) 屋外に設置する送風機はカバー付とし、コンクリート基礎上に固定する。 ロ) 送風機にはケーブル（ビニルキャブタイケーブル）を約 m付属する。 ハ) 送風機を2基設置する場合タイマーによる自動交互運転とする。 イ) 流入管底 設計GLー m ロ) 浄化槽本体への自然流下方式（必要な場合はポンプアップ方式とする。） イ) 浄化槽本体よりの自然放流可能管底 設計GLー m ロ) 浄化槽本体よりの自然放流方式（必要な場合はポンプアップ方式とする。） 構造上不要な場合は設けない。 流入用並びに放流用ポンプは各々2台設置し、自動交互異常時同時運転とする。 ○製造者標準品 ○標準仕様書による。 （○漏電、過負荷、満水警報等の一括故障表示用無電圧接点及び端子を設ける。） ○製造者標準品安全荷重（○5 ○15 ○50KN以上とする。） ○標準図（壊材1）（OMHB OMHA OMHD） 耐荷重はマンホール安全荷重による。 イ) 基礎杭 ○要（○本工事○別途） ○不要 ロ) 基礎コンクリート ○要（○本工事○別途） ○不要 ハ) 掘切り ○本工事 ○別途 ニ) 埋戻し ○本工事 ○別途 ホ) 躯体（現場施工形の場合） ○本工事 ○別途 ヘ) 山止め ○要（○本工事○別途） ○不要 ト) 水管え（自然水位GLー m） ○要（○本工事○別途） ○不要 チ) 残土処分 ○構外搬出 ○敷き均し 30日分を納入する。 一定期間定常状態で使用後、放流水質等を記入した測定表を提出する。 合成樹脂製パネル（厚さ5mm以上、文字は彫り込み）を取り付ける。 ノズル式又は消泡剤式とする。	石綿含有設備資材撤去リスト
			工 事 内 容	1, 庁 舎	(1) ○○○○設備 (2) ○○○○設備 (3) ○○○○設備 (4) ○○○○設備 (5) ○○○○設備			
				2, 屋 外	(1) ○○○○設備 (2) ○○○○設備 (3) ○○○○設備			

工事区分表（他工事との取合い等）	区分は○印を適用する										A	建築工事		E	電気設備工事		M	機械設備工事		E V	エレベーター設備工事		※ 複数箇所に○印のあるものは、各工事を適用する																															
			項		目		A	E	M	E V	備 考				項		目		A	E	M	E V	備 考				項		目		A	E	M	E V	備 考																			
躯体関係	R C造（梁・壁・床）の貫通孔・開口部	貫通スリーブ										○	○	○	○			その他	トラフ・ビット類（ふたを含む）										○							事務室廻り	フリーアクセスフロアパネル切込み加工										○							
		貫通スリーブの補強										○							R C造各種ビット										○								フリーアクセスフロア給排気グリル										○							
		開口部の型枠・補強										○							同上用マンホール・タラップ										○																									
		貫通スリーブ・開口部の墨出し										○	○	○	○				排水溝										○																									
		貫通スリーブ・型枠部の穴埋め										○	○	○	○				オイルサーピスタンの防油堤										○								フリーアクセスフロア内の防水堤										○							
																			設備室内床排水管													○																						
																			既設埋設配管配線調査（X線探査含む）										○	○	○						壁・天井空調給排気グリル													○				
S・SRC造（梁・壁・床）の貫通孔・開口部	鉄骨貫通鋼管スリーブ	貫通スリーブ										○	○	○	○			仕 上 関 係																	その他																			
		貫通スリーブの補強										○							軽鉄天井・壁下地										ボード類の切り込み	○							感知器連動防火戸のレリーズ用切込み										○							
		開口部の型枠・補強										○							下地材の切込み・補強										○							消火器ボックス										○								
		貫通スリーブ・開口部の墨出し										○	○	○	○				開口部の墨だし										○	○	○	○				表面仕上が必要な全熱交換機等の表面仕上										○						ボード類、塗装のみ		
		貫通スリーブ・型枠部の穴埋め										○	○	○	○	防火・防煙区画																	壁・天井・床点検口										○						M・E用含む					
		予備スリーブの穴埋め										○	○	○	○	防火・防煙区画																	駆動装置が電動のブラインド・排煙オペレーター等の1次配線及び1次・2次配管										○						レールヒーター用の手元スイッチを含む					
																																				同上本体・駆動装置・検出装置（センサー）										○								
																																				駆動装置が電動のブラインド・排煙オペレーター等の1次配線及び1次・2次配管											○							
																																				同上本体・操作スイッチ及び2次配線										○								
																																				映像音響設備のある室で操作卓にスイッチを組み込む電動ブラインド											○							
設備機器の基礎	機器取り付け用アンカー・架台	基礎										○					可動間仕切	切込み・補強										○						その他	電動スクリーン及びボックス											○								
																		各種ボックス類										○	○	○					電気錠及び扉～枠通電金具及び2次配線										○									
																																			同上用1次配線及び1次・2次配管											○								
																																			避雷導体の接続											○								
																																			笠木を棟上げ導体とした場合の笠木～笠木の接続										○									
																																			ルーフトレン及びびたてどい										○									
																																			煙突の水抜き管（排水管）										○									
																																			地震感知器の配管配線													○						
																																			防煙シャッター連動制御器までの配管配線及び連動制御盤から煙感知器までの配管配線											○								
エレベーター関係	機械室・昇降路の躯体	機械室の床開口										○					吊りボルト及びインサート	設備機器類用											○	○				排水・ハンドホール廻り	雨水排水設備										○									
		機械室の床配管ビット・蓋										○																							くつ洗いの排水金物・排水管										○									
		機械室の上げ床コンクリート打設・仕上										○																							駐車場・車庫廻りのガソリントラップ										○									
		機械室・昇降路内換気設備												○																					雑排水・汚水排水設備													○						
		巻上機周囲のチェッカープレート敷													○			給排気関係	外壁ガラリ										○							屋 外 関 係	ハンドホール											○						
		昇降路内ビット防水・集水柵										○							防風板										○								E・M棟で充填用マンホールふたを使用した場合の表面仕上										○							
		ビット点検タラップ													○				ウェザーカバー・ベントキャップ												○						雨水利用設備（ルーフトレン、縦樋はA、縦樋から集水柵までM）										○		○					
		各階出入口穴あけ・同補強										○							排気フード（標準詳細図によるステンレス製）										○								オイルタンク廻り										オイルタンク本体							
		三方枠取付・枠廻り埋戻し・同補強														○			排 気 フ ード（厨房等、レンジフード等既製品）												○						オイルタンクの外郭、基礎											○						土工事含む
		出入口扉・三方枠及び幕板														○																					同上杭及び杭頭処理											○						
	昇降路の中間ビーム、ブラケット、レールブラケット支持柱、他昇降路内の鋼製部材一式														○																	浄化槽廻り										浄化槽本体（ユニット型）												
	昇降路がS造の時の中間ビーム及びブラケットの受けピース										○																					浄化槽本体（現場施工型）											○						土工事含む					
	機械室大梁又は昇降路内にフックの取付（フック含む）										○					水廻り機器	流し台・吊り戸棚・水切り棚・コンロ台										○					厨房用はM	浄化槽（ユニット型）の外郭、基礎										○						土工事含む					
	ホール押釦・インジケータなどの壁開口										○																						杭及び杭頭処理										○											
	点検用コンセント・煙感知器												○																																									
	E V制御盤までの動力・照明用電源、アース、防火扉等、伝声設備（館内放送用）配管・配線工事												○																																									
	E V制御盤からE V監視盤又は警報盤までの配管・配線工事														○																																							
	E V制御盤からエレベーター内監視カメラまでの配管・配線工事														○		監視カメラ含む																																					
	E V制御盤から監視カメラ用の監視装置までの配管・配線工事												○																																									
	E V制御盤からインターホンまでの配管・配線工事														○																																							
	E V制御盤からE V監視盤又は警報盤までの制御及びインターホンの配管・配線工事														○																																							
	E V制御盤又はE V監視盤までの床守遠隔監視用（電話回線）の配管工事												○																																									
	E V制御盤又はE V監視盤までの緊急地震速受信用の配管工事													○																																								
	動力計測用電力計から自動制御盤までの配管・配線工事														○																																							

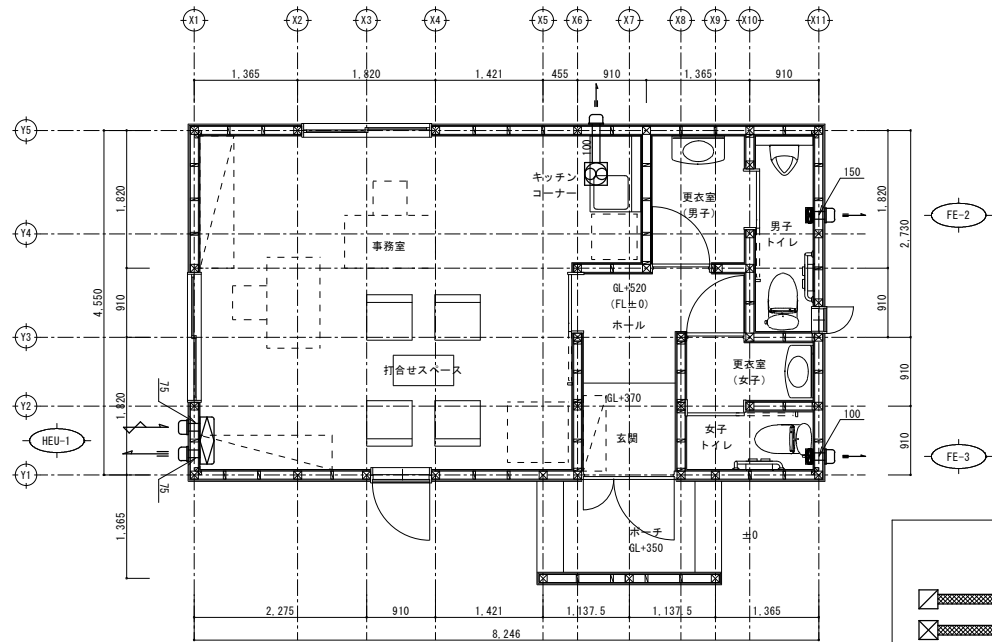
青森県弘前市大字相馬字夏川17

建 築 概 要				
事 業 名		相馬・岩木合同森林事務所新築工事		
計 画 地		青森県弘前市大字相馬字夏川17、19-4		
都市計画区域		都市計画区域外		
防火地域 その他地域				
敷 地 面 積		3,886.19 m ² （登記簿による）		
	計画建物1	計画建物2	計画建物3	合 計
建 物 用 途	事務所	倉庫	車庫	
建 築 面 積	37.53 m ²	50.00 m ²	36.00 m ²	123.53 m ²
延 床 面 積	37.53 m ²	50.00 m ²	36.00 m ²	123.53 m ²
最 高 高 さ	4.279 m	4.000 m	4.100 m	
最 高 軒 高	3.450 m	3.450 m	3.450 m	
構 造 規 模	木造平屋建て	木造平屋建て	木造平屋建て	

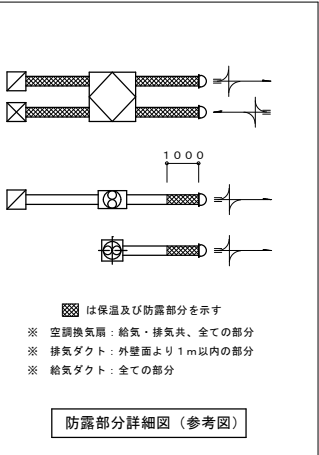




事務室平面図 A3：1/50 (空調設備)

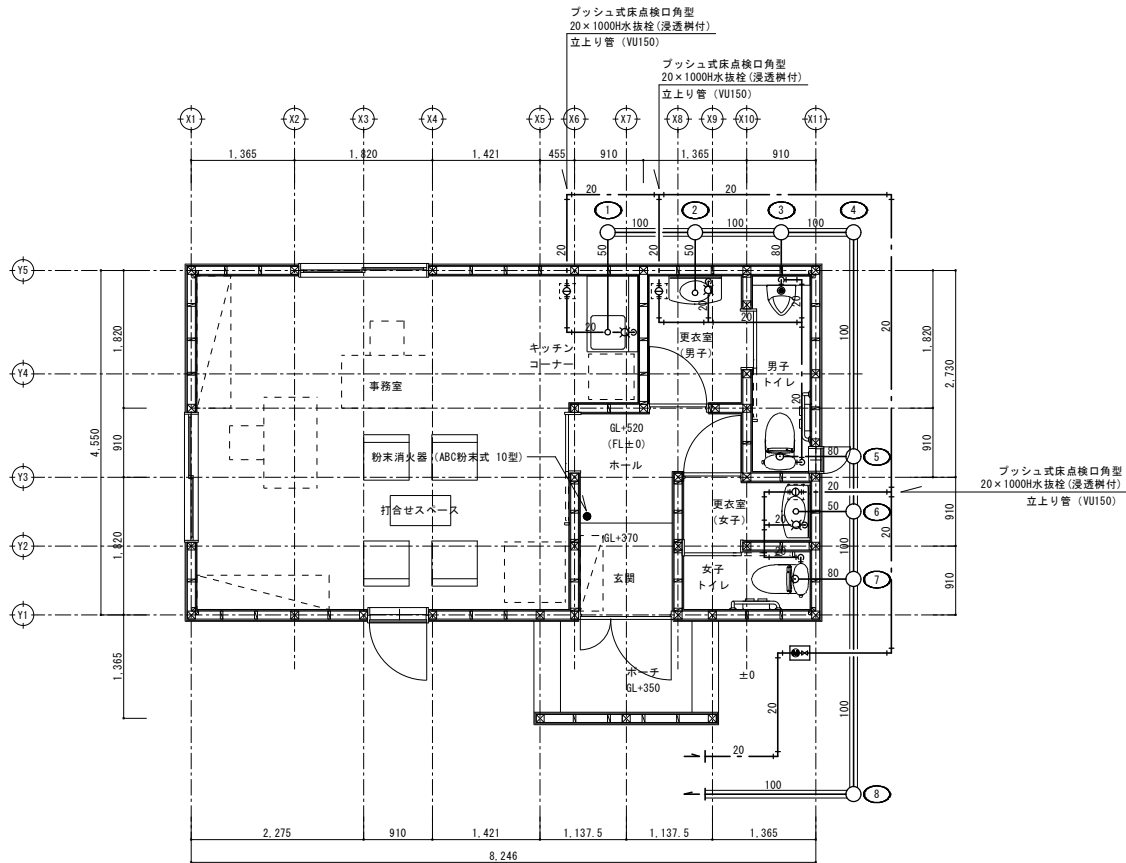


事務室平面図 A3：1/50 (換気設備)

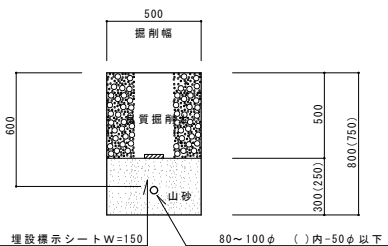


機 器 表 (空 調 ・ 換 気 設 備)						
機 器 番 号	機 器 名 称	台 数	設 置 場 所	仕 様 及 び 能 力	動 力	備 考
PAC-1 PAC-1-1	空 調 機	1	事務室	型 式 空冷ヒートポンプ式 壁掛形ルームエアコン (新冷媒 R32×1.25kg) 寒冷地仕様 仕 様 冷房能力 5.6 KW 暖房能力 6.7 KW 圧縮機 1500W 送風機 室外機 プロペラファン×6.5dB 室内機 ラインフローファン×4.4~7.1dB 製品重量 室外機 41kg、室内機 19kg・・・参考値 製品寸法 室外機 862×345×714H・・・参考値 ×1台 室内機 799×390×290H・・・参考値 ×1台 付属品 銅製屋外機取付架台(壁用、溶融亜鉛メッキ品)、防振ゴム SUS製防雪フード(吸込・吹出共)、ワイヤレスリモコン、他一式	1φ200V 定格冷房 1720W 定格暖房 1700W 暖房低温時 3680W	MSZ-HXV5622S-W
HEU-1	空調換気扇	1	事務室	型 式 壁掛型 (24H運転)、2パイプ 寒冷地仕様 能 力 75φ×90m3/H×2.0Pa×3.8.5dB (強運転) 75φ×50m3/H×1.0Pa×2.8.5dB (弱運転) 効 率 温度交換 55%以上 付属品 エアフィルター、給排気パイプ、コントロールスイッチ(壁)、他一式 100φ丸形フード(SUS製、防虫網付、指定色塗装)×各2	1φ100V 33.0W	シックハウス対応 (弱運転) VL-16EU3-D
FE-1	排 気 機	1	キッチン	型 式 天井埋込形低騒音タイプ (金属製)、風圧式シャッター内蔵 能 力 100φ×100m3/H×7.0Pa×3.8.5dB 付 属 防振吊金具、天吊脱着枠、他一式 100φ深形フード(SUS製、防虫網付、指定色塗装)×各1	1φ100V 23.5W	VD-13ZY12
FE-2	パイプファン	1	便所(男子)	型 式 壁掛型、角型格子グリルタイプ (電気式シャッター、人感センサー付) 能 力 150φ×60m3/H×1.5Pa×2.9.0dB 付 属 他一式 150φ深形フード(SUS製、防虫網付、指定色塗装)×各1	1φ100V 6.1W	V-12PASD7
FE-3	パイプファン	1	便所(女子)	型 式 壁掛型、角型格子グリルタイプ (電気式シャッター、人感センサー付) 能 力 100φ×40m3/H×1.0Pa×2.6.0dB 付 属 他一式 100φ深形フード(SUS製、防虫網付、指定色塗装)×各1	1φ100V 4.6W	V-08PASD7

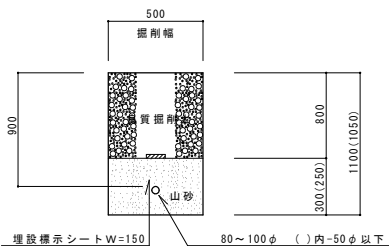
- 特記事項
1. 図面記載品番を参考とし、同等以上の仕様及び能力 (騒音値及び消費電力は記載数値以下) を有する機器・器具を使用する。
 2. 空調機に於いて記載した能力は、日本工業規格 (JIS B 8616) に準じた運転をした場合の値を示す。
冷房能力 : 室内側吸込空気温度 27℃DB・19℃WB、室外側吸込空気温度 35℃DB
暖房能力 : 室内側吸込空気温度 20℃DB、室外側吸込空気温度 7℃DB・6℃WB
暖房低温能力 : 室内側吸込空気温度 20℃DB、室外側吸込空気温度 2℃DB・1℃WB
 3. 天井開口 (天井開口補強を含む) 及び天井点検口は建築工事とする。
 4. 深形フード・薄形ベンドキャップはステンレス製とし、指定色焼付塗装品 (色調は監督職員の指示による) を使用する。
 5. 円形風道および矩形風道に於いて、給気用の全てと排気用の外壁から1.0mの部分に保温および防露を施すものとする。



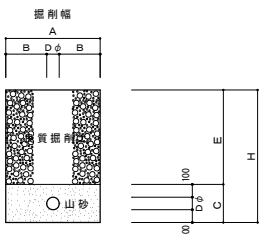
事務室平面図 A3 : 1/50 (給排水設備)



給水管掘削図 (参考図) S=1/20 (一般敷地内部分)

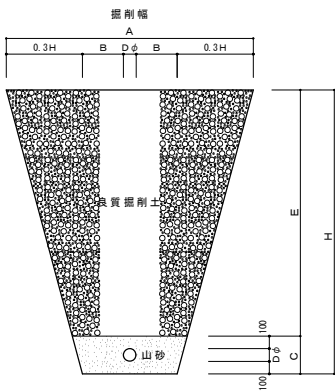


給水管掘削図 (参考図) S=1/20 (敷地内車両道路部分)



掘 削 寸 法 表						
A	500	550	900	950	1800	1850
B	200	200	400	400	400	400
C	300	350	300	350	300	350
D	~100φ	150φ	~100φ	150φ	~100φ	150φ
E	~700	~650	~1200	~1150	~1500	~1450
H	~1000	~1000	1001~1500	1001~1500	1501~	1501~

汚水・雑排水配管掘削図 (参考図)



※ 掘削深さ1500を超える場合

衛 生 器 具 表			階		1 階													合 計
			名	室	間	玄	ホ	事	キ	更	更	男	女					
名 称	参考型式	仕 様 及 び 付 属 品				間	ル	務	ッ	衣	衣	子	子					
腰掛便器	CS400B、SIA BC-ZA10S、CW-KA210C	防露式密結形ロータンク（床給水形・手洗なし）、 棚付二連紙巻器、暖房洗浄便座（1φ100V-350W）、リモコン										1	1					2
ストール小便器 （低リップ）	UFH500 U-460RU	壁掛式、押しボタン式フラッシュバルブ 着脱式トラップ										1						1
手洗器	L270CM L-275FOR	シングルレバー単水栓、水石けん入れなし、Pトラップ								1	1							2
手すり金具	T112CL10 KF-920AE70D12J	腰掛便器用(L型)、SUS製（樹脂被覆） 固定金具 L=700（壁面からの離れ120mm）										1	1					2
化粧鏡	YM4560F KF-4560A	450×600H×5m/m 防錆処理								1	1							2
自在水栓	T130AUN13C LF-12F-13	泡沫式単水栓（ハンドル式）							1									1
流し台	建築工事	ステンレス流し用排水トラップ・湯水混合水栓は、流し台に付属 ※ 配管接続は、機械設備工事とする。							1									1
特 記 事 項			1. 図面記載品番を参考とし、同等以上の仕様及び能力を有する機器・器具を使用する。 2. 衛生器具は、全て寒冷地仕様とする。 3. 暖房洗浄便座・暖房便座の電源供給は、電気設備工事とする。															

屋 外			備考
量 水 器	20m/m（隔測式）	埋入	1 新設
同 上 4 ヲツス	樹脂製、寒冷地仕様		1 新設
止 水 栓	20φ ポール弁		1 新設
止 水 弁	20m/m (B5-2) B-1付		1 新設

汚 水 樹 表 (塩ビインバート樹)						
No.	樹 径	樹 深	地盤高	樹 仕 様	勾 配	仕 上
①	200φ	400	-600	小口径・樹脂製蓋	2/100	土
②	〃	420	-600	〃 〃		〃
③	〃	450	-600	〃 〃	〃	〃
④	〃	470	-600	〃 〃		〃
⑤	〃	590	-520	小口径・防護蓋	〃	アスファルト
⑥	〃	630	-510	〃 〃		〃
⑦	〃	670	-480	〃 〃	〃	〃
⑧	〃	820	-390	〃 〃		〃
⑨	〃	940	-390	〃 〃	〃	〃
⑩	〃	1260	-220	〃 〃		〃
		1640	±0	公 設 樹	〃	〃
特記事項						
1. 樹脂製インバート樹は、排水マス協会若しくはプラスチックマンホール協会の規格品とする。 2. 管底深さは設計地盤面からの深さとし、樹脂製製の高さ調節（立上り管）には硬質塩化ビニル管（VU）を使用する。 3. 樹脂製蓋は、御影鋼ワンタッチ（ドライバーで開閉）タイプとし、管内径接合（オスタイプ）・鎖（SUS製）付とする。 4. 防護蓋は330φ以上とし、除雪車対応型（T-8）袋取手付、台座共とする。 5. 樹脂製インバート樹に防護蓋を使用する場合には、樹脂製内蓋を用いる。						

解体建築工事 特記仕様書

I 工事概要

[illegible]

4. 工事内容

[illegible]

II 解体工事仕様

- (1) 図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官庁官庁営繕部制定の「建築物解体工事共通仕様書（建築工事編）（平成31年版）」（以下「解体共通仕様書」という。）による。
- 図面、本特記仕様書及び解体共通仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官庁官庁営繕部制定の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）平成31年版」（以下「標準仕様書」という。）及び「公共建築回収工事標準仕様書（建築工事編）（平成31年版）」（以下「改修標準仕様書」という。）による。

- (2) 本特記仕様書の表記
- 1) 項目は、**①**の付いたものを適用する。
 - 2) 特記事項は、**・②**の付いたものを適用する。
 - 印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
 - 印と※印の付いた場合は、共に適用する。
 - 3) 特記事項に記載の(. . .)内表示番号は、解体共通仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
 - 4) 特記事項に記載の(. . .)内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
 - 5) 特記事項に記載の[. . .]内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。

1章 各章共通事項	○適用基準 1) 図面、本特記仕様書、解体共通仕様書、標準仕様書及び改修標準仕様書に記載のない事項は次の基準による。 ・ ・ 2) 本設計図書における「標準詳細図」とは、次の基準を指す。 建築工事標準詳細図（平成28年版） 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課																
2章 仮設工事	・騒音・粉塵等の対策 ○足場その他 ・山留めの撤去	《2.2.1》 騒音・粉塵等の対策 ・ ※防音パネル 設置範囲及び高さ ・ 図示（ / 図による） ・ 《2.2.4》 「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。 《2.4.3》 鋼矢板等の抜き後の処理 ・ ※直ちに砂等で充填する															
3章 解体施工	・杭の解体 ・樹木等 ○地下埋設物・埋設配管 ○解体後の整地	《3.9.2》 杭の解体 ・ 行う ・ 行わない 杭の解体工法 ・ 引抜き工法 ・ 粉砕による解体 《3.11.1》 樹木の伐採抜根及び移植 ・ 行う（ / 図による） 《3.12.1》 地下埋設物及び埋設配管の解体 ○ 行う（ / 図による） 《3.13.1》 解体後の埋戻し及び盛土 ・ 行う 整地高さ ・ 現状G L ・ 図示（ / 図による） 埋戻し及び盛土の材料 ・ 山砂の類 ・ 他現場の建設発生土の中の良質土 ・ 再生コンクリート砂 埋戻し及び盛土に当たっては、各層30cm程度毎に締め固めること。 ○ 荒地のみ行う ・ 行わない															
5章 特別管理産業廃棄物等の処理等	○施工調査	《5.1.2》 <table border="1"> <thead> <tr> <th>材料名</th><th>厚さ(mm)</th><th>調査を行う範囲</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>未定</td><td></td><td>※図示 工事対象範囲</td></tr> <tr> <td></td><td></td><td>※図示 ・ 工事対象範囲</td></tr> <tr> <td></td><td></td><td>※図示 ・ 工事対象範囲</td></tr> <tr> <td></td><td></td><td>※図示 ・ 工事対象範囲</td></tr> </tbody> </table>	材料名	厚さ(mm)	調査を行う範囲	未定		※図示 工事対象範囲			※図示 ・ 工事対象範囲			※図示 ・ 工事対象範囲			※図示 ・ 工事対象範囲
材料名	厚さ(mm)	調査を行う範囲															
未定		※図示 工事対象範囲															
		※図示 ・ 工事対象範囲															
		※図示 ・ 工事対象範囲															
		※図示 ・ 工事対象範囲															

6 章 アスベスト含有建材の除去等

①石綿含有建材
の除去工事

調査未実施により
有無不明

《6. 1. 3》

施工調査

※石綿含有建材の事前調査

工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等によって石綿を含有している吹き付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査する。

調査範囲（※施工範囲全て	・ 図示	）
貸与資料（		）

- ・分析による石綿含有建材の調査
分析対象
アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、
クリソタイル、クロシドライト、トレモライト
分析方法

材料名	定性分析方法	定量分析方法
	JIS A 1481-1またはJIS A 1481-2	JIS A 1481-3またはJIS A 1481-4
	・ 箇所	・ 箇所
	・ 箇所	・ 箇所
	・ 箇所	・ 箇所

サンプル数 1箇所あたり3サンプル
採取箇所 ・図示 ・

- ・石綿粉じん濃度測定 《6.1.4》
測定時期、場所及び測定点

適用	測定 名称	測定時期	測定場所	測定箇所数 (各施工箇所 ごと)
・	測定1	処理事業前	処理事業室内	・計 点
・	測定2		調査対象室外部の 付近	・計 点
・	測定3		処理事業室内	・計 点
・	測定4	処理事業中	セキュリティゾー ン入口	・計 点
・	測定5		集じん・排気装置 の排出口(処理事 業室外の場合)	出口吹出し風 速1m/sec以下 の位置 ・計 点
・	測定6		処理事業室外 ・施工区画周辺 ・敷地境界	・計 点
・	測定7		処理事業後 (シート養生中)	処理事業室内
・	測定8	処理事業後シー ト撤去後 1週間以降	処理事業室内	・計 点
・	測定9		調査対象室外部の 付近	・計 点

測定方法

- ・自動測定器による測定

測定名称	測定方法
- 測定4 - 測定5	粉じん相対濃度計（デジタル粉じん計）パーテイクルカウンター、繊維状粒子自動測定器（リアルタイムファイバーモニター）等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定

・ JIS K 3850-1に基づいた測定

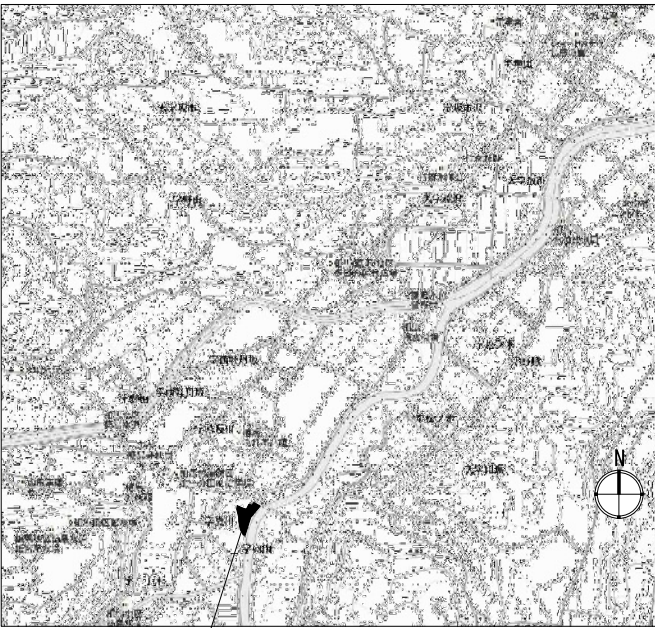
測定 名称	メンブレンフ ィルタ直径 (mm)	試料の吸引流量 (L/min)	試料の吸引時間 (min)
・測定4 ・測定5	25	5	30
・測定 ・	25	10	120
・測定 ・	47	10	240
・測定 ・			

石綿含有建材の処理 《6.3.2、3》

- ・石綿含有吹付け材の除去
 - 除去対象範囲
 - ・ 図示
 - 除去工法
 - ・ ※(6. 3. 2(1) (7)による
- 除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置
 - ※湿潤化
 - ・ 固形化
- 除去した石綿含有吹付け材等の処分
 - ・ 埋立処分（管理型最終処分場）
 - ・ 中間処理（熔融施設又は無害化処理施設）

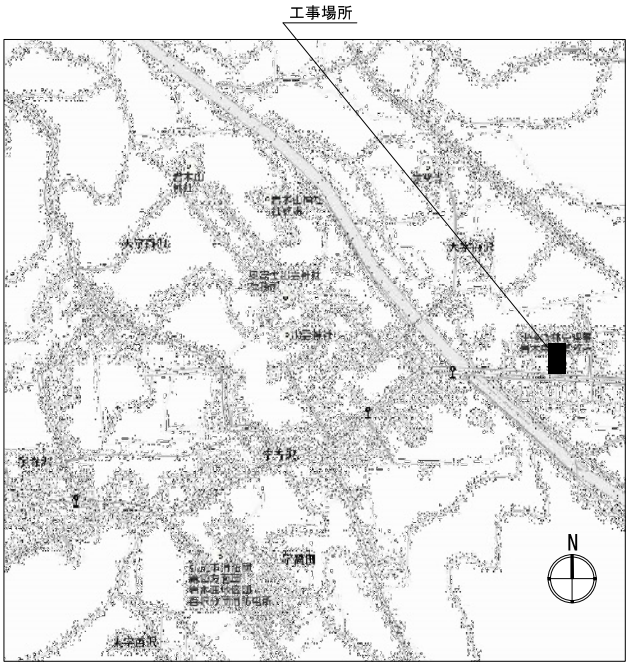
		・石綿含有保温材等の除去 除去対象範囲 ・図示 ・ 除去工法 ・破碎して除去 ・手ばらし 除去した石綿含有保温材等の飛散防止 ※湿潤化 ・固形化 除去した石綿含有保温材等の処分 ・埋立処分（管理型最終処分場） ・中間処理（熔融施設又は無害化処理施設） ・石綿含有成形板の除去 除去対象範囲 ・図示 除去した石綿含有成形板の処分 ・石綿含有せつこうボード ※埋立処分（管理型最終処分場） ・石綿含有せつこうボードを除く石綿含有成形板 ・埋立処分（安定型最終処分場） ・中間処理（熔融施設又は無害化処理施設） アスベスト含有の設備資機材の処理については、取りこわし特記仕様書（電気設備の部）及び（機械設備の部）による。	《6.4.1》																																																																																																																
一般共通事項	・解体工事施工技士 ・産業廃棄物広域認定制度	解体工事を適切に施工管理するため、解体工事施工技士1名以上が現場に常駐すること。 「解体工事施工技士資格者証」を現場で確認する場合があるため、常に携帯しておくこと。 産業廃棄物広域認定制度により廃棄物を処理する場合は、事前に監督員と協議すること。																																																																																																																	
解体施工	・PCB含有シーリング材の撤去方法	※「標準施工要領書（日本シーリング工事業協同組合連合会/日本シーリング材工業会）」による。 （撤去範囲 ※ 図示 ・ ）																																																																																																																	
その他	・建設副産物の処理	取りこわしにより発生する建設副産物は、以下の施設での受入れとして積算している。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th><th>施設名称</th><th>施設所在地</th><th>備 考</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コンクリート塊</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>アスファルト、コンクリート塊</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>建設発生木材</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> ・最終処分する建設廃棄物 <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th><th>施設名称</th><th>施設所在地</th><th>備 考</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> ・処理に注意を要する建設廃棄物 <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th><th>施設名称</th><th>施設所在地</th><th>備 考</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>CCA処理木材</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>ひ素・カドミウム含有石膏ボード</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>石膏ボードの処理</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> ・特別管理産業廃棄物 <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th><th>施設名称</th><th>施設所在地</th><th>備 考</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>廃油</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>廃酸</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>廃アルカリ</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>ダイオキシン含有廃棄物</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> ・アスベスト含有建材 <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th><th>施設名称</th><th>施設所在地</th><th>備 考</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> ・特殊な建築副産物 <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th><th>施設名称</th><th>施設所在地</th><th>備 考</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	名 称	施設名称	施設所在地	備 考	コンクリート塊				アスファルト、コンクリート塊				建設発生木材				名 称	施設名称	施設所在地	備 考																	名 称	施設名称	施設所在地	備 考	CCA処理木材				ひ素・カドミウム含有石膏ボード				石膏ボードの処理				名 称	施設名称	施設所在地	備 考	廃油				廃酸				廃アルカリ				ダイオキシン含有廃棄物				名 称	施設名称	施設所在地	備 考																	名 称	施設名称	施設所在地	備 考																	
名 称	施設名称	施設所在地	備 考																																																																																																																
コンクリート塊																																																																																																																			
アスファルト、コンクリート塊																																																																																																																			
建設発生木材																																																																																																																			
名 称	施設名称	施設所在地	備 考																																																																																																																
名 称	施設名称	施設所在地	備 考																																																																																																																
CCA処理木材																																																																																																																			
ひ素・カドミウム含有石膏ボード																																																																																																																			
石膏ボードの処理																																																																																																																			
名 称	施設名称	施設所在地	備 考																																																																																																																
廃油																																																																																																																			
廃酸																																																																																																																			
廃アルカリ																																																																																																																			
ダイオキシン含有廃棄物																																																																																																																			
名 称	施設名称	施設所在地	備 考																																																																																																																
名 称	施設名称	施設所在地	備 考																																																																																																																

 株式会社 八洲建築設計事務所 YASHIMA ARCHITECTS & ENGINEERS	一級建築士285461号 鈴木雄二	相馬・岩木会森林事務所新築工事	KA — 01
		取りこわし特記仕様書	
SCALE NON		DATE 2021.12	



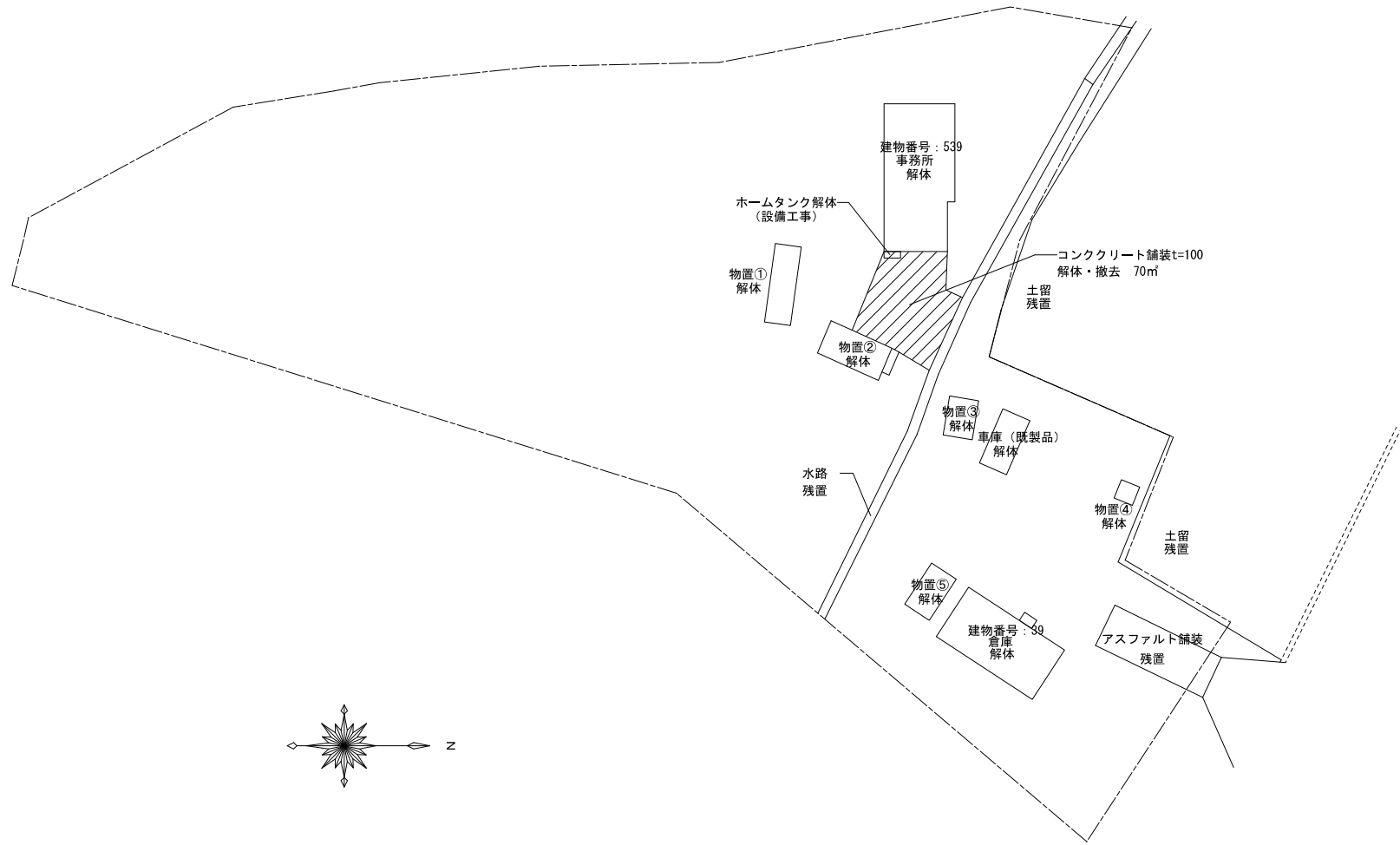
案内図

建 築 概 要				
事務所名	相馬森林事務所			
計 画 地	青森県弘前市大字相馬字夏川17			
都市計画区域	都市計画区域外			
防火地域 その他地域				
敷 地 面 積	3,886.19㎡（登記簿による）			
解体建物概要				
建 物 用 途	構 造 規 模	延 床 面 積	建 築 面 積	備 考
事務所	木造平屋建て	81.25 ㎡	81.25 ㎡	オイルタンク
倉庫	木造平屋建て	53.46 ㎡	53.46 ㎡	
物置①	鉄骨造平屋建て	17.40 ㎡	17.40 ㎡	
物置②	鉄骨造平屋建て	18.00 ㎡	18.00 ㎡	
物置③	鉄骨造平屋建て	9.72 ㎡	9.72 ㎡	
物置④	鉄骨造平屋建て	3.24 ㎡	3.24 ㎡	
物置⑤	鉄骨造平屋建て	12.15 ㎡	12.15 ㎡	
車庫（既製品）	鉄骨造平屋建て	16.63 ㎡	16.63 ㎡	
合 計		211.85 ㎡	211.85 ㎡	

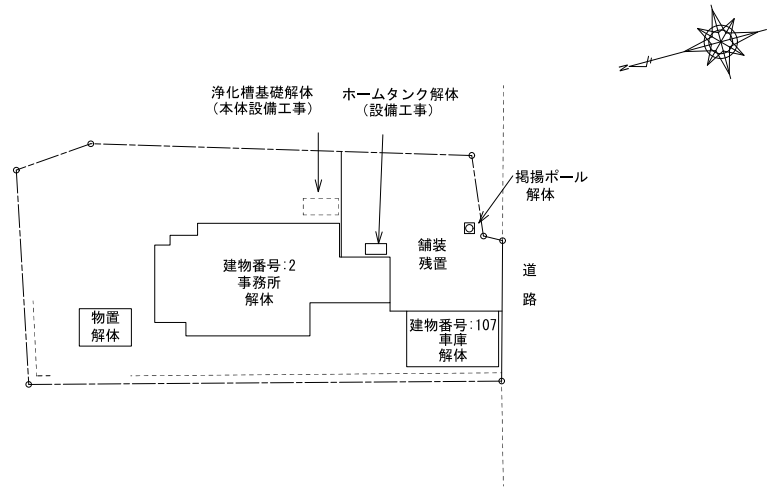


案内図

建 築 概 要				
事務所名	岩木森林事務所			
計 画 地	青森県弘前市大字百沢字寺沢150-2			
都市計画区域	都市計画区域外			
防火地域 その他地域				
敷 地 面 積	362.26 ㎡（登記簿による）			
解体建物概要				
建 物 用 途	構 造 規 模	延 床 面 積	建 築 面 積	備 考
事務所	木造平屋建て	72.43 ㎡	72.43 ㎡	オイルタンク 浄化槽
物置（既製品）	鉄骨造平屋建て	6.44 ㎡	6.44 ㎡	
車庫（既製品）	鉄骨造平屋建て	15.79 ㎡	15.79 ㎡	
合 計		94.66 ㎡	94.66 ㎡	



配置図 S=1/200



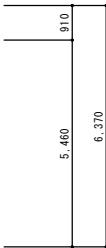
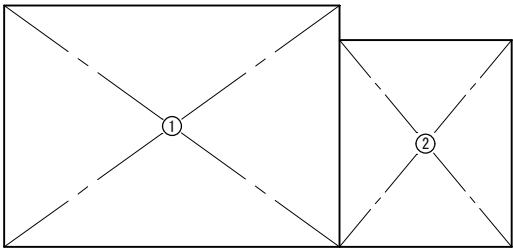
配置図 S=1/200

外 部 仕 上 表

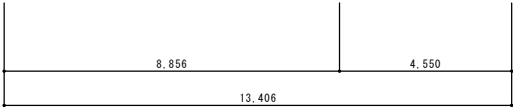
屋 根	カラー鋼板 t=0.4 立平葺 アスファルトルーフィング940 パラ板 t=12
軒天井	石綿板 t=6 0P
外 壁	縦型サイディング張り 上部白モルタル塗
建 具	アルミ製サッシ 一部木製建具
水 切	カラー鋼板 t=0.4 曲げ加工
基 礎	モルタル刷毛引き
出入口床	モルタル金ゴテ
雪囲い	立面図参照
オイルタンク	設備工事に撤去
テレビアンテナ	電気工事に撤去
物置入口仮り止め	波型鉄板 910×1820 2枚 合板 910×1820 t=12 1枚

内 部 仕 上 表

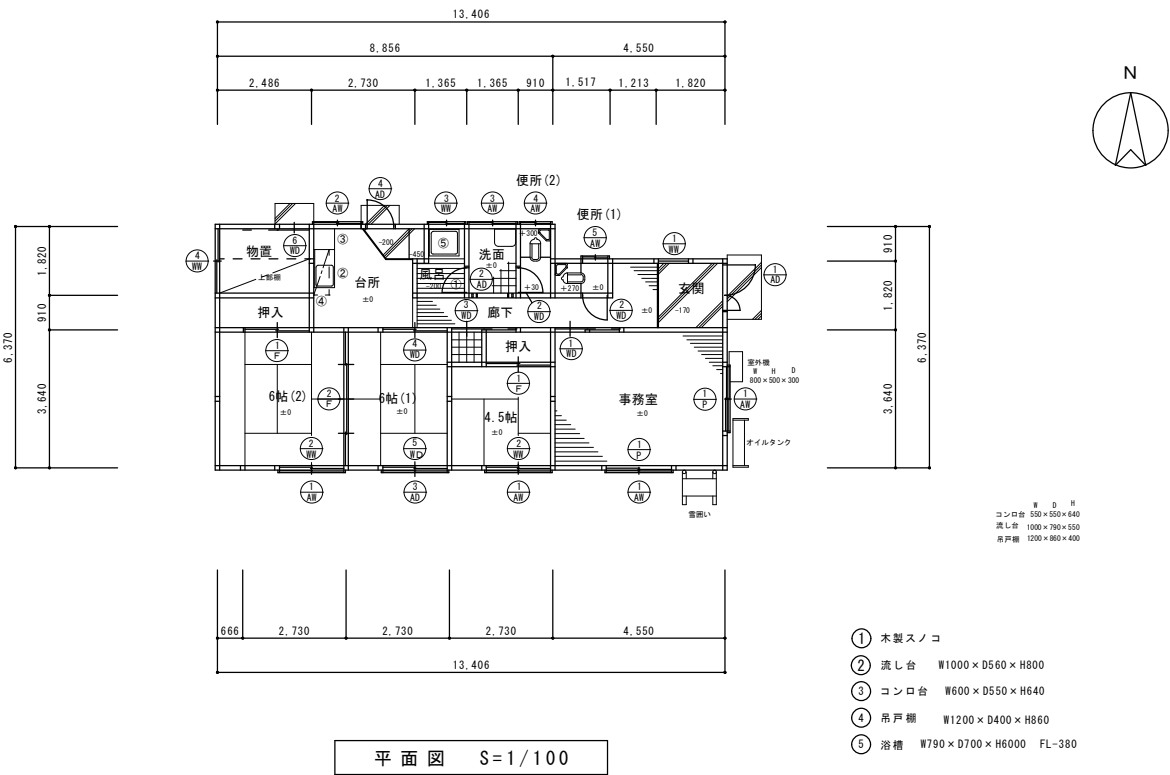
室 名	床			巾 木		壁		天 井				備 考		
	下 地	仕 上	高 さ		高 さ	下 地	仕 上	下 地	廻り縁	仕 上	天井高			
玄 関	1	コンクリート	モルタル金ゴテ仕上	-170	木製（既製品）	60	木 組	ビニールクロス 石膏ボード t=12下地	木 組	20×15	ビニールクロス 石膏ボード t=9下地	2,570		1
廊 下	2	木 組	複合フローリング t=12	±0	木製（既製品）	60	木 組	ビニールクロス 石膏ボード t=12下地	木 組	20×15	ビニールクロス 石膏ボード t=9下地	2,400		2
事務室	3	木 組	複合フローリング t=12	±0	木製（既製品）	65	木 組	ビニールクロス 石膏ボード t=12下地	木 組	30×20	化粧石膏ボード t=9.0	2,400	天井点検口アルミ枠450×450 壁・天井：グラスウール 7100 16kg	3
便所（1）	4	コンクリート	ビニールシート	±0	木製 30×30	30	木 組	プリント合板 t=6.0	木 組	30×30	プリント合板 t=6.0	2,400		4
洗 面	5	木 組	フローリングブロック	±0	木製 105×15	105	木 組	プリント合板 t=6.0	木 組	30×30	プリント合板 t=6.0	2,400		5
便所（2）	6	コンクリート	ビニールシート	+30	木製 30×30	30	木 組	プリント合板 t=6.0	木 組	30×30	プリント合板 t=6.0	2,400		6
風 呂	7	コンクリート	モルタル金ゴテ仕上	スノコ面 -200	モルタル金ゴテ		木 組	下部モルタル金ゴテ 上部白モルタル	木 組	40×30	ヒバ緑甲板 t=12	2,400	① スノコ ⑤ 浴槽	7
台 所	8	木 組	ビニールシート	±0	木製 90×15	90	木 組	ビニールクロス 石膏ボード t=12下地 流し上部一部100角タイル 60枚	木 組	30×20	ビニールクロス 石膏ボード t=9下地	2,400	② 流し台 ③ コンロ台 ④ 吊戸棚	8
4.5 帖	9	木 組	タタミ敷 t=55 一部フローリングブロック	±0	木製 40×25 タタミ寄せ 40×25	40	木 組	ビニールクロス 石膏ボード t=12下地	木 組	40×35	杉柵プリント合板 t=6.0	2,400	長押 40×24	9
押 入	10	木 組	ベニヤ合板	±0	雑巾ズリ		木 組	ベニヤ合板	木 組		ベニヤ合板	2,400		10
6 帖（1）	11	木 組	タタミ敷 t=55	±0	タタミ寄せ 40×25		木 組	ビニールクロス 石膏ボード t=12下地	木 組	40×35	杉柵プリント合板 t=6.0	2,400	メガネ石 300×300	11
6 帖（2）	12	木 組	タタミ敷 t=55 一部板の間	±0	タタミ寄せ 40×25		木 組	ビニールクロス 石膏ボード t=12下地	木 組	40×35	杉柵プリント合板 t=6.0	2,400		12
押 入	13	木 組	ベニヤ合板	±0	雑巾ズリ		木 組	ベニヤ合板	木 組		ベニヤ合板		下段・上段・天袋	13
物 置	14	木 組	木製荒板	-170	木製 45×15	45		ベニヤ合板			小屋組み 屋根荒板表し			14



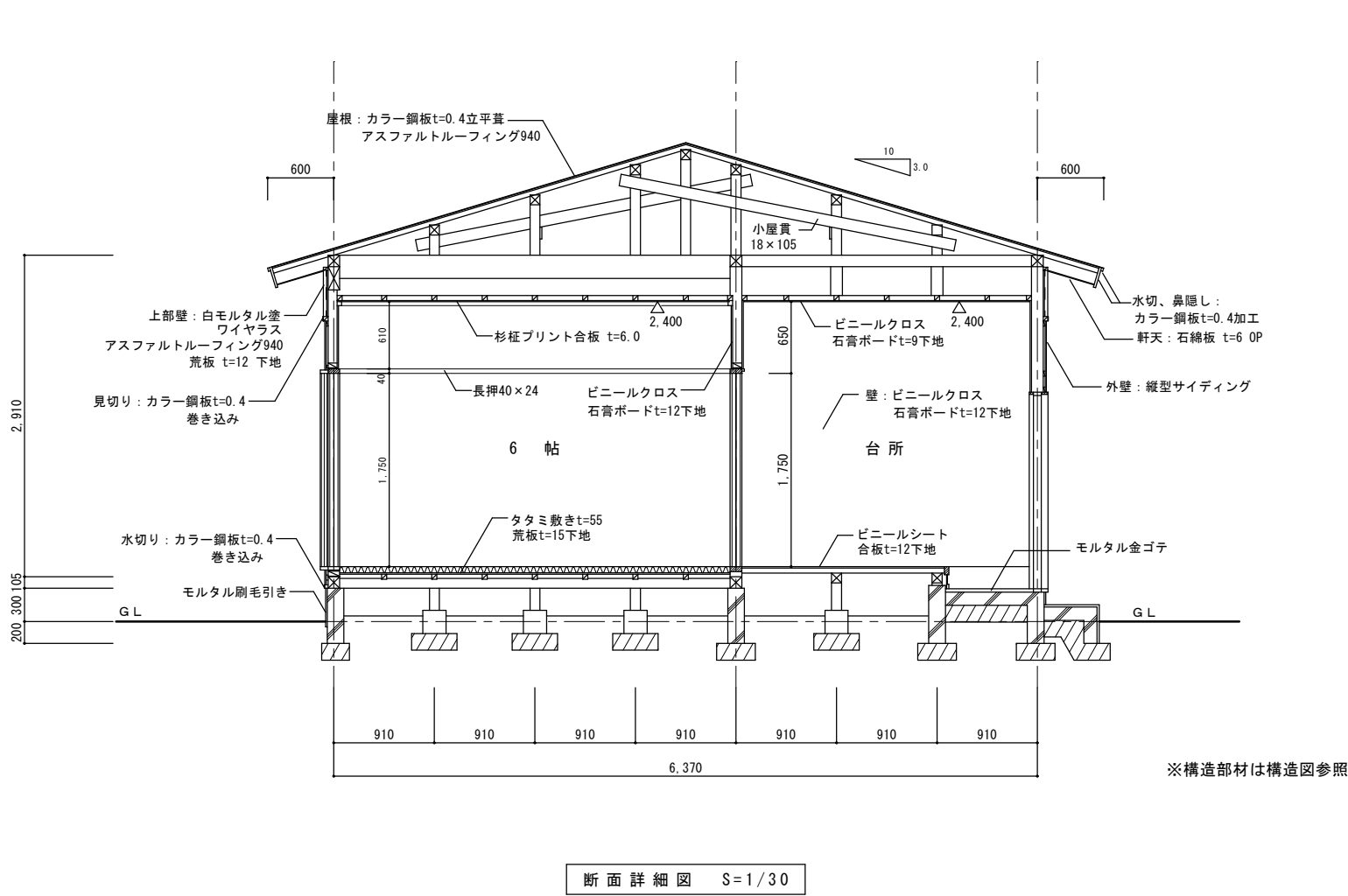
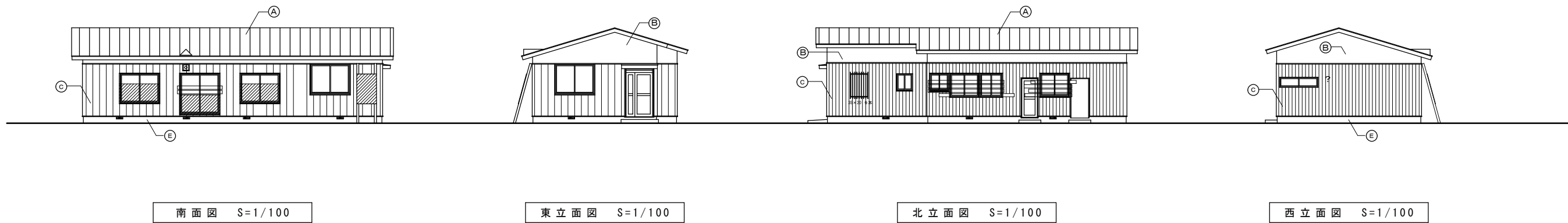
番号	計 算 式	
①	8.856 × 6.370 =	56.41272
②	4.550 × 5.460 =	24.843
計		81.25572
	改め床面積	81.25㎡



求 積 図 S=1/100



平 面 図 S=1/100



- ① カラー鋼板 t=0.4 立平葺
② 上部白モルタル塗
③ 縦型サイディング張り
④ モルタル刷毛引き
- 雪囲い合板 t=12
雪囲い荒板 t=15

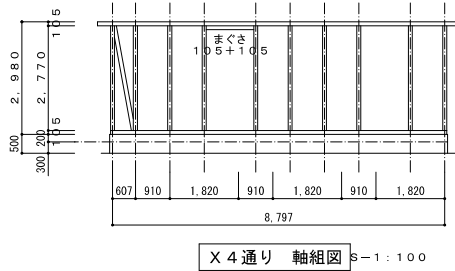
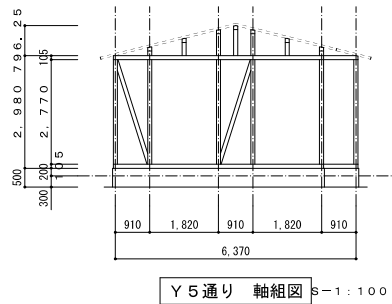
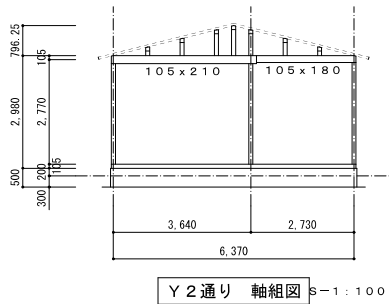
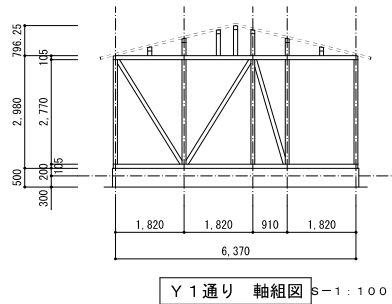
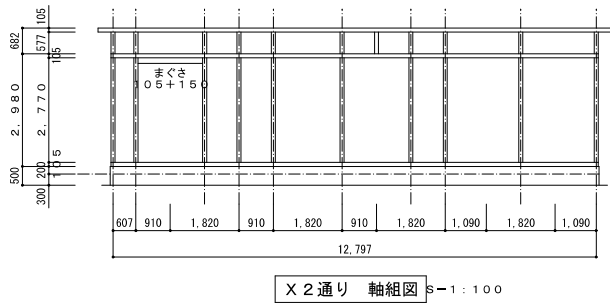
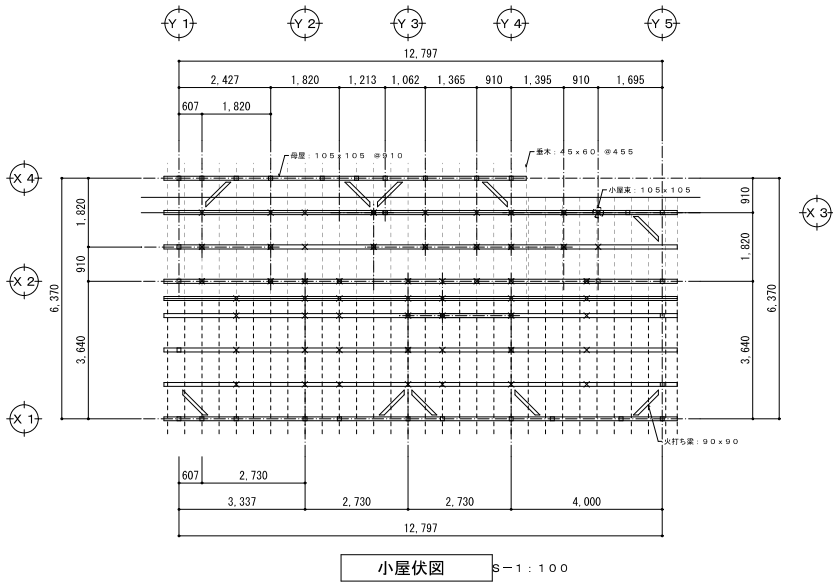
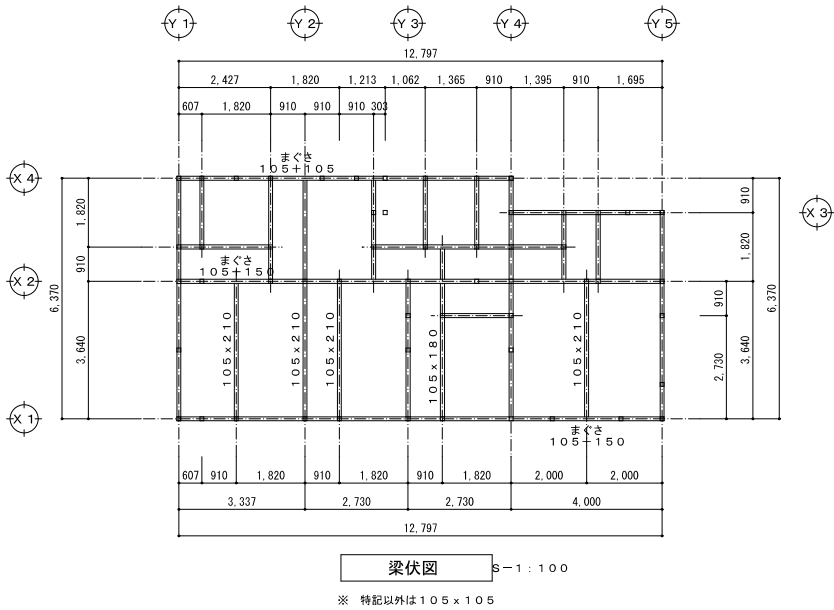
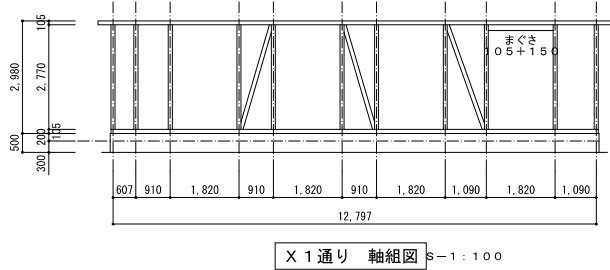
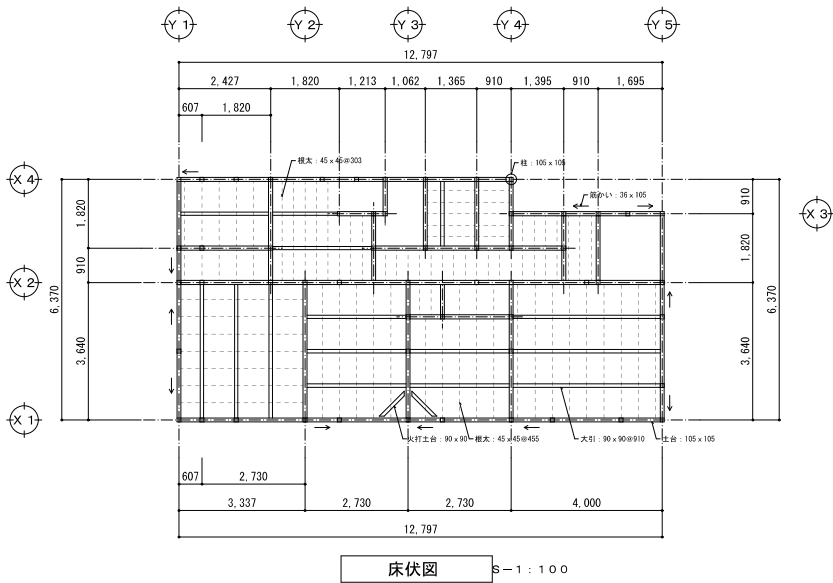
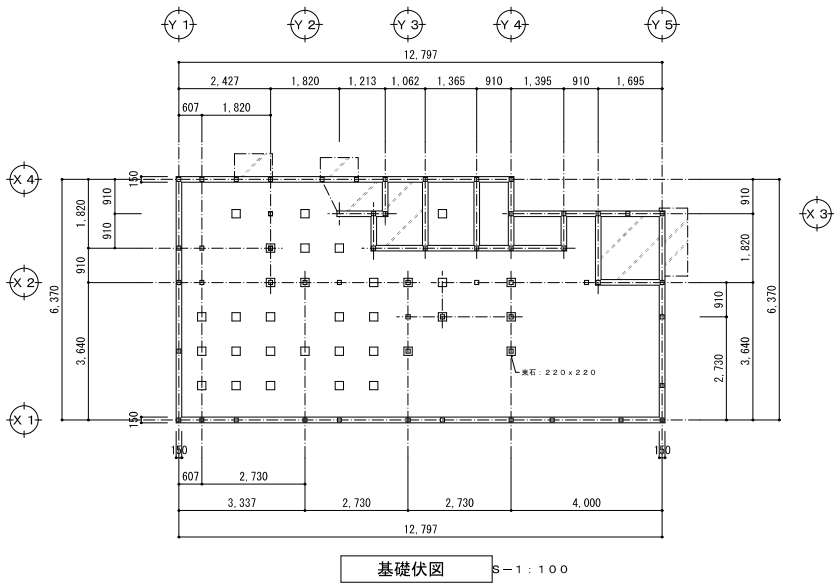
建具表 S=1/ 100

符号・個数	① AD1ヶ所	② AD1ヶ所	③ AD1ヶ所	④ AD1ヶ所			① P2ヶ所			
場 所	玄 関	風 呂	6 帖 (1)	台 所			事務室			
姿 図										
名 称	親子扉	片開き扉	引違戸	片開き扉			引違窓			
仕上・硝子	アルミ製 ・型ガラス	アルミ製 ・型ガラス	アルミ製 ・3mmトーメイ	アルミ製 ・型ガラス			樹脂サッシ ・型ガラス			
金 物	シリンダー錠、フランス落し 付属金物一式	空錠、付属金物一式	クレセント、付属金物一式	シリンダー錠、付属金物一式			クレセント、付属金物一式			
備 考	腰アルミパネル									

符号・個数	① AW4ヶ所	② AW1ヶ所	③ AW1ヶ所	④ AW1ヶ所	⑤ AW1ヶ所					
場 所	事務室 4.5帖 6帖 (2)	台 所	洗面所	便 所 (2)	便 所 (1)					
姿 図										
名 称	引違窓	引違窓	引違窓	引違窓	引違窓					
仕上・硝子	アルミ製 ・3mmトーメイ	アルミ製 ・3mmトーメイ	アルミ製 ・3mmトーメイ	アルミ製 ・型ガラス	アルミ製 ・型ガラス					
金 物	クレセント、付属金物一式	クレセント、付属金物一式	クレセント、付属金物一式	クレセント、付属金物一式	クレセント、付属金物一式					
備 考										

符号・個数	① WD1ヶ所	② WD2ヶ所	③ WD1ヶ所	④ WD1ヶ所	⑤ WD1ヶ所	⑥ WD1ヶ所				
場 所	事務室	便所 (1) (2)	4.5帖	6 帖 (1)	6 帖 (1)	物置				
姿 図										
名 称	引戸	片開扉	片引戸	引違戸	引違戸	引戸				
仕上・硝子	化粧合板 フラッシュ戸 型ガラス	ベニヤOS フラッシュ戸	化粧合板 フラッシュ戸 化粧ガラス	枠 木製白木 化粧ガラス	枠カシュー塗装 化粧ガラス	木製白木 板張				
金 物	引手、レール	握り玉、丁番、カマ錠	引手	引手	引手	引手				
備 考										

符号・個数	① F2ヶ所	② F1ヶ所			① WW1ヶ所	② WW2ヶ所	③ WW1ヶ所	④ WW1ヶ所		
場 所	押 入	8帖～6帖			玄 関	4.5帖 6帖 (2)	風 呂	物 置		
姿 図										
名 称	戸袋付き、引違戸	4枚引違戸			ハメ殺し窓	引違戸	引違窓	引違窓		
仕上・硝子	新鳥の子貼り 枠カシュー塗装	新鳥の子貼り 枠カシュー塗装			木製枠 OS	枠カシュー塗装 ・化粧ガラス	木製白木 ・化粧ガラス	木製白木 ・型ガラス		
金 物	引手	引手				引手	引手、差込み錠	引手		
備 考										

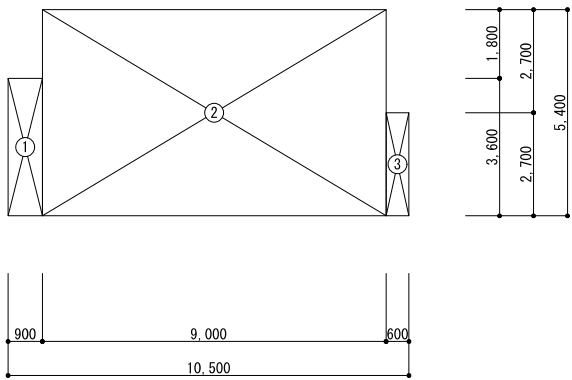


部材リスト			
基礎 無筋コンクリート	土 台 105 x 105	柱 105 x 105	小屋束 105 x 105
基礎巾 150	火打土台 90 x 90	桁 105 x 105	母 屋 105 x 105 @ 910
基礎高 500	大 引 90 x 90 @ 910	つなぎ 105 x 105	垂 木 45 x 60 @ 455
	床 束 90 x 90 @ 910	梁 105 x 180, 210	火打梁 90 x 90
	横 太 45 x 45 @ 455 (貫)	間 柱 36 x 105	野地板 t-9
	横 太 45 x 45 @ 303 (フローア)	まぐさ 105 x 105	
	敷 板 t-15	まぐさ 105 x 150	

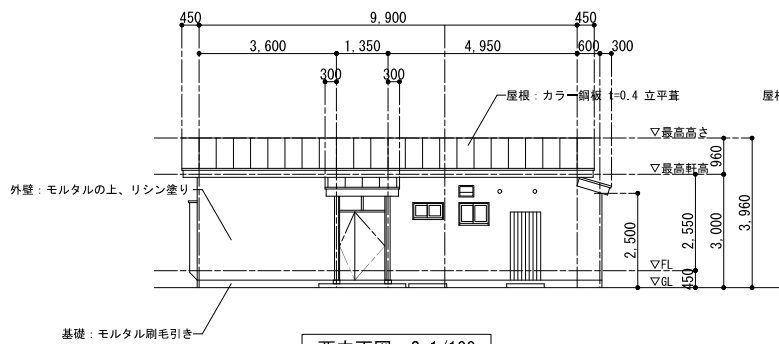
外部仕上表

屋 根	カラー鋼板 t=0.4 立平葺 アスファルトルーフィング940 バラ板 t=12
軒天井	石綿板 t=6 0P
外 壁	モルタルの上、リシン塗り
建 具	木製建具
水 切	——
基 礎	モルタル刷毛引き
出入口床	モルタル金ゴテ
雪囲い	
オイルタンク	設備工事にて撤去
テレビアンテナ	電気工事にて撤去
台所入口仮り止め	板張り 800×1800

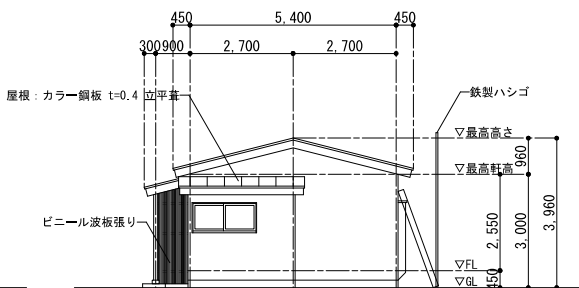
内部仕上表

[illegible]

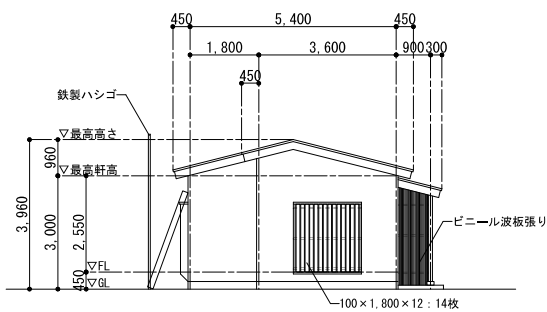
求積図 $S=1/100$



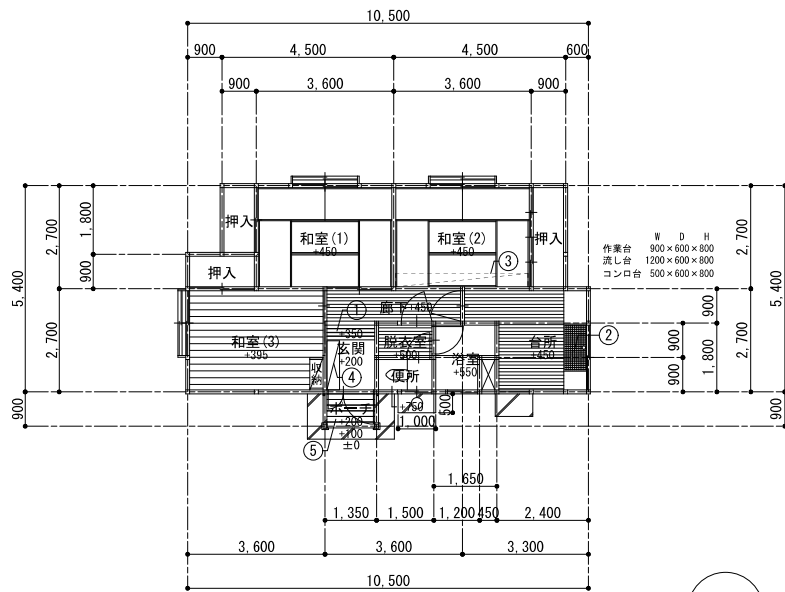
西立面图 S=1/100



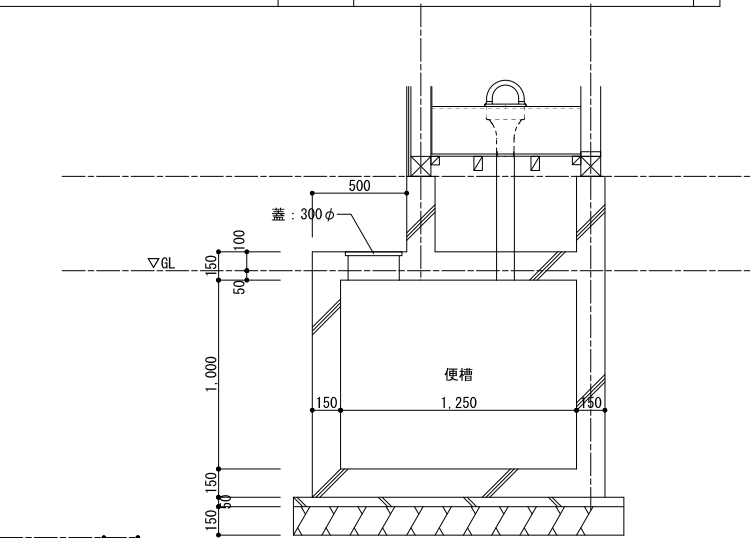
南立面图 S=1/100



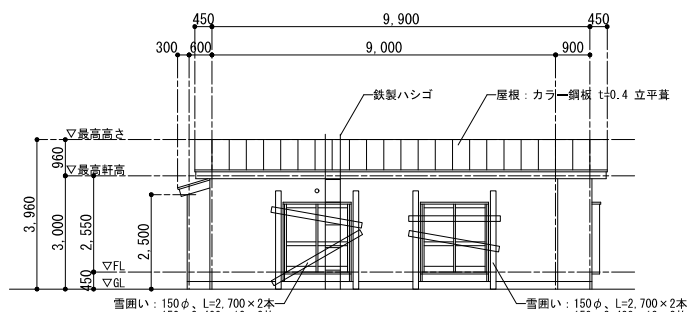
北立面图 S=1/100



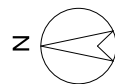
平面图 S=1/100



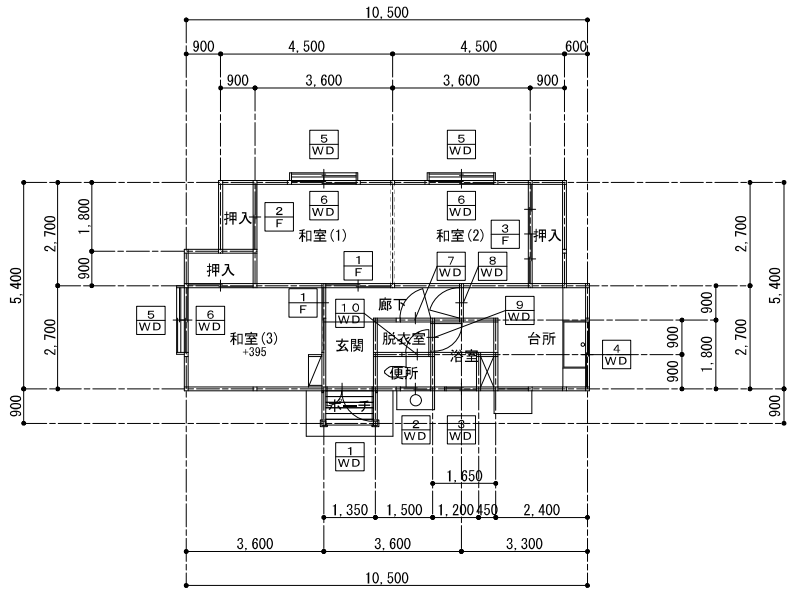
便槽断面图 S=1/20



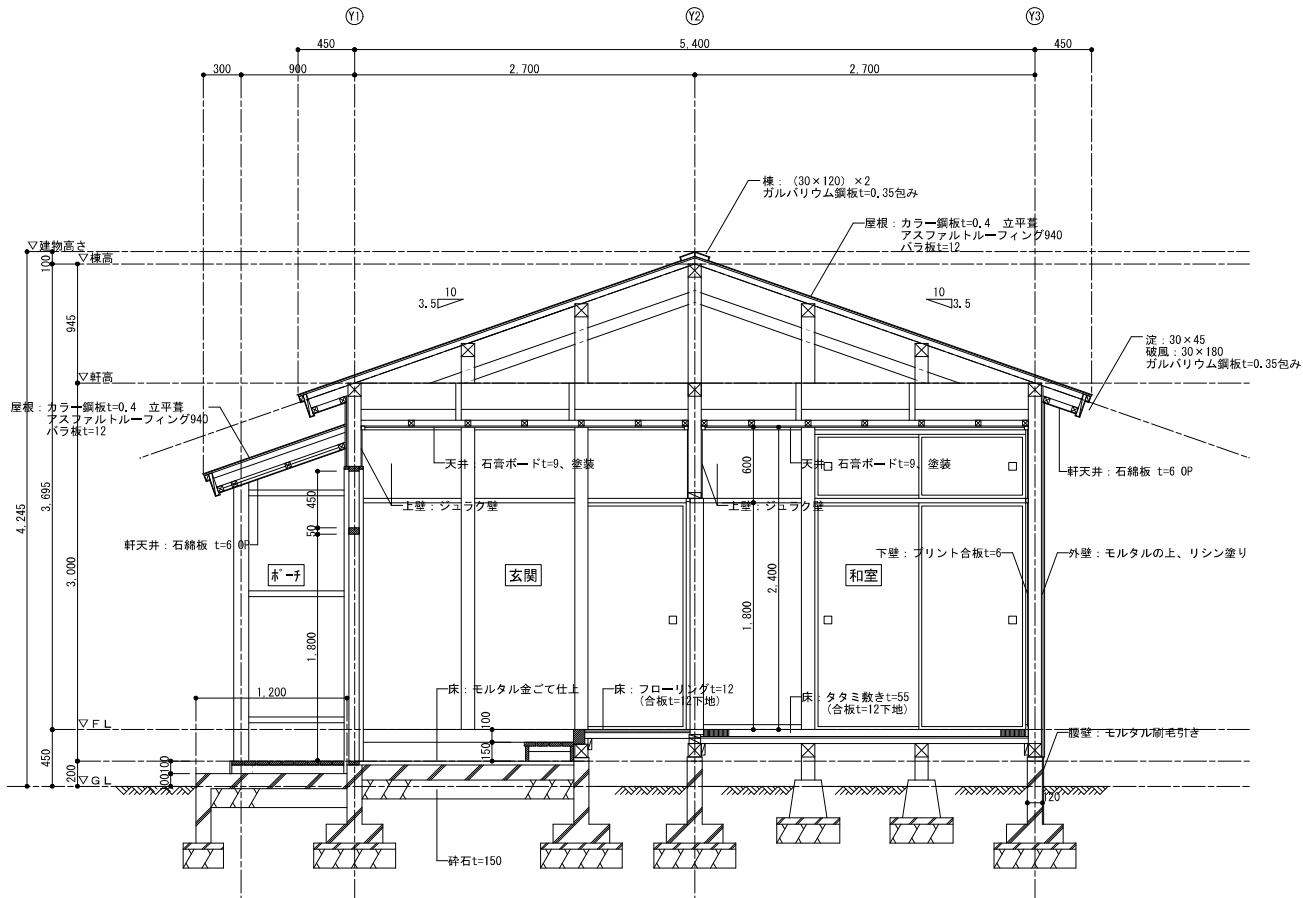
東立面図 S=1/100



- | | | | |
|---|-------|--------------------------|------|
| ① | 木製スノコ | W1, 200 × D400 × | H150 |
| ② | 流し台 | W2, 600 × D600 × | H800 |
| ③ | 木製棚 | W600 × D550 × | H640 |
| ④ | 木製棚 | W1, 300 × D330 × H1, 700 | |
| ④ | 木製スノコ | W1, 200 × D900 × | H100 |

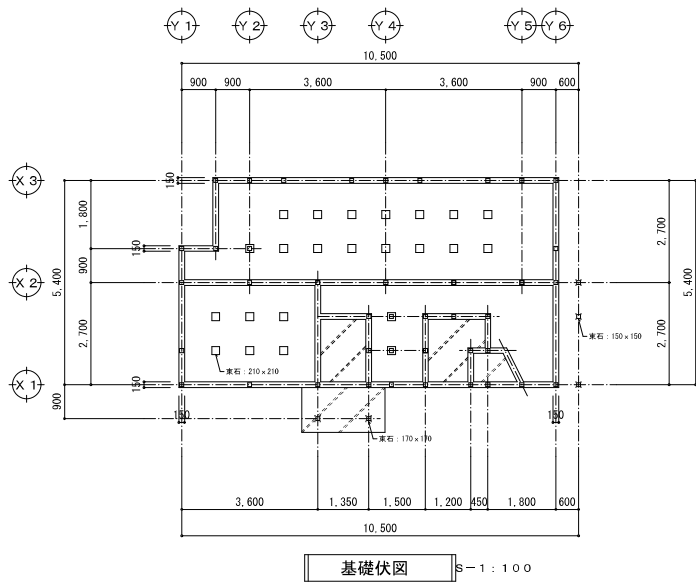


建具符号図 S=1/100

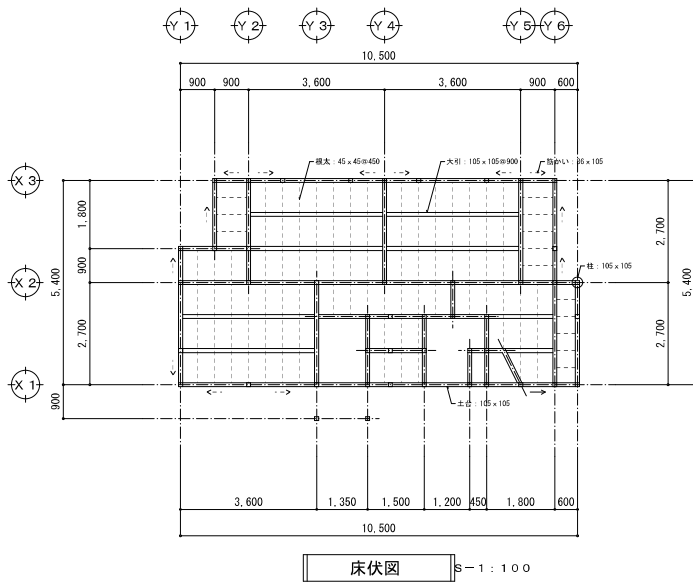


矩計図 (参考図) S=1/30

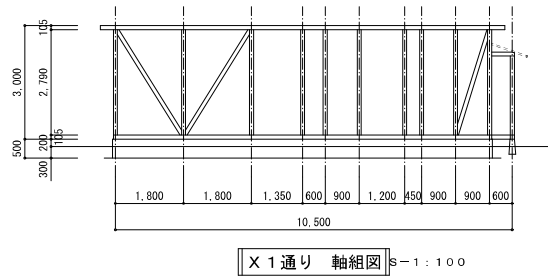
符号・個数	1WD × 1	2WD × 1	3WD × 1
場 所	玄関	便所	浴室
名 称	木製ランマ付親子扉	木製引き違い窓	木製引き違い窓
仕上・硝子	木製フラッシュ、FL-3	F-4	F-4
金 物	建錠、附属金物一式	施錠、附属金物一式	施錠、他附属金物一式
備 考	見込 36	見込 36	見込 36
符号・個数	4WD × 1	5WD × 3	6AW × 3
場 所	台所	和室(1)、(2)、(3)	和室(1)、(2)、(3)
名 称	木製引き違い窓	木製引き違い格戸	木製引き違い格子戸
仕上・硝子	F-4	FL-3	F-4
金 物	付属金物一式	施錠、付属金物一式	付属金物一式
備 考	見込 36	見込 40	見込 36
符号・個数	7WD × 1	8WD × 1	9WD × 1
場 所	廊下	廊下	浴室
名 称	木製片開き戸	木製片開き戸	木製片開き格戸
仕上・硝子	F-4	F-4	F-4
金 物	レバーハンドル、付属金物一式	レバーハンドル、付属金物一式	引手、付属金物一式
備 考	見込 36	見込 36	見込 40
符号・個数	10WD × 1		
場 所	便所		
名 称	木製片開き戸		
仕上・硝子	F-4		
金 物	レバーハンドル、付属金物一式		
備 考	見込 36		



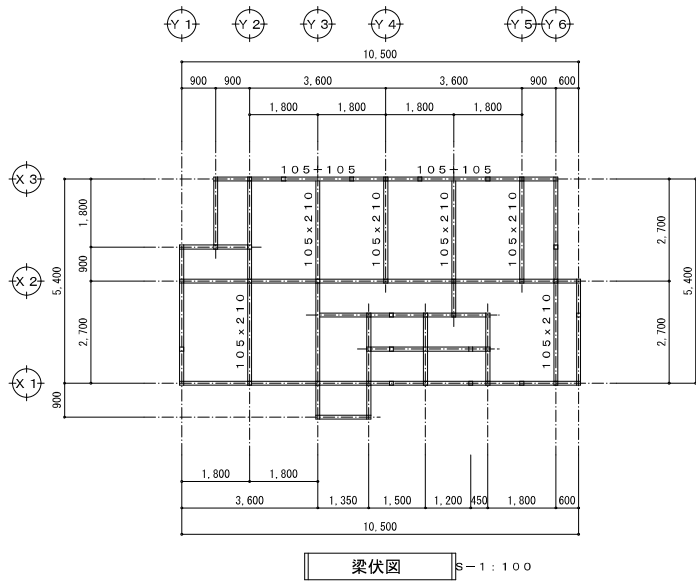
基礎伏図 S-1:100



床伏図 S-1:100

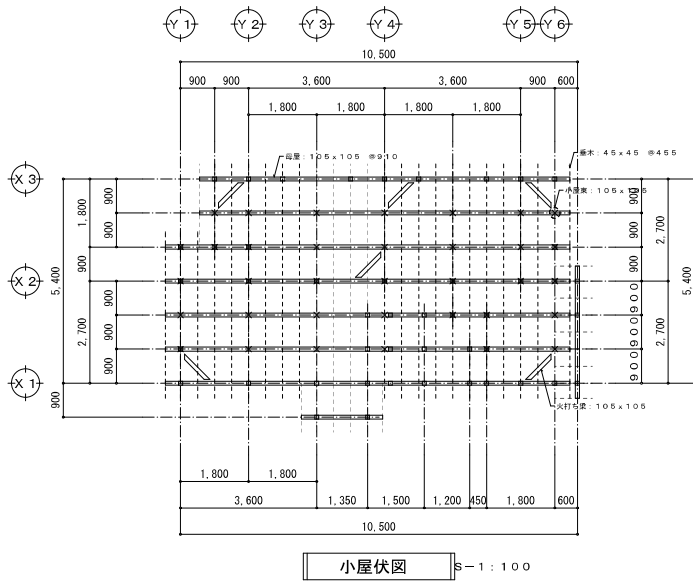


X 1 通り 軸組図 S-1:100

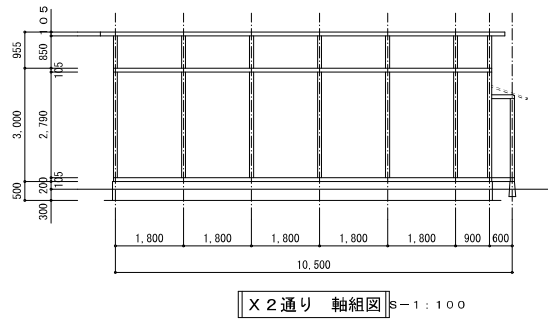


梁伏図 S-1:100

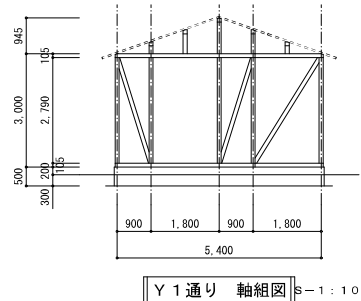
※ 特記以外は105×105



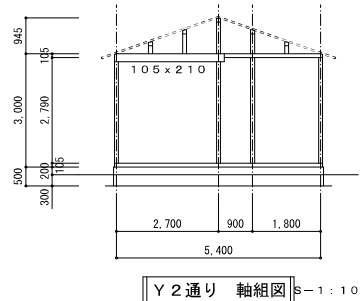
小屋伏図 S-1:100



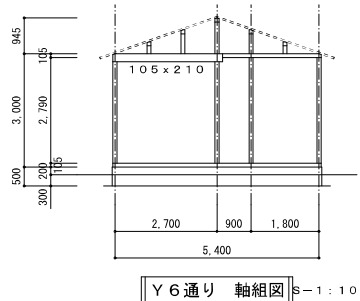
X 2 通り 軸組図 S-1:100



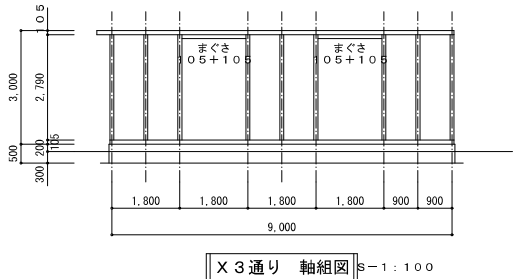
Y 1 通り 軸組図 S-1:100



Y 2 通り 軸組図 S-1:100

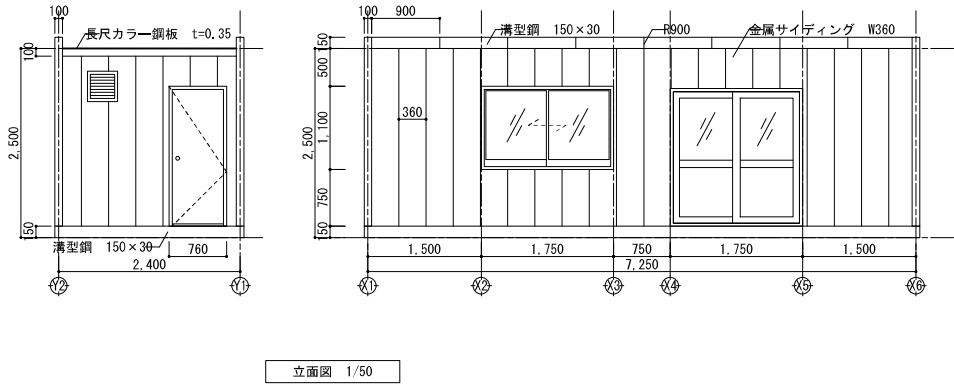
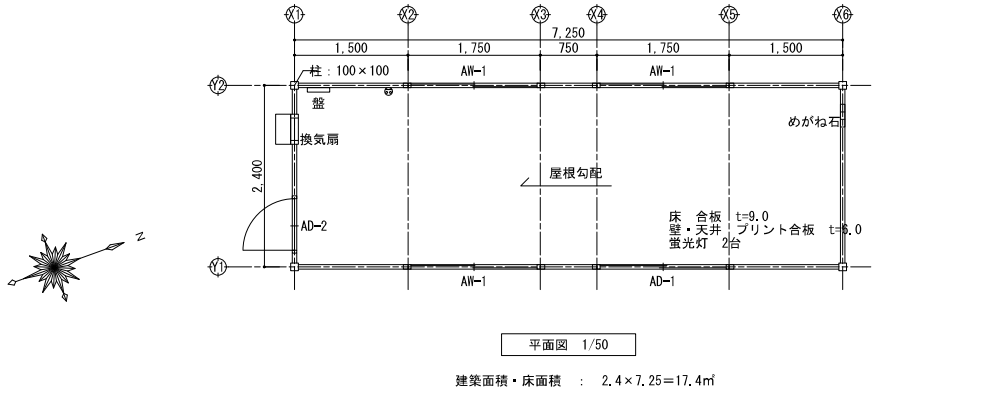


Y 6 通り 軸組図 S-1:100

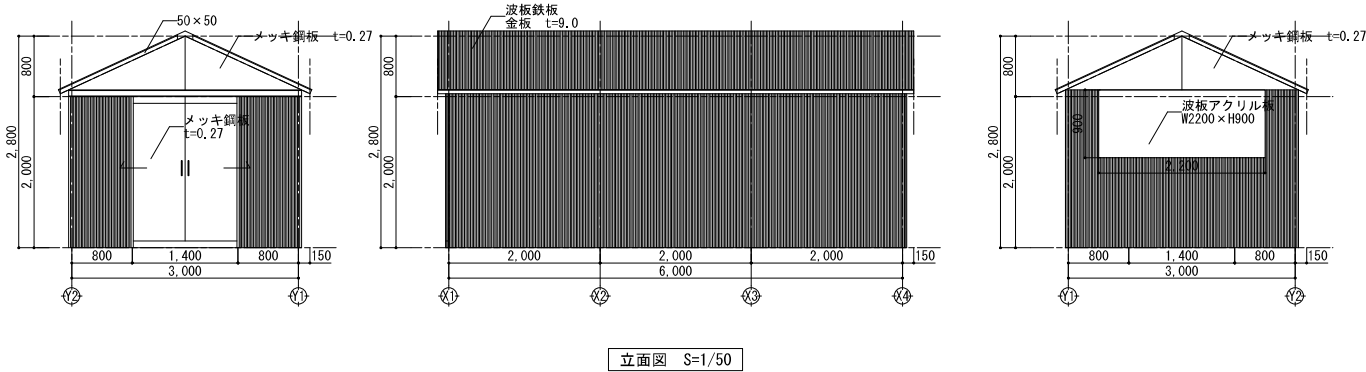
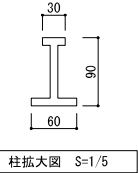
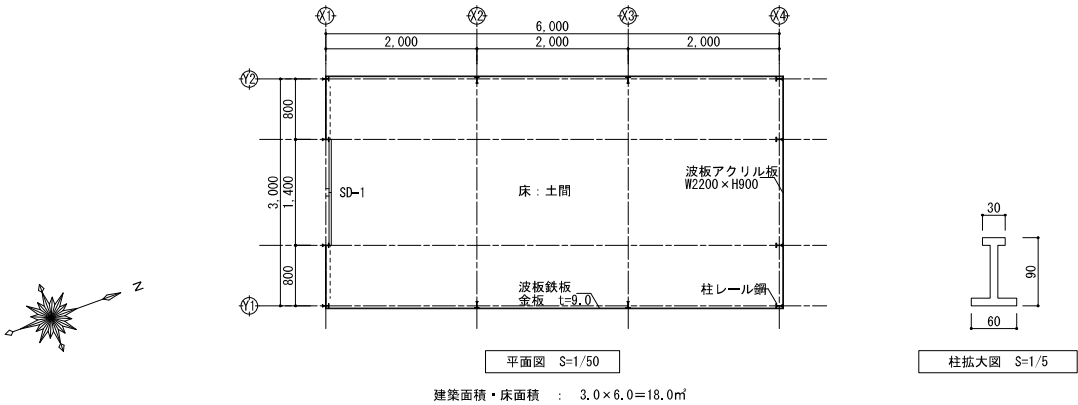


X 3 通り 軸組図 S-1:100

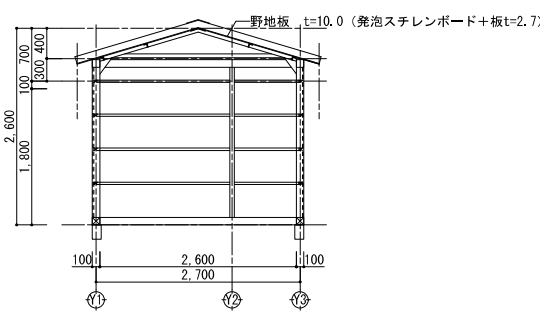
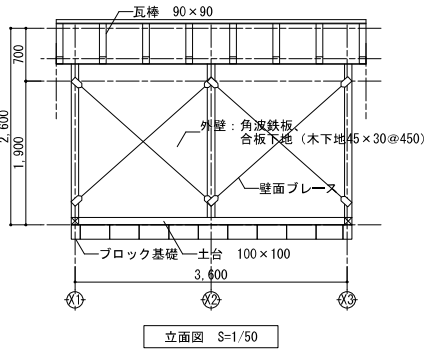
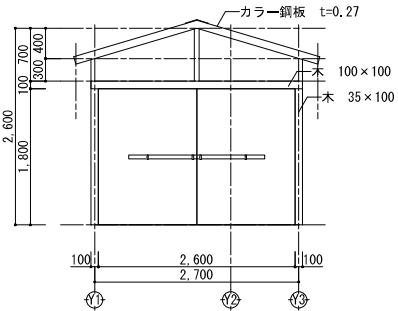
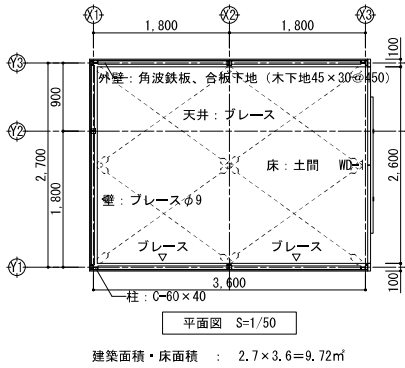
部材リスト				
基礎 無筋コンクリート	土台	105×105	柱	105×105
基礎巾 150	大引	105×105#910	桁	105×105
基礎高 500	床 梁	105×105#910	つなぎ	105×105
	梁 太	45×45#450	梁	105×210
	敷 板	t-12	間 柱	36×105
			まぐさ	105×105
			野地板	t-9



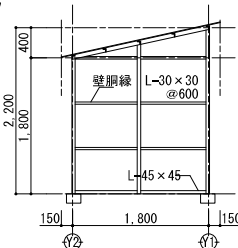
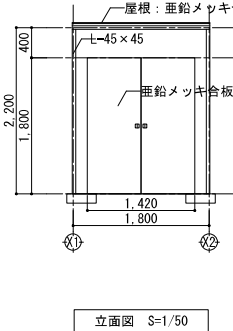
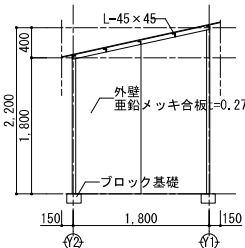
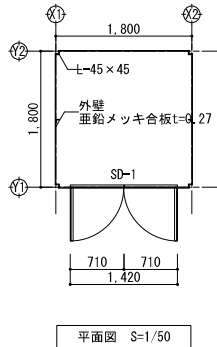
符号・個数	① AD	1カ所	② AD	1カ所	① AW	1カ所
場 所	〇〇		〇〇		〇〇	
姿 図	天井高 有効785以上 FL 1,750		天井高 FL 760		天井高 FL 1,750	
名 称	アルミ製引違い戸		アルミ製開き戸		アルミ製引違い窓	
仕上・硝子	ガラスFL-3 見込: 60		見込: 60		ガラスFL-3 見込: 60	
金 物	シリンダー錠、他付属金物一式		シリンダー錠、他付属金物一式		シリンダー錠、他付属金物一式	
備 考						



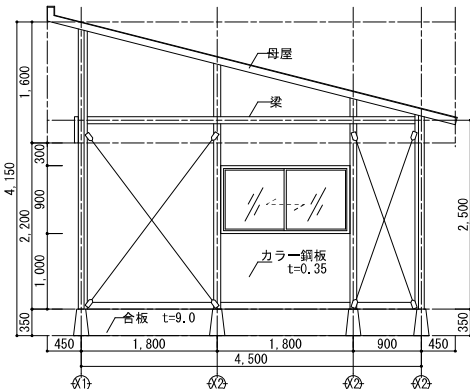
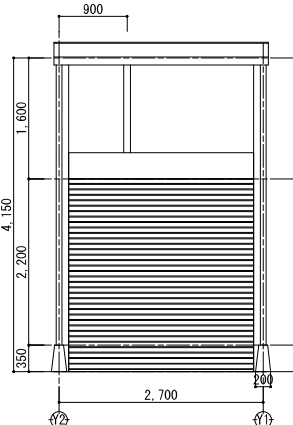
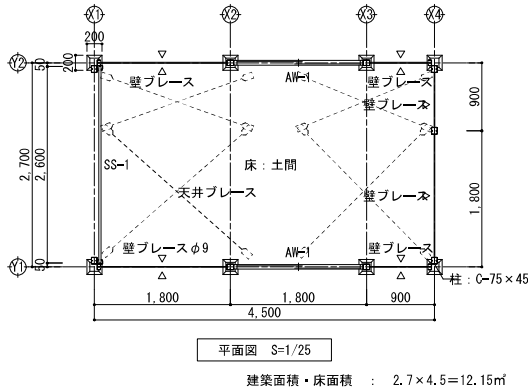
符号・個数	① SD	1カ所
場 所	〇〇	
姿 図	天井高 有効700以上 FL 1,400	
名 称	鋼製面引き戸	
仕上・硝子	メッキ鋼板 t=0.27 見込: 30	
金 物	南京錠、他付属金物一式	
備 考		



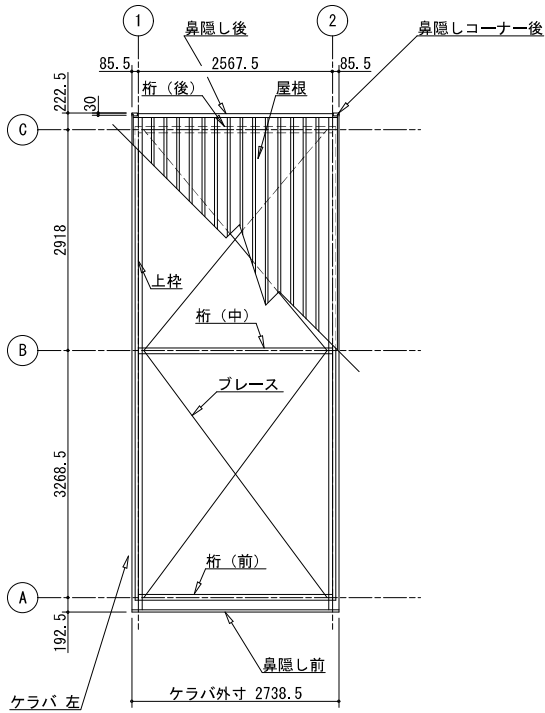
符号・個数	1 WD	1カ所
場 所	〇〇	
姿 図		
名 称	木製両開き戸	
仕上・硝子	合板 t=6.0下地、メッキ鋼板 35	
金 物	門錠、他付属金物一式	
備 考		



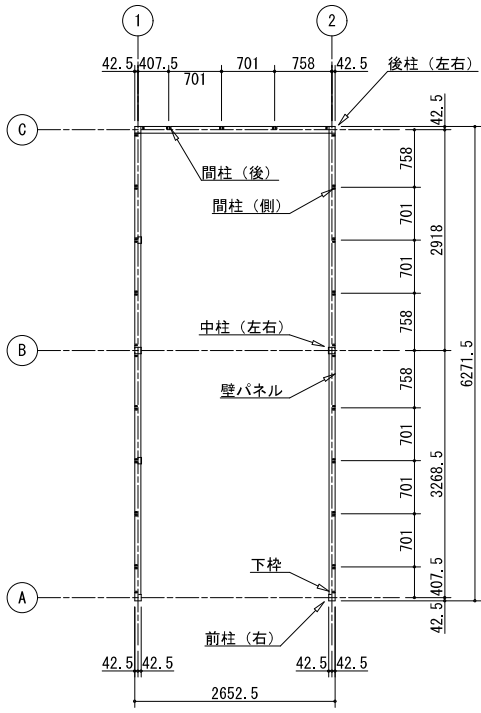
符号・個数	1 SD	1カ所
場 所	〇〇	
姿 図		
名 称	鋼製両開き戸	
仕上・硝子	垂鉛メッキ合板 見込: 30	
金 物	〇〇錠、他付属金物一式	
備 考	L-30×30組	



符号・個数	1 SS	1カ所	1 AW	1カ所
場 所	〇〇		〇〇	
姿 図				
名 称	鋼製シャッター		アルミ製引違い窓	
仕上・硝子	見込: 100		ガラスFL-4 見込: 100	
金 物	シリンドー錠、他付属金物一式		シリンドー錠、他付属金物一式	
備 考				



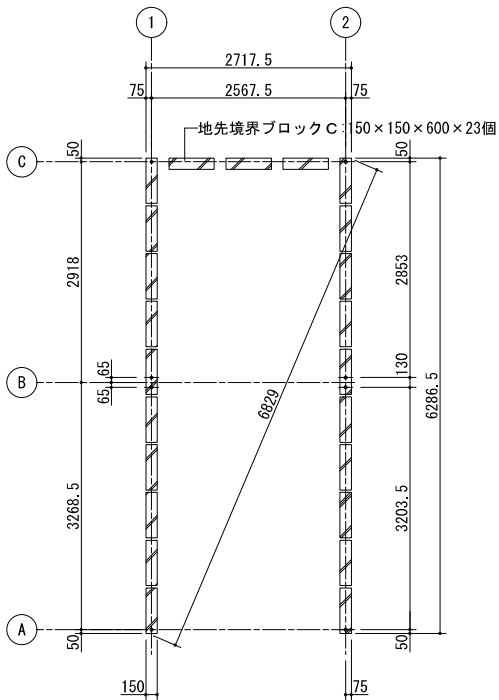
小屋伏図 (S= 1/ 50)



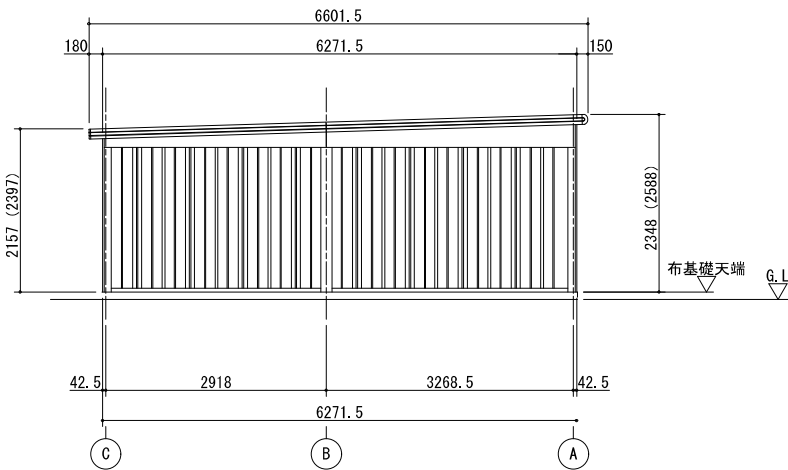
平面図 (S= 1/ 50)

建築面積	15.88㎡ (4.80坪)	(間口柱芯寸法) x (奥行柱芯寸法)		
構造耐力上主要な部分の部材				
部 材 名	形 状	板 厚	使用材料	有効細長比
前 柱	□-85 x 115	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	70.0
後 柱	□-115 x 115	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	55.0
中 柱 (左右)	□-85 x 84	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	76.6
桁 前	2-336.5 x 79	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	
桁 中	□-182.5 x 79	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	
桁 後	□-155 x 85	1.2mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板 CGLCC	
壁パネル	┐-25 x 701(350.5)	0.5mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板 CGLCC	
プレース	—	7.0 ^ッ	JIS G3101一般構造用圧延鋼材 SS400	
ターンバックル	—	7.0 ^ッ 用	JIS A5541建築用ターンバックル鋼 STKM	
アンカープレート	—	6.0mm 9.0mm	JIS G3101一般構造用圧延鋼材 SS400	

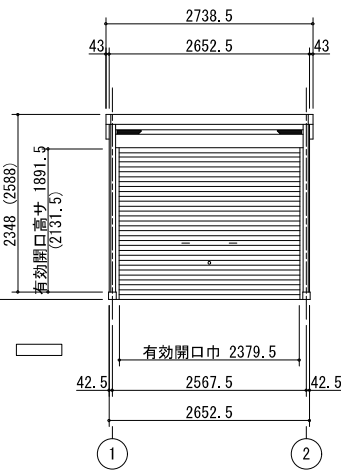
構造耐力上主要な部分以外の部材				
部 材 名	形 状	板 厚	使用材料	
上 桟	□-430 x 55	1.0mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板 CGLCC	
下 桟	□-81 x 64	1.0mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板 CGLCC	
中柱カバー	□-26 x 145	1.0mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板 CGLCC	
間 柱	□-31 x 24	1.2mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板 CGLCC	
屋 根	□-88 x 600	0.5mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板 CGLCC	
シャッターラット	□-14.5 x 71	0.5mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板 CGLCC	
鼻 隠 し 前	□-130 x 113	0.6mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板 CGLCC	
鼻 隠 し 後	□-122 x 48	0.5mm	塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板 (ツートンカラー)	
ケ ラ バ	□-130 x 135.5	0.5mm	塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板 (ツートンカラー)	



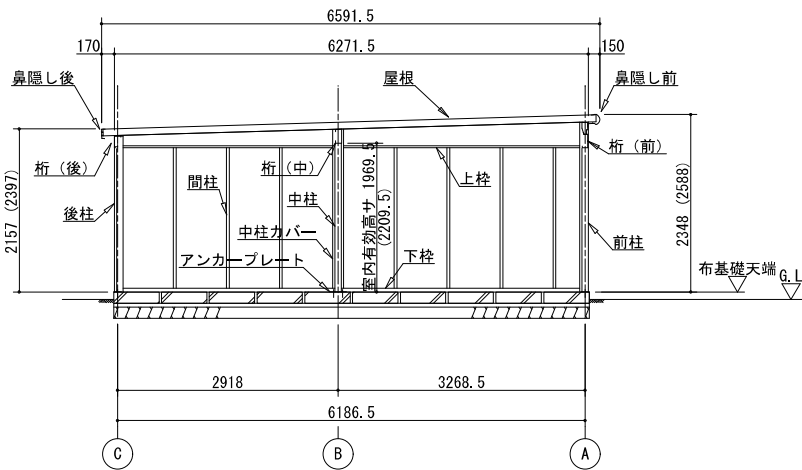
布基礎伏図 (S= 1/ 50)



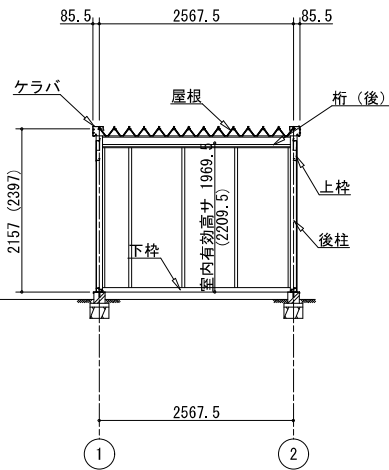
側面立面図 (S= 1/ 50)



正面立面図 (S= 1/ 50)



側面断面図 (S= 1/ 50)



正面断面図 (S= 1/ 50)

・ () 内寸法ハ、H タイプヲ示ス。
・ 有効高サハ、基礎高サヲ含ミマセン。

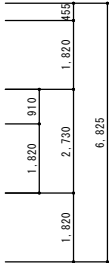
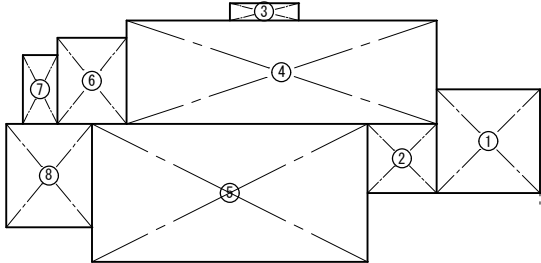
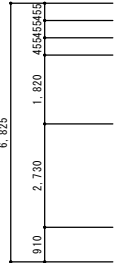
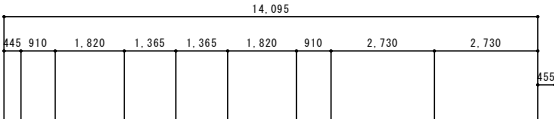
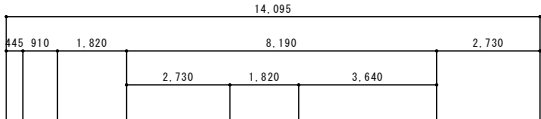
・ () 内寸法ハ、H タイプヲ示ス。
・ 有効高サハ、基礎高サヲ含ミマセン。

外 部 仕 上 表

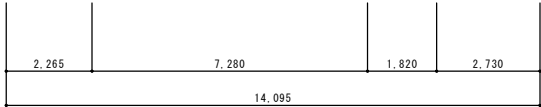
屋 根	カラー鋼板 t=0.4 立平葺 アスファルトルーフィング940 パラ板 t=12
軒天井	石綿板 t=6 OP
外 壁	縦羽目板 t=15 下見板 t=15
建 具	アルミ製サッシ 一部樹脂サッシ
水 切	無し
基 礎	モルタル刷毛引き
出入口床	モルタル金ゴテ
タラップ	W450×L5200 堅材 H型金物45×50 横材φ15
オイルタンク	設備工事にて撤去
テレビアンテナ	電気工事にて撤去

内 部 仕 上 表

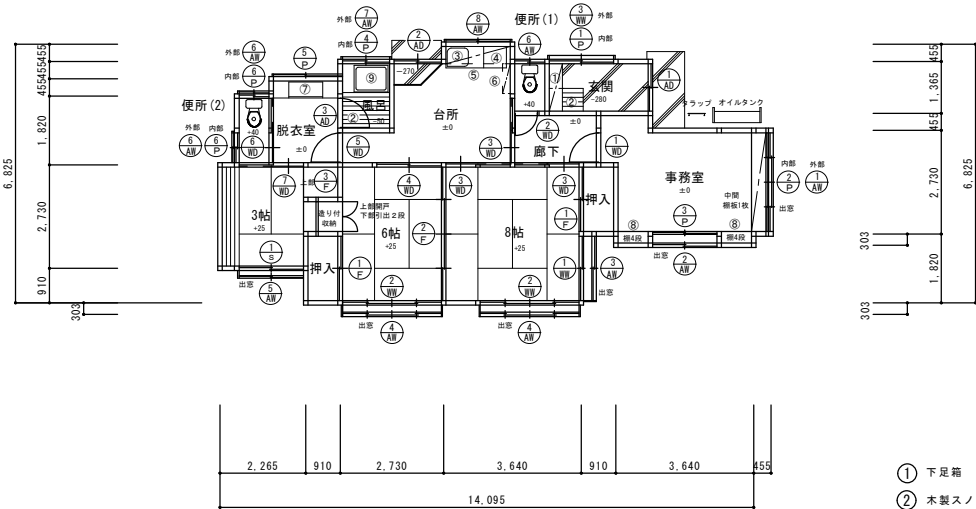
室 名	床			巾 木		壁		天 井				備 考		
	下 地	仕 上	高 さ		高 さ	下 地	仕 上	下 地	廻り縁	仕 上	天井高			
玄 関	1 コンクリート	モルタル金ゴテ仕上	-280	木製 10×115	115	木 組	ビニールクロス 石膏ボード t=12下地	木 組	木製 20×20	ビニールクロス 石膏ボード t=9下地	2,640	① 下足箱	② スノコ	1
廊 下	2 木 組	複合フローリング t=12	±0	木製 25×35	35	木 組	ビニールクロス 石膏ボード t=12下地	木 組	塩ビ製	ビニールクロス 石膏ボード t=9下地	2,380			2
事務室	3 木 組	複合フローリング t=12	±0	木製 25×35	35	木 組	ビニールクロス 石膏ボード t=12下地	木 組	塩ビ製	既存化粧石膏ボードt=9 木下地組45×45の上 ビニールクロス 石膏ボード t=9下地	2,310	天井点検口アルミ枠450×450 メガネ石 300×300		3
便所（1）	4 木 組	複合フローリング t=12	+40	木製 10×45	45	木 組	ビニールクロス 石膏ボード t=12下地	木 組	木製 20×20	ビニールクロス 石膏ボード t=9下地	2,340			4
台 所	5 木 組	複合フローリング t=12	±0	木製 10×25	25	木 組	ビニールクロス 石膏ボード t=12下地	木 組	塩ビ製	ビニールクロス 石膏ボード t=9下地	2,360	③ 流し台	④ コンロ台	5
脱衣室	6 木 組	複合フローリング t=12	±0	木製 10×25	25	木 組	ビニールクロス 石膏ボード t=12下地	木 組	塩ビ製	ビニールクロス 石膏ボード t=9下地	2,360	⑤ 吊戸棚	⑥ 水切棚	6
風 呂	7 コンクリート	モルタル金ゴテ仕上	スノコ面 -50	モルタル金ゴテ仕上 OP塗装		木 組	白モルタル ヒバ縁甲板 t=12	木 組	木製 20×20	ヒバ縁甲板 t=12	2,380	② スノコ	⑨ 浴槽	7
便所（2）	8 木 組	複合フローリング t=12	+40	木製 10×60	60	木 組	ビニールクロス 石膏ボード t=12下地	木 組	塩ビ製	ビニールクロス 石膏ボード t=9下地	2,330			8
8 帖	9 木 組	タタミ敷 t=55	+25	タタミ寄せ10×40	40	木 組	ビニールクロス 石膏ボード t=12下地	木 組	塩ビ製	ビニールクロス 石膏ボード t=9下地	2,340	メガネ石 300×300		9
押 入	10 木 組	木板	+25	雑巾ズリ 20×20	20	木 組	木板	木 組	木製 20×20	木板	2,340	下段・上段・天袋		10
6 帖	11 木 組	タタミ敷 t=55	+25	タタミ寄せ10×40	40	木 組	ビニールクロス 石膏ボード t=12下地	木 組	塩ビ製	ビニールクロス 石膏ボード t=9下地	2,340	造り付収納		11
押 入	12 木 組	木板	+25	雑巾ズリ 20×20	20	木 組	木板	木 組	木製 20×20	木板	2,340	下段・上段・天袋		12
3 帖	13 木 組	タタミ敷 t=55 一部板の間	+25	タタミ寄せ10×40	40	木 組	ビニールクロス 石膏ボード t=12下地	木 組	塩ビ製	ビニールクロス 石膏ボード t=9下地	2,340			13
押 入	14 木 組	木板	+25	雑巾ズリ 20×20	20	木 組	木板	木 組	木製 20×20	木板	2,340	下段・上段・天袋		14



番号	計 算 式	
①	2.730 × 2.730 =	7.4529
②	1.820 × 1.820 =	3.3124
③	1.820 × 0.455 =	0.8281
④	8.190 × 2.730 =	22.3587
⑤	7.280 × 3.640 =	26.4992
⑥	1.820 × 2.275 =	4.1405
⑦	0.910 × 1.820 =	1.6562
⑧	2.265 × 2.730 =	6.18345
計		72.43145
	改め床面積	72.43㎡

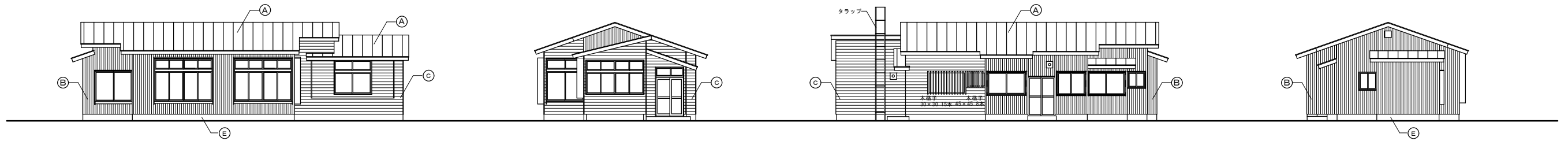


求 積 図 S=1/100



平 面 図 S=1/100

- ① 下足箱 W1270×D350×H770
- ② 木製スノコ
- ③ 流し台 W1000×D550×H800 バックD=100
- ④ コンロ台 W600×D550×H600 バックD=100
- ⑤ 吊戸棚 W1720×D600×H600
- ⑥ 水切棚 W780×D250×H720
- ⑦ 洗面台（上端鋼板OP）W1670×D450×H750 バックD=120
- ⑧ 棚板 木製
- ⑨ 浴槽 900×700×600 FL-380



西立面図 S=1/100

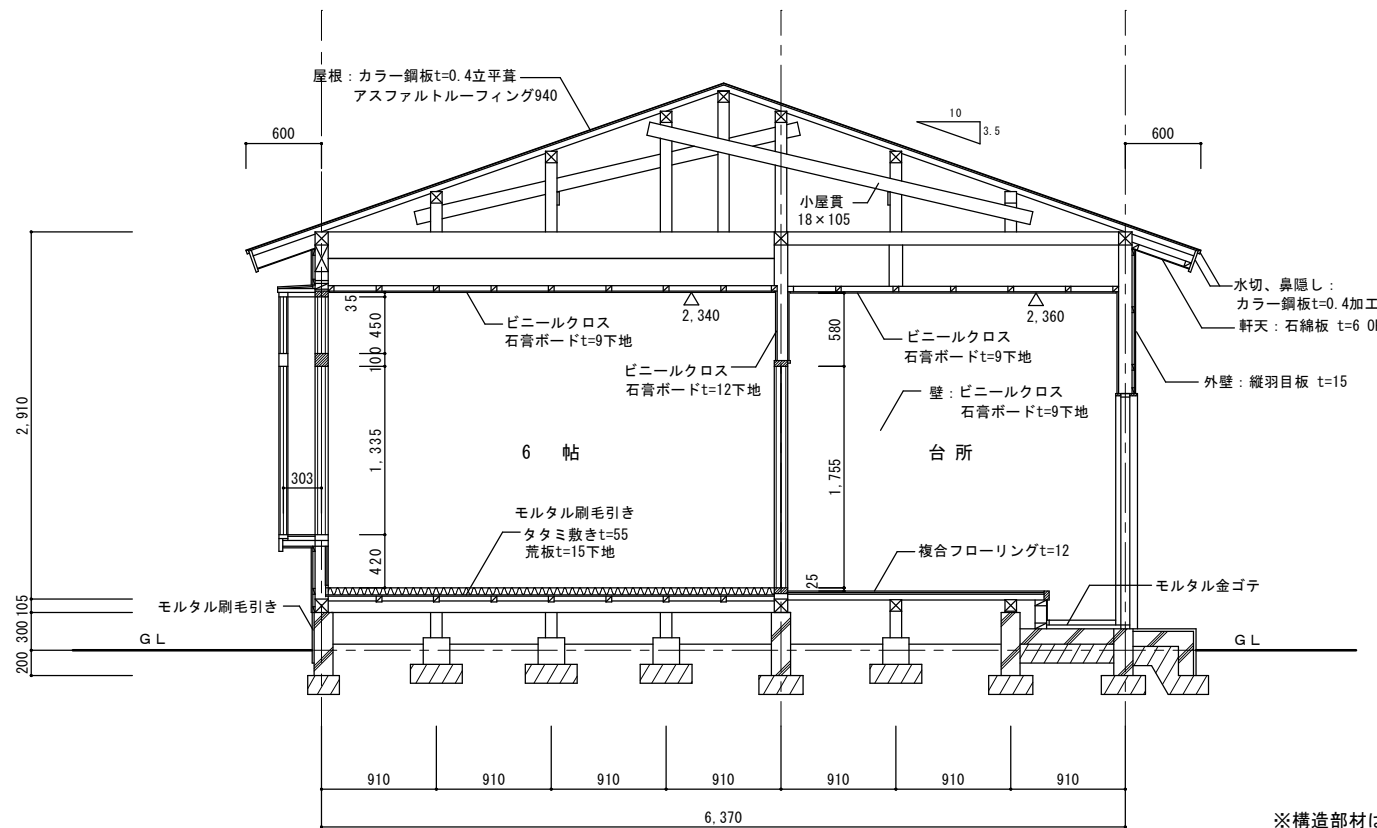
北立面図 S=1/100

東立面図 S=1/100

南面図 S=1/100

立面図凡例

- ① カラー鋼板 t=0.4 立平葺
- ② 縦羽目板 t=15
- ③ 下見板 t=15
- ④ モルタル刷毛引き



※構造部材は構造図参照

断面詳細図 S=1/30

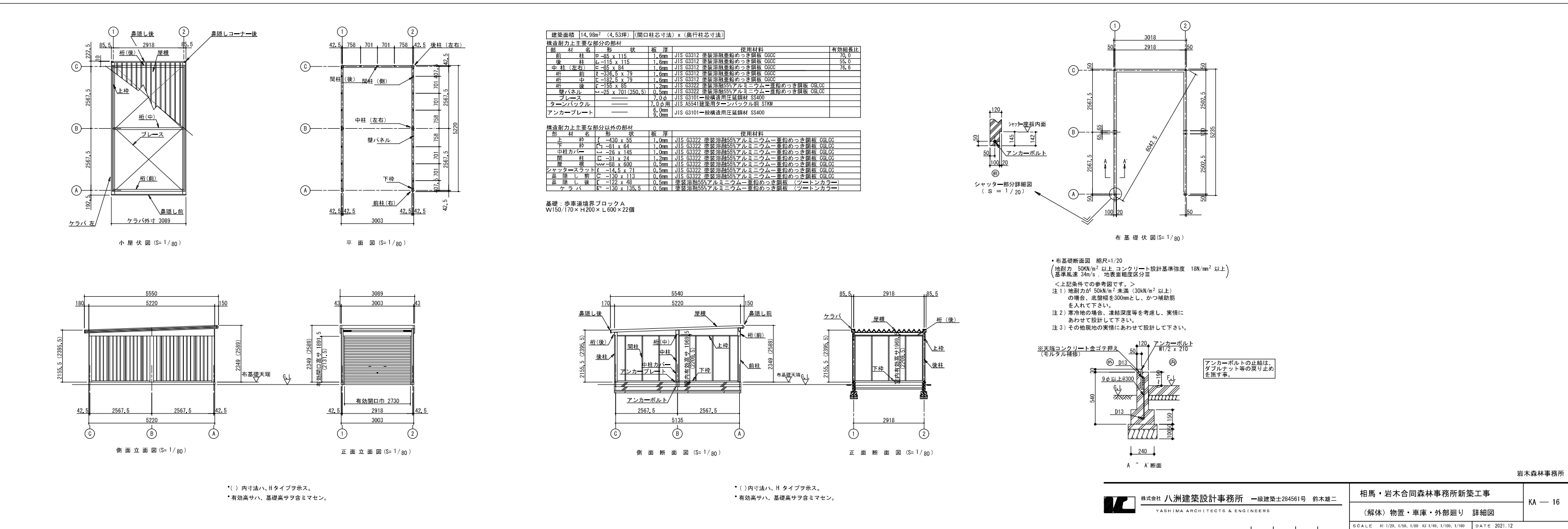
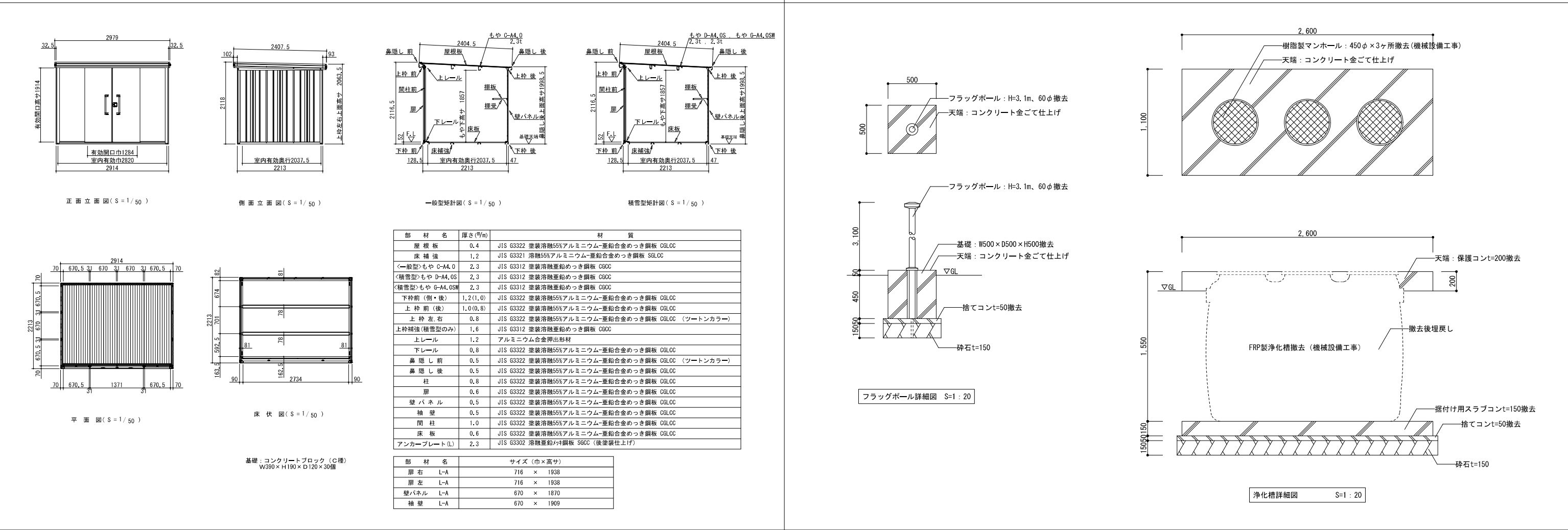
建具表 S=1/ 100

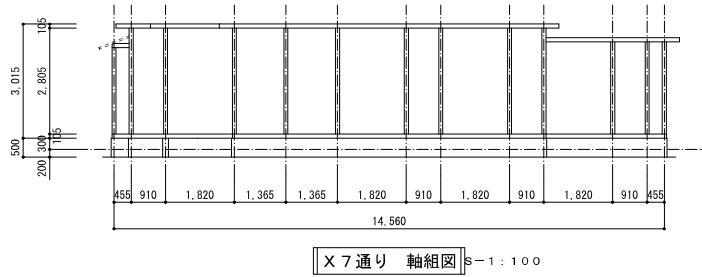
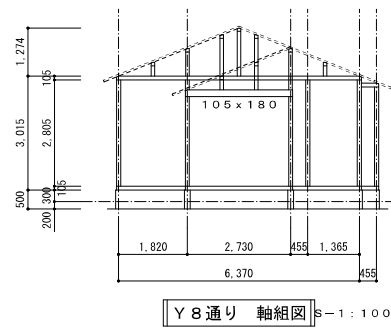
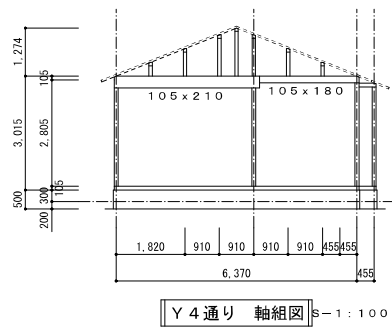
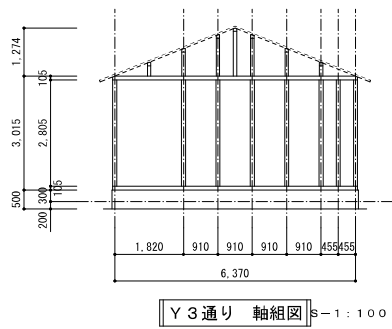
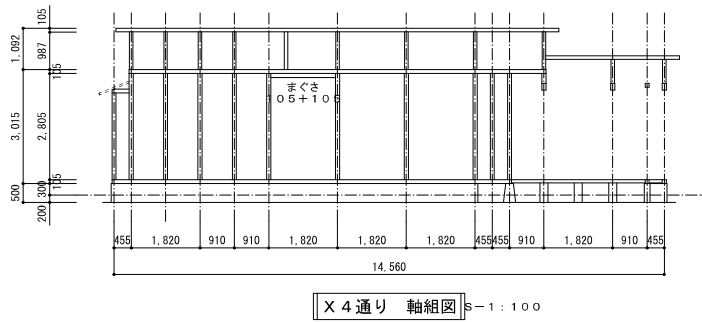
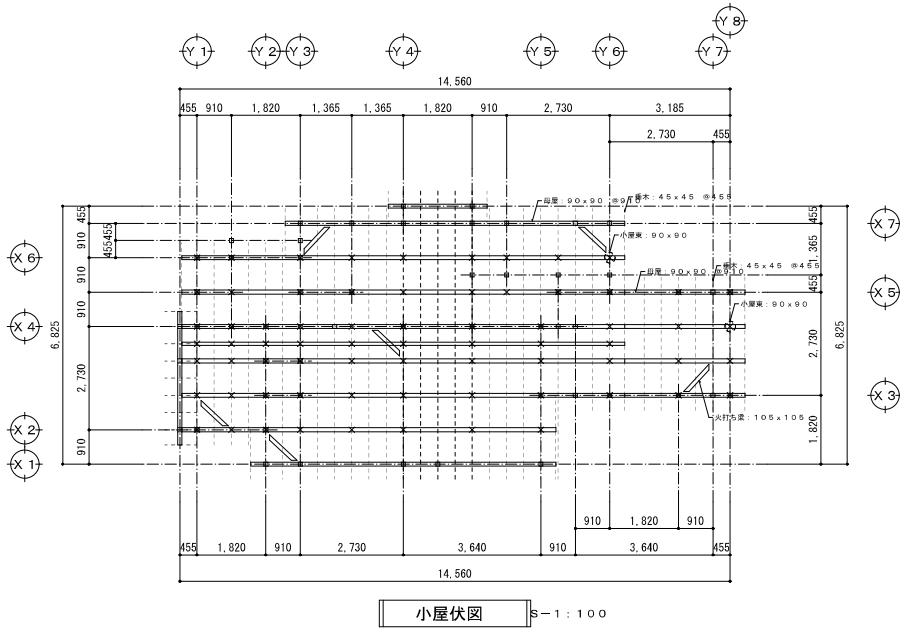
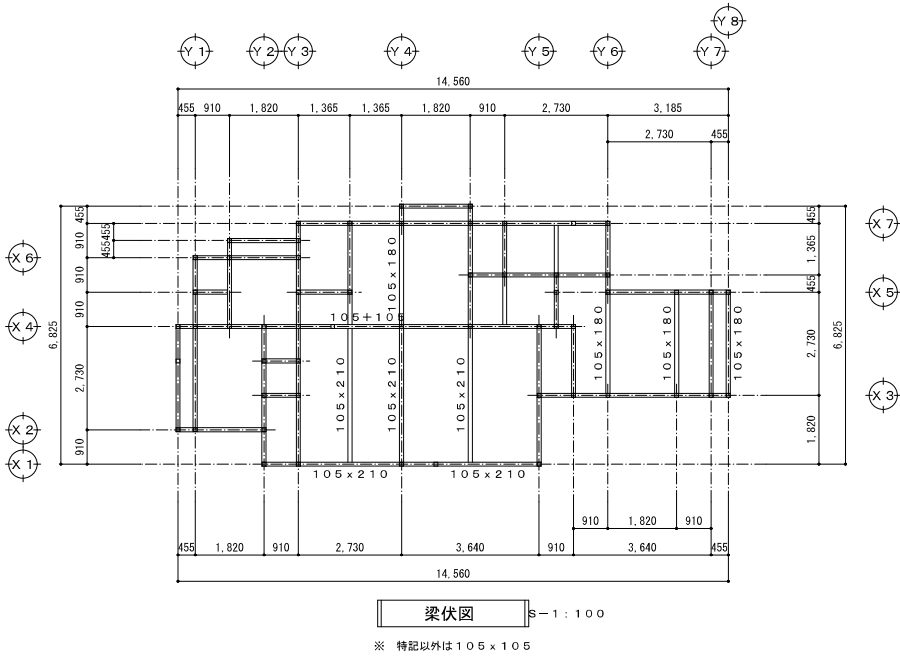
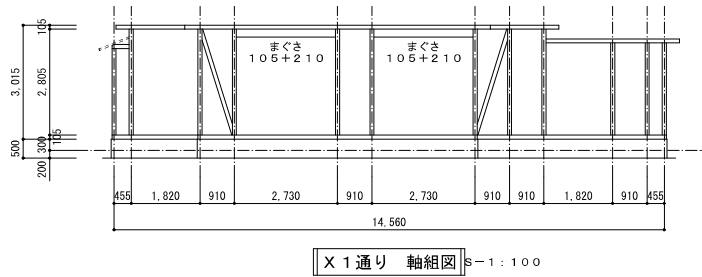
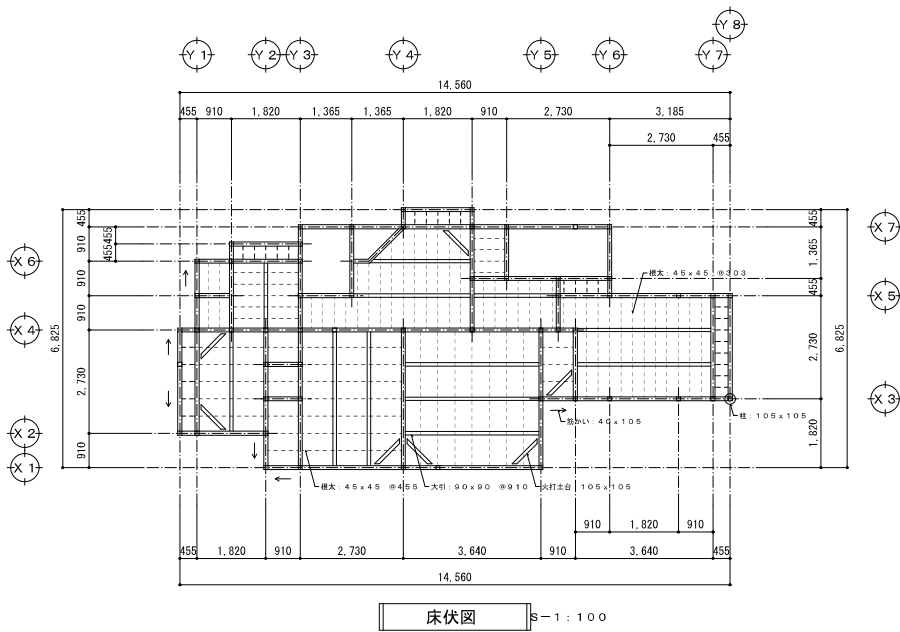
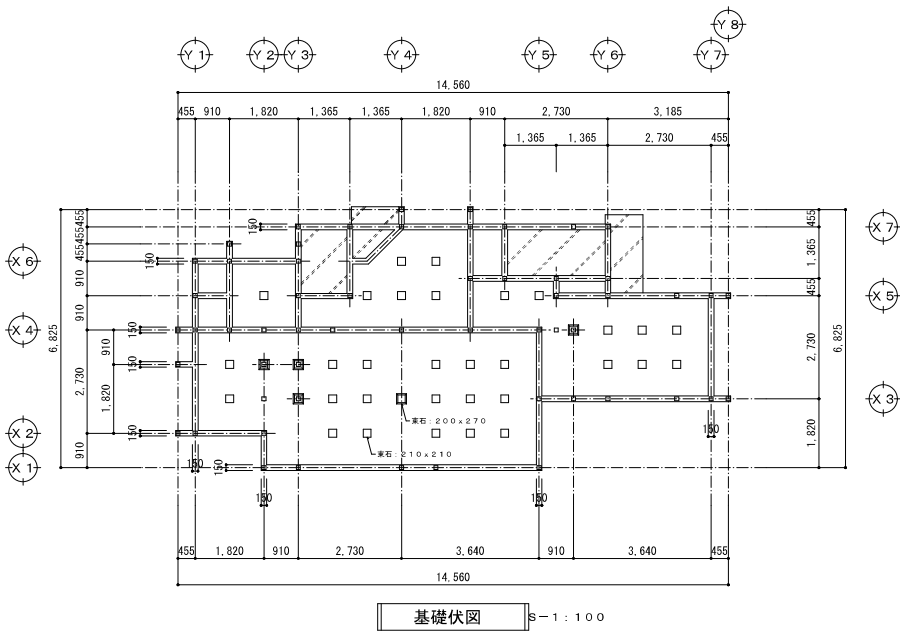
符号・個数	① AD	1ヶ所	② AD	1ヶ所	③ AD	1ヶ所		① P	1ヶ所	② P	1ヶ所	③ P	1ヶ所	④ P	1ヶ所	⑤ P	1ヶ所	⑥ P	2ヶ所
場 所	玄 関		台 所		風 呂			玄 関		事務室		事務室		風 呂		脱衣室		便 所	
姿 図																			
名 称	ランマ付 引違戸		引違戸		型開き扉			引違窓		引違窓		引違窓		引違窓		引違窓		引違窓	
仕上・硝子	アルミ製 ・3mmトーメイ		アルミ製 ・3mmトーメイ		アルミ製 ・型ガラス			樹脂サッシ ・3mmトーメイ		樹脂サッシ ・型ガラス		樹脂サッシ ・型ガラス		樹脂サッシ ・型ガラス		樹脂サッシ ・型ガラス		樹脂サッシ ・型ガラス	
金 物	シリンダー錠、引手、付属金物一式		シリンダー錠、引手、付属金物一式		空錠、付属金物一式			クレセント、付属金物一式		クレセント、付属金物一式		クレセント、付属金物一式		クレセント、付属金物一式		クレセント、付属金物一式		クレセント、付属金物一式	
備 考	腰アルミパネル		腰アルミパネル																

符号・個数	① AW	1ヶ所	② AW	1ヶ所	③ AW	1ヶ所	④ AW	2ヶ所	⑤ AW	1ヶ所	⑥ AW	3ヶ所	⑦ AW	1ヶ所	⑧ AW	1ヶ所		
場 所	事務室		事務室		8 帖		8 帖 6 帖		3 帖		便所 (1) (2)		風 呂		台 所			
姿 図																		
名 称	ランマ付 4枚引違窓		ランマ付 引違窓		ランマ付 引違窓		ランマ付 4枚引違窓		引違窓		引違窓		引違窓		引違窓			
仕上・硝子	アルミ製 ・3mmトーメイ		アルミ製 ・3mmトーメイ		アルミ製 ・3mmトーメイ		アルミ製 ・3mmトーメイ		アルミ製 ・3mmトーメイ		アルミ製 ・3mmトーメイ		アルミ製 ・3mmトーメイ		アルミ製 ・3mmトーメイ			
金 物	クレセント、付属金物一式		クレセント、付属金物一式		クレセント、付属金物一式		クレセント、付属金物一式		クレセント、付属金物一式		クレセント、付属金物一式		クレセント、付属金物一式		クレセント、付属金物一式			
備 考	網戸				網戸		網戸				網戸				網戸			

符号・個数	① WD	1ヶ所	② WD	1ヶ所	③ WD	3ヶ所	④ WD	1ヶ所	⑤ WD	1ヶ所	⑥ WD	1ヶ所	⑦ WD	1ヶ所		① S	1ヶ所	
場 所	事務室		便所 (1)		台 所 8 帖 3 帖		6 帖		脱衣室		便所 (2)		3 帖			3 帖		
姿 図																		
名 称	片開扉		片開扉		片引戸		引違戸		片開扉		片引戸		片引戸			引違戸		
仕上・硝子	メラミン化粧板 フラッシュ戸		ベニヤOS フラッシュ戸		化粧ガラス 枠カシュー塗装		化粧ガラス 枠カシュー塗装		ベニヤOS フラッシュ戸		ベニヤOS フラッシュ戸		ベニヤ下地クロス貼り フラッシュ戸			障子貼 枠カシュー塗装		
金 物	シリンダー錠、丁番		握り玉、丁番、カマ錠		引手		引手		握り玉、丁番		引手、カマ錠		引手			引手		
備 考																		

符号・個数	① F	2ヶ所	② F	1ヶ所	③ F	1ヶ所			① VW	1ヶ所	② VW	2ヶ所	③ VW	1ヶ所			
場 所	押 入		8帖～6帖		3 帖				8 帖		8 帖 6 帖		玄 関				
姿 図																	
名 称	戸袋付き、引違戸		4枚引違戸		片開戸袋				ランマ付 引違窓		ランマ付 引違窓		引違窓				
仕上・硝子	新鳥の子貼り 枠カシュー塗装		クロス貼り 枠カシュー塗装		新鳥の子貼り 枠カシュー塗装				木製白木 ・型ガラス		木製白木 ・型ガラス		木製白木 ・型ガラス ・3mmトーメイ				
金 物	引手		引手		引手、キャッチ金物				引手		引手		引手				
備 考																	



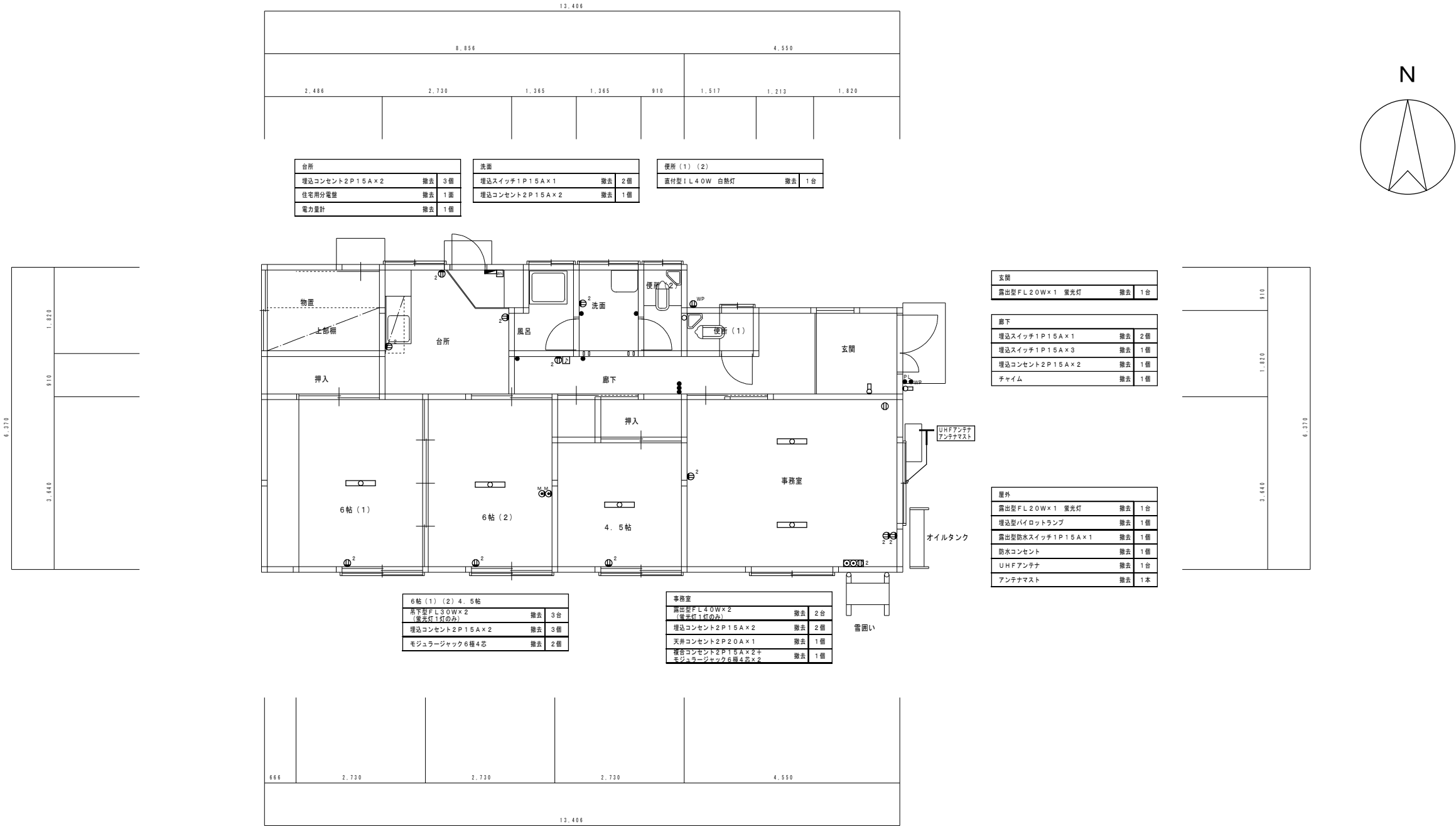


部材リスト			
基礎 無筋コンクリート	土台 105×105	柱 105×105	小屋梁 105×105
基礎巾 150	火打土台 90×90	桁 105×105	母屋 105×105@910
基礎高 500	大引 90×90@910	つなぎ 105×105	番木 45×60@455
	床束 90×90@910	梁 105×180, 210	火打梁 90×90
	梁太 45×45@455 (置)	間柱 36×105	野地板 t=9
	梁太 45×45@303 (フロー)	まぐき 105×105	
	敷板 t=15	まぐき 105×150	

相馬・岩木合同森林事務所新築工事

取りこわし特記仕様書（電気設備）

Ⅰ．工事概要			
１．工事場所	取りこわし特記仕様書（建築工事）による。		
２．敷地面積	取りこわし特記仕様書（建築工事）による。		
３．工事種目	１）事務所	電気設備	取りこわし一式
	２）住宅	電気設備	取りこわし一式
	３）－	ホ）電気設備	取りこわし一式
Ⅱ．工事仕様			
１．共通仕様			
取りこわし特記仕様書（建築工事）による。			
２．特記仕様（●印のものを適用し、○印のものは適用しない）			
（１）一般共通事項			
● 発生材の種類、処理等は工事補足説明事項による。			
● 分析調査			
○ 有り			
○ 微量ＰＣＢ含有調査（			
○ アスベスト含有調査（			
○			
● 無し（解体共通仕様書による「施工調査」の結果、分析調査の必要が生じた場合は監督職員と協議すること。）			
（２）取りこわし内容			
● 図示された機器類、配管配線、ケーブルの解体を行う。（地下埋設物、埋設配管を含む）			
● 下記の廃棄物等及び機器類は内外装材の解体前に取外し又は回収する。			
これ以外の配管配線、機器類はコンクリート及び内外装材と同時に解体してよい。			
１）廃棄物等（「施工調査」の結果、●印以外の廃棄物等が確認された場合は監督職員と協議すること。）			
再資源化を図るもの			
○ 小型二次電池			
● 蛍光ランプ及びＨＩＤランプ（水銀リサイクル共）			
○			
特別管理産業廃棄物			
○ アスベスト含有材（○			
○ ＰＣＢ含有機器（○蛍光灯安定器○変圧器○			
○ 廃油（○			
○ 廃アルカリ（○アルカリ蓄電池○			
特殊な建設副産物			
○ イオン化式感知器			
○ 六ふっ化硫黄（SF6）ガス（○ガス絶縁開閉器○			
２）機器類			
○ 受変電盤			
○ 直流電源装置			
○ 発電装置			
○			



事務所電気設備撤去図 S=1:50

和室（3）			
露出スイッチ1P15A×1	撤去	1個	
天井コンセント2P15A×1	撤去	1個	
埋込コンセント2P15A×2	撤去	1個	

和室（1）			
吊下型FCL40W+30W 蛍光灯	撤去	1台	
露出コンセント2P15A×2	撤去	1個	

和室（2）			
吊下型FCL40W+30W 蛍光灯	撤去	1台	

廊下			
直付型1L40W 白熱灯	撤去	1台	
露出スイッチ1P15A×1	撤去	1個	

玄関			
露出スイッチ1P15A×1	撤去	1個	

台所			
露出型FL30W×2 蛍光灯	撤去	1台	
露出コンセント2P15A×2	撤去	1個	

屋外			
防水コンセント	撤去	1個	
UHFアンテナ	撤去	1本	
VHFアンテナ	撤去	1本	
アンテナマスト	撤去	1本	
引込柱 3m	撤去	1本	

脱衣室			
直付型1L40W 照明器具のみ	撤去	1台	
露出スイッチ1P15A×1	撤去	1個	

便所			
直付型1L40W 白熱灯	撤去	1台	

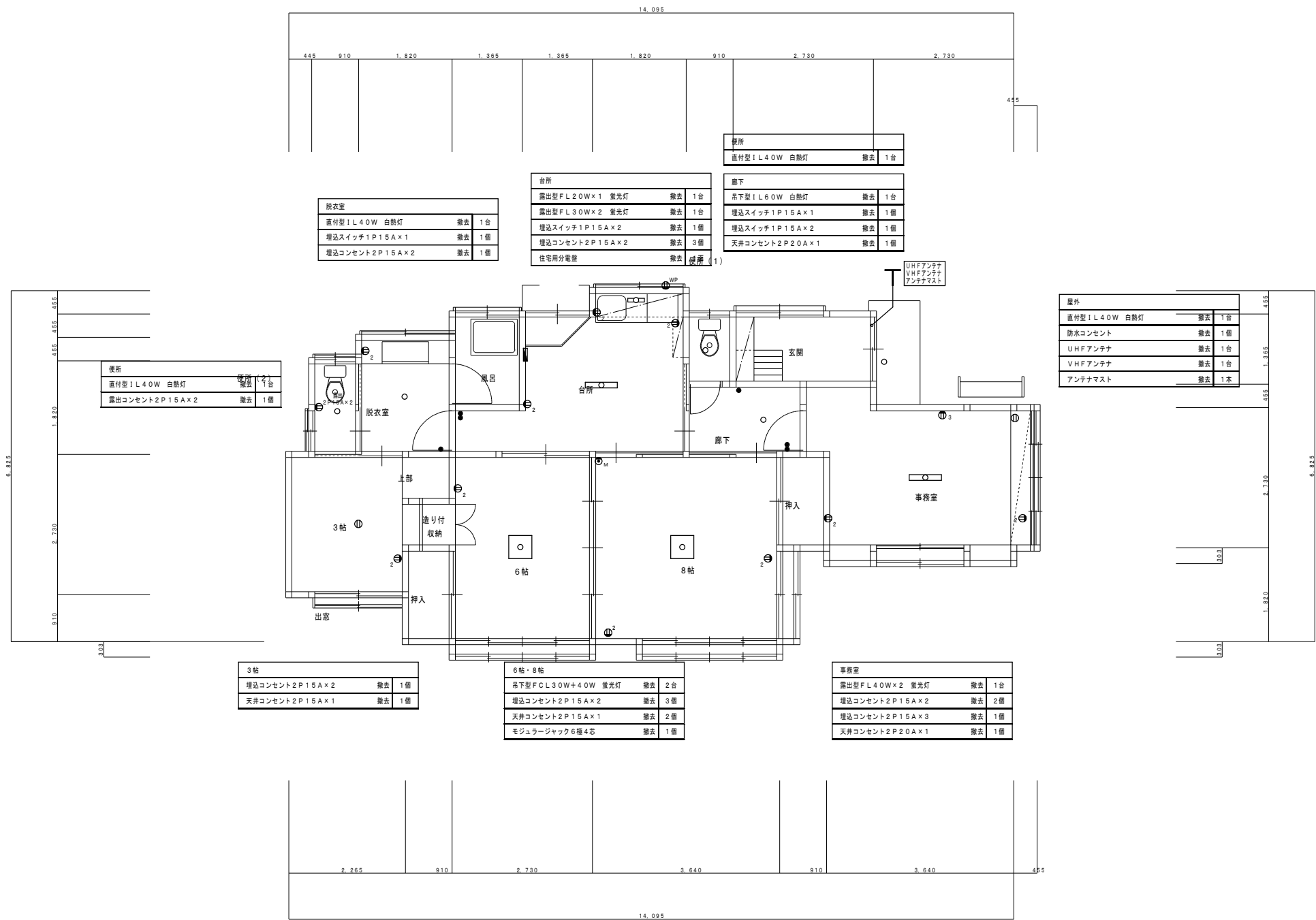
浴室			
露出型FL20W×1 蛍光灯	撤去	1台	

住宅電気設備撤去図 S=1:50

相馬・岩木合同森林事務所新築工事

取りこわし特記仕様書（電気設備）

Ⅰ．工事概要			
１．工事場所	取りこわし特記仕様書（建築工事）による。		
２．敷地面積	取りこわし特記仕様書（建築工事）による。		
３．工事種目	１）事務所	電気設備	取りこわし一式
	２）－	電気設備	取りこわし一式
	３）－	ホ）電気設備	取りこわし一式
Ⅱ．工事仕様			
１．共通仕様			
取りこわし特記仕様書（建築工事）による。			
２．特記仕様（●印のものを適用し、○印のものは適用しない）			
（１）一般共通事項			
● 発生材の種類、処理等は工事補足説明事項による。			
● 分析調査			
○ 有り			
○ 微量ＰＣＢ含有調査（）			
○ アスベスト含有調査（）			
○			
● 無し（解体共通仕様書による「施工調査」の結果、分析調査の必要が生じた場合は監督職員と協議すること。）			
（２）取りこわし内容			
● 図示された機器類、配管配線、ケーブルの解体を行う。（地下埋設物、埋設配管を含む）			
● 下記の廃棄物等及び機器類は内外装材の解体前に取外し又は回収する。 これ以外の配管配線、機器類はコンクリート及び内外装材と同時に解体してよい。			
１）廃棄物等（「施工調査」の結果、●印以外の廃棄物等が確認された場合は監督職員と協議すること。）			
再資源化を図るもの			
○ 小型二次電池			
● 蛍光灯ランプ及びＨＩＤランプ（水銀リサイクル共）			
○			
特別管理産業廃棄物			
○ アスベスト含有材（○）			
○ ＰＣＢ含有機器（○蛍光灯安定器 ○変圧器 ○）			
○ 廃油（○）			
○ 廃アルカリ（○アルカリ蓄電池 ○）			
特殊な建設副産物			
○ イオン化式感知器			
○ 六ふっ化硫黄（SF6）ガス（○ガス絶縁開閉器 ○）			
２）機器類			
○ 受変電盤			
○ 直流電源装置			
○ 発電装置			
○			



電気設備撤去図 S = 1 : 5 0

解体工事 特記仕様書（機械設備）

I、工事概要

- 1, 工事場所 青森県弘前市大字相馬字夏川17
2, 敷地面積 建築工事 特記仕様書による。
3, 建物概要

建物名称	構 造	階 数	延べ面積 (㎡)	区 分	備 考
相馬森林事務所(事務所)	木 造	1 階		取りこわし	
相馬森林事務所(倉庫)	木 造	1 階		取りこわし	

- 4, 工事種目 庁舎 機械設備 取りこわし一式
屋外 機械設備 取りこわし一式

Ⅱ、工事仕様

- ## 1. 共通仕様

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、全て国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「建築物解体工事共通仕様書（平成31年版）」（以下「解体共通仕様書」という。）により、解体共通仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）平成31年版」（以下「改修工事標準仕様書」という。）及び国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課監修の「公共建築設備標準図（機械設備工事編）平成31年版」（以下「標準図」という。）による

- ## 2. 特記仕様

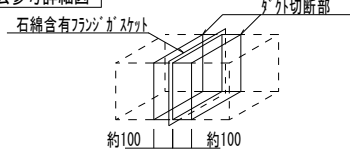
- (1) 一般共通事項 (●印のものを適用し、○印のものは適用しない。)

- 官公署への手続き等 工事の着工、施工にあたり、関係官公署その他の関係機関への必要な手続き等を遅延なく行う。
- | | | | |
|----------|----------|--------|----------|
| ○ 貯油槽 | 廃止届けとする。 | ○ ボイラー | 廃止届けとする。 |
| ○ 給水装置 | 廃止届けとする。 | ● 浄化槽 | 廃止届けとする。 |
| ○ 排水設備 | 廃止届けとする。 | ○ 昇降機 | 廃止届けとする。 |
| ○ 都市ガス設備 | 廃止届けとする。 | | |

- | | |
|--------------|---|
| ○廃酸・廃アルカリ処理 | 吸収冷凍機、吸収冷水機等の撤去前に臭化リチウム水溶液の抜き取りを行う。ただし、抜き取り費用は（○本工事 ○別途）とする。 |
| ○ダイオキシン類処理 | 焼却炉等の撤去前に残灰よりサンプリング調査を行い、監督職員に報告する。ただし、サンプリング費用は（○本工事 ○別途）とする。 |
| ●廃油処理 | オイルタンク、サービスタンク、油配管等は撤去前に内部清掃を行う。ただし、内部清掃、洗浄油の回収費用は（●本工事 ○別途）とする。 |
| ○冷媒（フロン類）の回収 | 冷凍機、パッケージ形空調機等の撤去に伴う冷媒回収方法は、改修標準仕様書第3編2. 4. 3により適切に行うこと。
ただし、家電リサイクル対象機器は除く。冷媒回収の費用は（○本工事 ○別途）とする。 |
| ○家電リサイクル | 対象機器は、 とする。なお、冷媒回収はボンブダウン方式とする。（リサイクル料金は本工事とする。） |
| ●汚泥・汚水処理 | 浄化槽及び排水槽内は汚泥・汚水を汲み取り、内部清掃を行う。ただし、汚泥・汚水・清掃洗浄水の回収費は（●本工事 ○別途）とする。 |

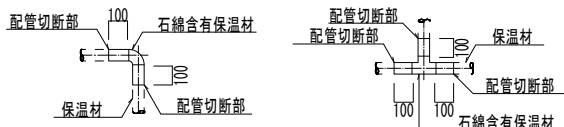
- アスベスト含有製品処理 ○ 本工事
- ダクトフランジパッキン及び配管エルボ部保温材の処理方法は、以下による。
- 撤去する長方形ダクトのフランジ部、配管のエルボ・チーズ部に含まれる石綿を処分するため、フランジ・エルボ・チーズの前後を切断し、他のダクト・配管とは別に廃棄を行う。
- ※ 配管、ダクト以外の解体方法は、関連する官公署、石綿作業主任者などに確認し法令に従い適切に処理を行うこと。

ダクトフランジ部撤去参考詳細図



- ダクトの切断に当たり飛散防止処置として、フランジ部を飛散抑制剤の塗布又はテープ貼りを行う。
- フランジ部両側約100mmの箇所において慎重に切断する。
- ダクト片側の切断終了後、フランジ部内部を外面同様、飛散防止処置として飛散抑制剤の塗布又はテープ貼を行い、もう片側の切断を行う。
- 切断したフランジ付ダクトは、ビニール袋等に詰め、構外搬出適切処理とする。

配管エルボ・チーズ部撤去参考詳細図



1. 配管の切断に当たり飛散防止処置として、保温材部を飛散抑制剤の塗布又はテープ貼を行う。
2. 保温材部両側約100mmの箇所において慎重に切断する。
3. 切断した保温付配管は、ビニール袋等に詰め、構外搬出適切処理とする。

● 配管種別（既設配管）

	配管種別	配 管 材 料
空気調和	○ 冷温水、冷却水	○ 配管用炭素鋼鋼管（白）
	● ドレン管	● 硬質塩化ビニル管（VP） ○ 配管用炭素鋼鋼管（白）
	● 油	○ 配管用炭素鋼鋼管（黒） ●
	○ 蒸気	○ 配管用炭素鋼鋼管（黒） ○ 圧力配管用炭素鋼鋼管（黒）
	● 冷媒管	● 冷媒用被覆鋼管
給水	● 屋内給水管	○ 水道用亜鉛メッキ鋼管 ○ 塩ビラインニング鋼管 ● ポリエチレン粉体ラインニング鋼管
	● 屋外給水管	○ 水道用硬質塩化ビニル管（VW） ● ポリエチレン管 ○ 塩ビラインニング鋼管（VD）
給湯	● 給湯管	● 配管用炭素鋼鋼管（白） ○ 鋼管
排水	● 污水管	○ 排水用鑄鉄管 ○ 塩ビラインニング鋼管 ○ 鉛管 ● ビニル管（VP）
	● 雑排水管	● 配管用炭素鋼鋼管（白） ● ビニル管（VP）
	● 通気管	○ 配管用炭素鋼鋼管（白） ● ビニル管（VP）
	● 屋外排水管	○ コンクリート管 ● ビニル管（VU）
ガス	● 屋内ガス管	● 配管用炭素鋼鋼管（白）
	○ 屋外ガス管	○ ガス用ポリエチレン管 ○ 配管用炭素鋼鋼管（白）

- ダクト種別 ○ 亜鉛鉛板 ○ 銅板製
 ● 保温種別 ○ ロックウール保温材 ● グラスウール保温材 ○ ポリスチレンフォーム保温材 ● 化粧ケース（樹脂製）
 ● 衛生器具 ● 陶器製 ○ SUS製

Ⅲ. 取りこわし内容

- (1) 共通

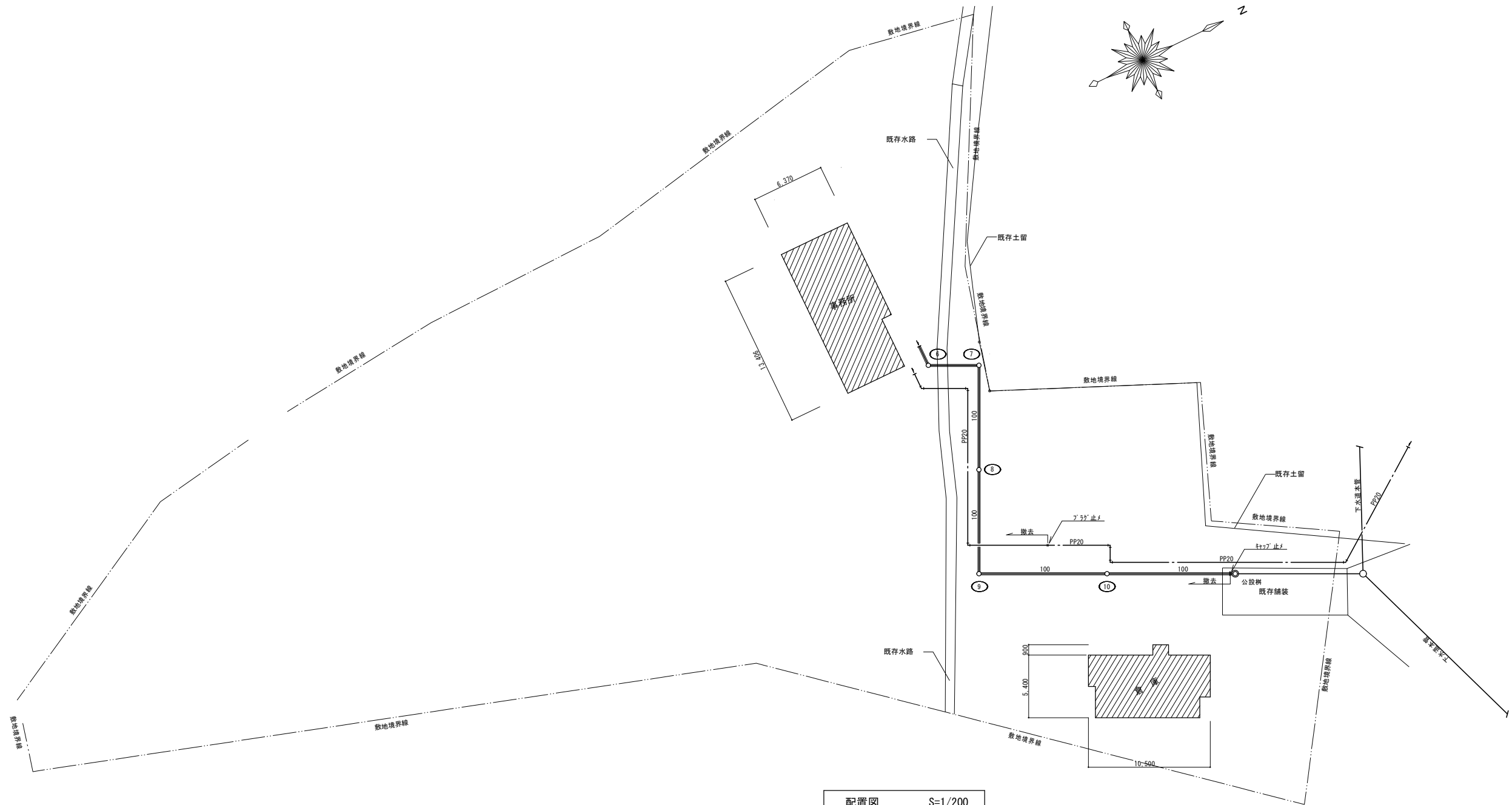
- 図示された、機器・ダクト・配管の取りこわしを行う。
- コンクリート埋設部及び土間部の配管は建物と一体に取りこわしてもよい。
- ダクト付属品・配管付属品は、ダクト・配管と一体で取りこわしてよい。
- オイルタンク
- オイルタンク本体は、掘り起こし撤去とする。
- オイルタンクの用途廃止に係る安全管理指針に基づき撤去する。
- オイルタンク掘り起こし後は、現場発生土にて埋め戻しとする。
- 浄化槽、排水槽
- 浄化槽掘り起こしに伴う掘削工法は、法付け工法とする。 ● 躯体の解体は、建築工事とする。
- 浄化槽掘り起こし後は、現場発生土にて埋め戻しとする。
- 屋外設備
- 配管土工事は本工事とし、掘り起こし後は現場発生土で埋め戻しとする。
- 屋外給水配管の埋設深さは600Hとする。
- 屋外ガス配管の埋設深さは600Hとする。
- 樹掘り起こし後は現場発生土で埋め戻しとする。
- 給水装置 ● 本管にて閉栓とする。 ○ 敷地内第1弁を閉としプラグ止めの上、埋設標示杭設置とする。
- 排水設備 ○ 本管にて閉止とする。 ○ 公設樹にてキャップ止めとする。
- 都市ガス設備 ○ 本管にて閉栓とする。 ○ 敷地内第1弁を閉としプラグ止めの上、埋設標示杭設置とする。

- | | | |
|-----------|-------------------------------------|----------------------|
| ● 浄化槽、排水槽 | ● 浄化槽掘り起こしに伴う掘削工法は、法付け工法とする。 | ● 躯体の解体は、建築工事とする。 |
| | ● 浄化槽掘り起こし後は、現場発生土にて埋め戻しとする。 | |
| ● 屋外設備 | ● 配管土工事は本工事とし、掘り起こし後は現場発生土で埋め戻しとする。 | |
| | ● 屋外給水配管の埋設深さは600Hとする。 | |
| | ○ 屋外ガス配管の埋設深さは600Hとする。 | |
| | ● 樹掘り起こし後は現場発生土で埋め戻しとする。 | |
| | ● 給水装置 | ● 本管にて閉栓とする。 |
| | ● 排水設備 | ● 本管にて閉栓とする。 |
| | ○ 都市ガス設備 | ○ 敷地内第1弁を閉としプラグ止めの上、 |
| | | ○ 公設樹にてキャップ止めとする。 |
| | | ○ 敷地内第1弁を閉としプラグ止めの上、 |

○ 取りこわし機器表

[illegible]

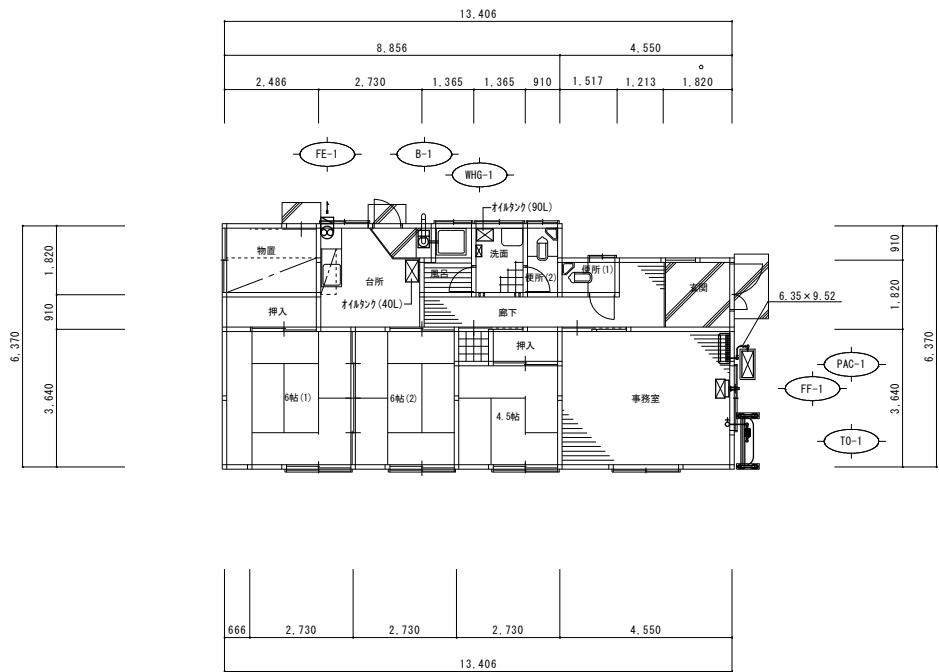
※ 機器内部にアスベスト等含有している可能性がある機器は製造メーカーに確認し、監督職員に報告する。



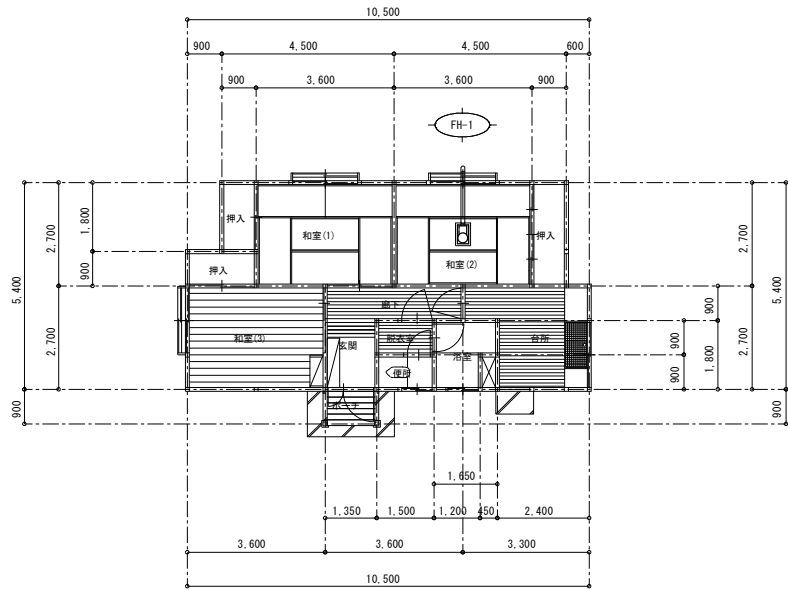
配置図 S=1/200

汚 水 樹 表 (塩ビインバート樹)						
No.	樹 径	樹 深	地盤高	樹 仕 様	勾 配	仕 上
①	200φ	400	-435	小口径・樹脂製蓋	2/100	砂利
②	〃	460	-435	〃 〃		〃
③	〃	500	-435	〃 〃	〃	〃
④	〃	510	-435	〃 〃	〃	〃
⑤	〃	530	-435	〃 〃	〃	〃
⑥	〃	1220	-435	〃 〃	〃	〃
⑦	〃	1240	-485	〃 〃	〃	〃
⑧	〃	1320	-585	〃 〃	〃	〃
⑨	〃	1480	-605	〃 〃	〃	〃
⑩	〃	1970	-340	〃 〃	〃	〃
		2530	±0	公 設 樹		アスファルト

※ 解体工事につき全配管・機器撤去、適法処分とする。



平面図 S=1/100 (事務所)

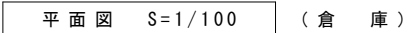
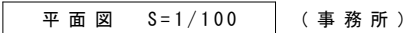


平面図 S=1/100 (倉庫)

機 器 表 (A 棟)						
機 器 番 号	機 器 名 称	台 数	設 置 場 所	仕 様 及 び 能 力	動 力	備 考
TO-1	オイルタンク	1	屋 外	型 式 丸屋根付ハーブタンク198型 容 量 灯油 198L 付属品 通気口、注油口、油面計、ストレーナー付給油弁、自立足、他一式		1260×235×1855 重量：67kg
PAC-1	空 調 機	1	事務室	型 式 空冷式 壁掛形ルームエアコン 仕 様 冷房能力 2.5KW 暖房能力 3.0KW 付属品 架台、他一式	1φ100V 545W	屋外機 850×355×540 重量：31kg 屋内機 790×275×215 重量：8.5kg
FE-1	換 気 扇	1	台 所	型 式 一般換気扇 能 力 200φ×450～564m3/H 付 属 ウェザーカバー、他一式	1φ100V 14.5W	300×300×150 重量：2.1kg
WHG-1	ガス給湯機	1	洗面所	型 式 壁掛型 瞬間式 先止式 能 力 5号 (給湯用) 付 属 他一式		290×136×360H 重量：6.0kg
FF-1	石油温風暖房機	1	事務室	型 式 床置密閉型ポット式強制対流形 能 力 4.19KW(3,600Kcal/H) 燃 焼 0.473L/H (JIS 1号灯油) 付 属 給排気筒、ストーブ台、灯油用ボックス栓、ゴム製送油管、他一式	1φ100V 36W	460×265×600H 重量：18.5kg
B-1	石油風呂釜	1	和室8帖	型 式 屋内用 半密閉 強制通気形 能 力 10.6KW(62,970Kcal/H) 燃 焼 1.70L/H (JIS 1号灯油) 付 属 煙突、ゴム製送油管、室内用石油タンク(40L・90L)、他一式	1φ100V 72W	545×340×410H (風呂釜) 重量：15.6kg 433×323×921H (タンク90L) 重量：15.5kg 573×340×270H (タンク40L) 重量：6.9kg

機 器 表 (B 棟)						
機 器 番 号	機 器 名 称	台 数	設 置 場 所	仕 様 及 び 能 力	動 力	備 考
FH-1	薪ストーブ	1	和室(2)	型 式 玉子型マキストーブ 能 力 3.00KW(2,600Kcal/H) 燃 焼 付 属 煙突、ストーブ台、他一式		560×360×330H 重量：4.7kg

※ 解体工事につき全配管・機器撤去、適法処分とする。



屋 外		
不凍水栓柱	13φ×600H、7&製	1
給 水 栓	13-ホ-ム水栓	1

[illegible][illegible]

屋 外			
量 水 器	13m/m	借入	0
同上ホックス	樹脂製、寒冷地仕様		1
止 水 栓	13φ	ボール弁	0

 株式会社 八洲建築設計事務所 YASHIMA ARCHITECTS & ENGINEERS		一級建築士284561号 鈴木建二		相馬 岩木合同森林事務所新築工事 (解体) 平面図 (給排水設備)		相馬森林事務所 KM— 04	
SCALE A1 : 1/1000 A3 : 1/1000		DATE 2021.12					



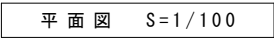
※ 解体工事につき全配管・機器撤去、適法処分とする。



株式会社 八洲建築設計事務所
YASHIMA ARCHITECTS & ENGINEERS

一級建築士284561号 鈴木建二

岩木森



屋 外			
量 水 器	13m/m	借入	1
同上ギ ック	樹脂製、寒冷地仕様		1
止 水 栓	13φ ボール弁		1

屋 外		
不凍水栓柱	13φ×600H、7/8吋製	1
給 水 栓	13-ホーム水栓	1

[illegible]

 株式会社 八洲建築設計事務所 YASHIMA ARCHITECTS & ENGINEERS	一級建築士284561号 鈴木建二	相馬・岩木間森林事務所新築工事	KM-07
		(解体) 平面図 (給排水設備)	
SCALE A1 : 1,000 A3 : 1,000		DATE 2021.12	